

TX Gator™ ユーティリティビークル (シリアル番号 180001 ~)



JOHN DEERE

取扱説明書

TX Gator™ ユーティリティビークル
(シリアル番号 180001 ~)

OMUC40426 G2 版 (JAPANESE)



John Deere Horicon Works

北米版
PRINTED IN U.S.A.

概要

John Deere の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます

弊社はお客様に感謝し、末永く機械を安全に満足してご利用いただけるよう願っています。

MX00654.000020B-40-10MAY17

取扱説明書の使用

このマニュアルは機械の重要な部分です。機械を売却する場合は一緒に引き渡してください。

オペレータマニュアルを読み、ユーザーやその他の人のけが、または機械の損傷の防止に役立ててください。このマニュアルでは、最も安全で最も効果的な機械の使用について説明しています。この機械の安全で正しい操作方法を理解することにより、この機械を操作することがある他の人を訓練することもできます。

アタッチメントを所有している場合は、機械の取扱説明書と一緒にアタッチメントの取扱説明書の安全および操作情報に従ってアタッチメントを安全に正しく操作してください。

このマニュアルと機械上の安全標示ラベルは、他の言語でも入手可能です (認定取扱店にご注文ください)。

オペレータマニュアルの各セクションは、すべての安全メッセージの理解とコントロール類の学習を進めやすいように特定の順序で配置されています。したがって、この機械を安全に操作できます。また、このマニュアルを使用して、特定の運転や整備に関する質問に答えることもできます。このマニュアルの最後にある便利な索引を使用すると、必要な情報をすばやく見つけることができます。

このマニュアルに示す機械は、お客様の機械とは少し異なる場合がありますが、説明を理解するうえで十分な類似性を有しています。

右側か左側かは、機械の前進方向に向かった状態で決まります。破線 (-----) が使用されている場合、参照しているアイテムは表示されていません。

この機械を納入する前に、販売店は機械が最高の性能を発揮できるよう納品前点検を実施しています。

MX00654.000020C-40-05JUN17

メッセージ

このマニュアルには、潜在的な安全上の懸念、機械の損傷に注意をうながす特殊なメッセージに加え、役に立つ運転情報や整備情報が掲載されています。すべての情報を注意深く読み、けがや機械の損傷を防止してください。

⚠ 注意：けがを防止してください。この記号とテキストは、危険要素や手順を無視した場合に発生する可能性がある、オペレータや近くにいる人の潜在的な危険または死亡事故の可能性について強調しています。

重要： 損傷を防止してください。このテキストは、機械の損傷の原因になる可能性があるオペレータの操作や条件を伝えるために使用されています。

注記： オペレータが機械を運転または整備するときに役立つ一般情報は、このマニュアル全体にわたって掲載されています。

MX00654.000020D-40-05JUN17

機械のアタッチメント

お客様の機械がローントラクターであるか、コンパクトユーティリティトラクターであるか、ユーティリティ車両であるかに関係なく、機械でより多くの作業を実施したり、多機能な機械にすることができる John Deere アタッチメント/キットがあります。

JohnDeere.com でお客様の機械に適したアタッチメントの製品ライン全体を確認するか、John Deere 販売店にお問い合わせください。通気装置から電動リフトキットさらに耕耘機に至るまで、すべてのニーズを満たす John Deere アタッチメント/キットがあります。

OUMX068.000051C-40-05JUN17

整備関連文書

この機械のパーツカタログやテクニカルマニュアルのコピーをお求めの場合は、次の John Deere Technical Information Store にアクセスしてください：

<https://techpubs.deere.com/>

または、次の連絡先までご連絡ください：

- **米国&カナダ：** 1-800-522-7448.
- **上記の国を除く全地域：** 最寄りの John Deere 取扱店。

TH84124.0000199-40-29JUN22

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

部品を注文される場合、John Deere 取扱店はおお客様の機械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、<https://partscatalog.deere.com/jdrc/> にアクセスしてください。

TC00531.00000E9-40-17MAY22

目次

製品識別.....	4
安全ラベル、説明文あり.....	5
安全ラベル (説明文なし).....	9
安全.....	13
機械の清掃.....	21
コントロールの操作.....	23
操作.....	24
オプションのアタッチメントとキット.....	36
整備間隔.....	37
潤滑関連の整備.....	38
エンジンの整備.....	39
トランスミッションの整備.....	46
ステアリングとブレーキの整備.....	49
電気の整備.....	52
その他の整備.....	56
トラブルシューティング.....	61
保管.....	64
仕様.....	67
保証.....	71
John Deere 品質に関する声明.....	75
整備記録.....	77

本文書は翻訳版です。このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2022
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved.

製品識別

識別番号の記録

モデル	ピン
単気筒エンジンの場合	FLM160001~
2気筒エンジン	DLM160001~

整備に関する情報については、正規サービスセンターにお問い合わせください。必ず製品モデル番号と識別番号を準備してください。

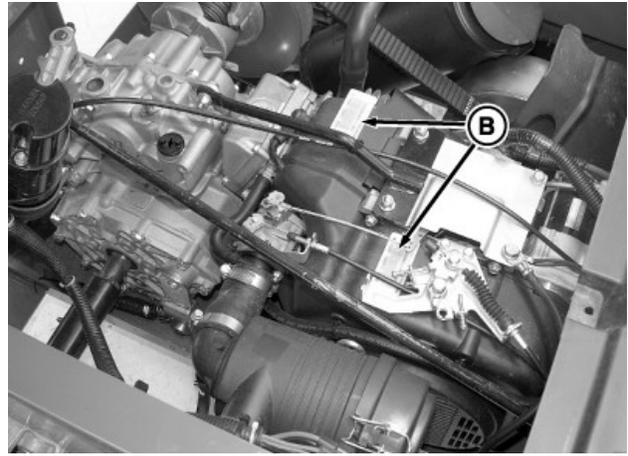
製品識別番号の位置を確認します。空欄に情報を記録してください。



MXT010580—UN—22JUL14



2気筒エンジン。
APY08178—UN—01MAR19



MXT009944—UN—18APR14

単気筒エンジン。

購入日：

販売店名：

販売店電話番号：

製品識別番号 (A)：

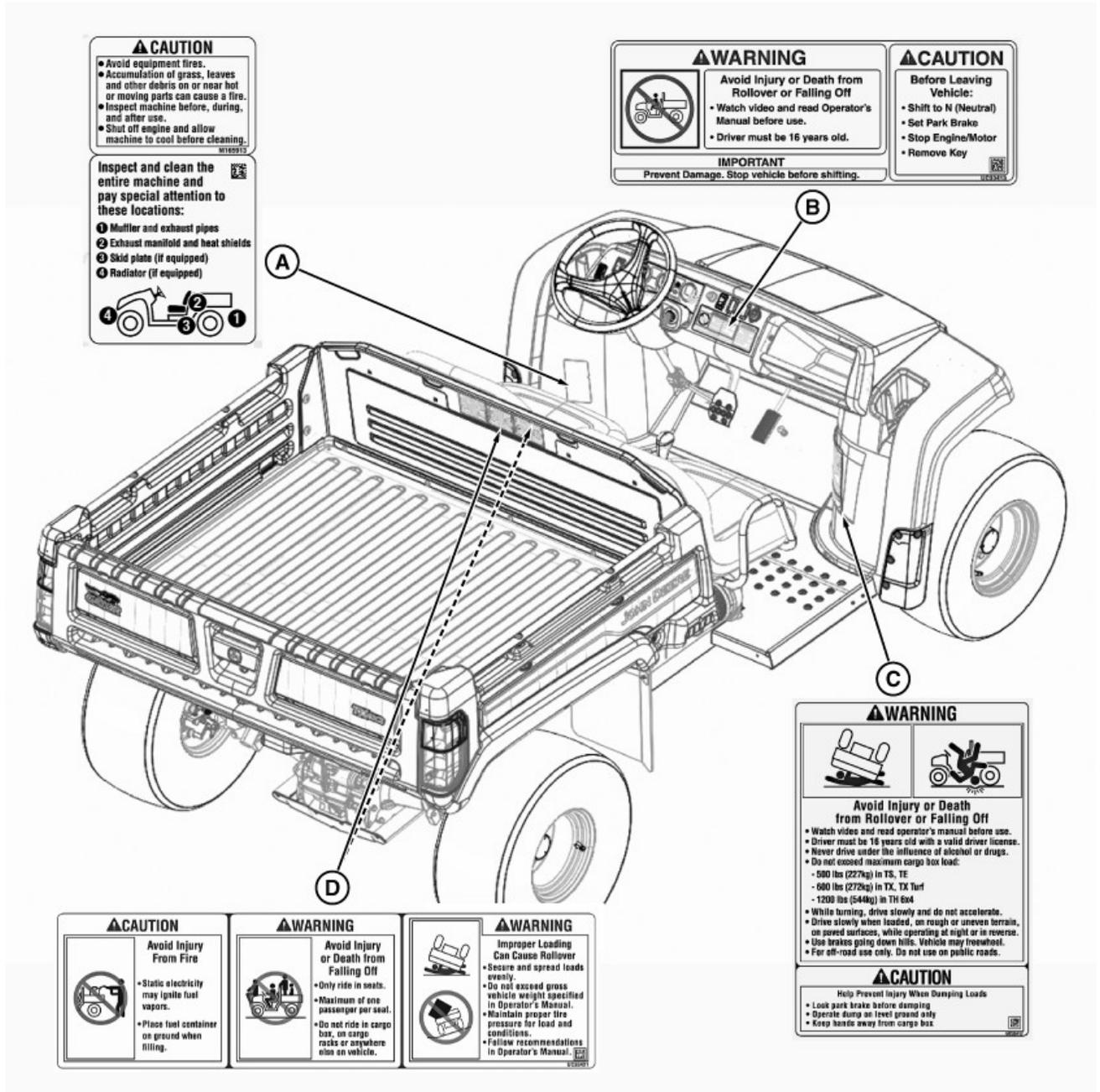
製造年月日 (DOM) (A)：

エンジンシリアル番号 (B)：

MG39705,0000321-40-10APR20

安全ラベル、説明文あり

安全ラベルの位置



MX102417—UN—15JUN22

A : 注意 M165913
B : 注意と警告 UC33413

C : 注意と警告 UC33417
D : 注意と警告 UC33421 (数量 2)

sb31882,1655317829107-40-28JUN22

安全ラベル、説明文あり

機械の安全ラベルの意味



MXAL42363—UN—22MAY13

このセクションに掲載している機械の安全ラベルは、安全に関わる潜在的な安全上の危険に対する注意を喚起するために機械の重要な部分に表示されています。「危険」または「警告」の安全ラベルは、特定の危険の近くにあります。

オペレータマニュアルでは、必要に応じて「注意」の文字と安全警告マークとともに特別な安全に関するメッセージを記載し、安全に関わる潜在的な安全上の危険についても説明しています。

お使いの機械の安全ラベルには、安全警告マークとともに「危険」、「警告」、および「注意」の文字が表示されています。「危険」では、ほとんどの重大な危険を特定しています。

- **危険**：シグナルワード「危険」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う危険な状況を示しています。
- **警告**。シグナルワード「警告」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。
- **注意**。シグナルワード「注意」は、回避しなかった場合、人が軽度または中程度の傷害を負う可能性がある危険な状況を示しています。「注意」は、人が傷害を負う可能性がある事象に関連する危険な行為を警戒するためにも使用される場合があります。

なくなったり、損傷したりしている安全ラベルは交換してください。適切な安全ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを使用してください。

サプライヤから供給される部品については、この取扱説明書に掲載していない安全情報がさらに存在する可能性があります。

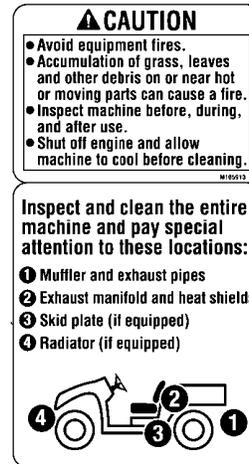
フランス語またはスペイン語の安全ラベルおよびオペレータマニュアル

この機械のオペレータマニュアルおよび安全ラベルのフランス語版またはスペイン語版は、認定 John Deere 取扱店を通じて入手できます。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

注記： テキストラベルおよびテキストなしラベルの両方を以下に示します。お使いの機械には、これらの種類のいずれかのラベルが貼付されています。

MP47322.00F4601-40-26OCT21

注意



MXAL44069—UN—27MAR13

- 装置の火災を防止してください。
- 熱くなっている部分や可動部分に草、葉、ごみが詰まると、火災の原因になります。
- 使用前、使用中、使用後に機械を点検します。
- 清掃する前にエンジンを止めて、機械を冷ましてください。

機械全体を点検して清掃し、以下の場所には特に注意してください。

1. マフラーと排気管
2. エグゾーストマニホールドとヒートシールド
3. スキッドプレート (装備されている場合)
4. ラジエータ (装備されている場合)

SP66632.00042F9-40-03APR13

警告



MX102441—UN—27JUN22

転倒や転落によるけがや死亡事故を防止してください

- 使用前に取扱説明書を読み、ビデオを確認してください
- ドライバは 16 歳以上である必要があります。

安全ラベル、説明文あり

重要

損傷を防止してください。シフトする前に車両を停止してください。

sb31882,1656346040214-40-27JUN22

注意



MX102442—UN—27JUN22

運転席から離れる前に：

- N (ニュートラル) に入れます
- 駐車ブレーキをかけます
- エンジン/モーターを停止します
- キーの抜き取り

sb31882,1656346091184-40-28JUN22

警告



MX102443—UN—28JUN22

転倒や転落によるけがや死亡事故を防止してください

- 使用前に取扱説明書を読み、ビデオを確認してください
- ドライバーは、16歳以上で有効な免許証を保有する者である必要があります。
- 絶対にアルコールや薬物の影響下で運転しないでください。
- 次の最大荷台荷重を超えないでください：
 - TS、TE で 500 lb (227 kg)
 - TX、TX TURF で 600 lb (272 kg)

- THD 6x4 で 1200 lb (544 kg)
- 旋回中は、ゆっくり運転し、加速しないでください。
- 荷物を積んだ状態で、凸凹の多い路面や舗装された路面で走行する場合、夜間に走行する場合、または後進で走行する場合は、ゆっくりと運転してください。
- 坂を下る場合はブレーキを使用してください。車両が惰性走行する可能性があります。
- オフロードでのみ使用してください。公道では使用しないでください。

sb31882,1656354989672-40-27JUN22

注意



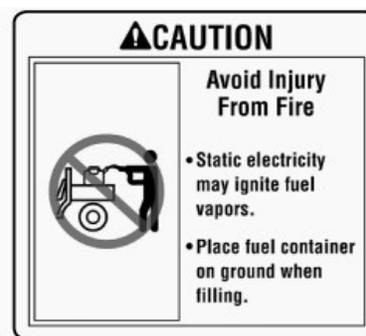
MX102444—UN—28JUN22

積荷を降ろす時にはケガに気を付けてください

- 積荷を降ろす前に駐車ブレーキをかけてください。
- 平坦な地面上でのみ積荷を降ろしてください。
- 荷台に手を近づけないでください。

sb31882,1656355785900-40-27JUN22

注意



MX102438—UN—27JUN22

火気によるけがを防止してください

- 静電気により燃料蒸気に引火する可能性があります。
- 充填時はガス容器を地面に置いてください。

sb31882,1656344651438-40-27JUN22

安全ラベル、説明文あり

警告



MX102439—UN—27JUN22

転落による死傷事故を防止してください

- 運転は座席に着席してのみ行ってください。
- 1つの座席には1名のみ座ってください。
- 荷台、カーゴラック、または車両の他の場所に乗車しないでください。

sb31882,1656344607063-40-28JUN22

警告



MX102440—UN—27JUN22

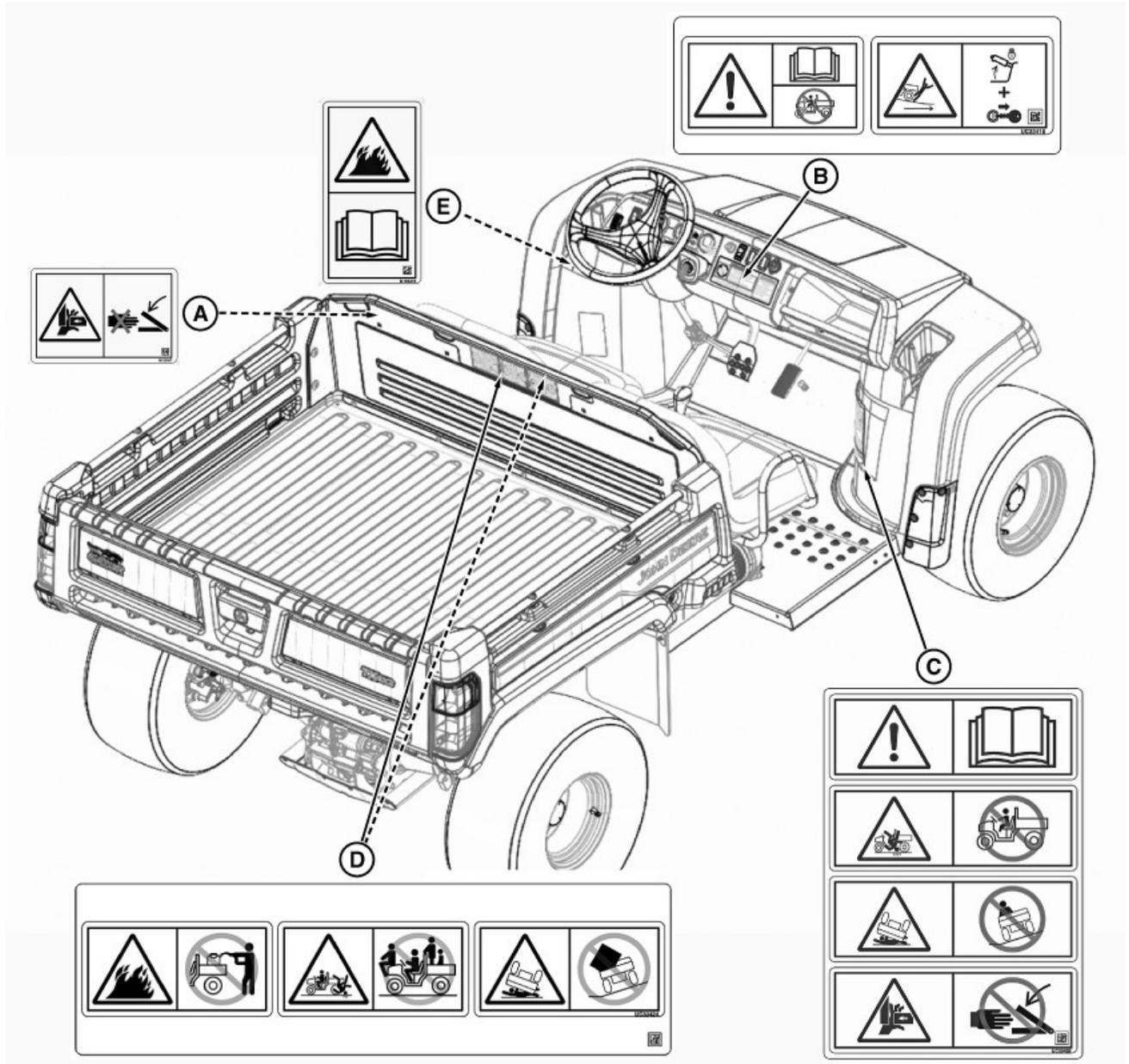
不適切な積載は転倒を引き起こす可能性があります

- 負荷は均等に広げて、固定します。
- 取扱説明書に記載されている総車両重量を超えないようにしてください。
- 負荷と条件に合わせて適切なタイヤ圧を維持してください。
- 取扱説明書の推奨事項に従ってください。

sb31882,1656344578753-40-28JUN22

安全ラベル (説明文なし)

安全ラベルの位置



MX102418—UN—16JUN22

A : 警告 - M120057
 B : 警告 - UC33416
 C : 警告 - UC33420

D : 警告 - UC33424 (数量 2)
 E : 警告 - M165273

sb31882,1655318650870-40-28JUN22

機械の安全ラベル (説明文なし) の意味



TCT005498—UN—11SEP12

この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標識が貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する

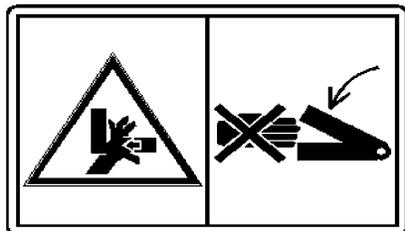
絵はけがを防ぐ方法に関する情報を提供します。これらの安全標識、機械上のラベルの位置、および簡単な説明をこの「安全」セクションに示します。

サプライヤから供給される部品については、この取扱説明書に記載されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

MX00654,0000389-40-26OCT21

安全ラベル (説明文なし)

積荷を降ろす時にはケガに気を付けてください



MXAL47406—UN—12APR13

積荷を降ろす時にはケガに気を付けてください

- 駐車ブレーキを入れ、機械が動かない状態で積荷を降ろしてください。絶対に、機械が動いている時に積荷を降ろさないでください。
- 平坦な地面上でのみ積荷を降ろしてください。
- 積荷を降ろす時は運転席からのみ行ってください。
- 荷台を下げている時には、座席の後ろに手を置かないでください。
- 正しい積載方法については、取扱説明書を参照してください。

OUMX068,00002F-40-28JUL13

火気によるけがを防止してください



MX102445—UN—28JUN22

火気によるけがを防止してください

- 静電気により燃料蒸気に引火する可能性があります。
- 充填時はガス容器を地面に置いてください。

sb31882,1656421058299-40-28JUN22

転落によるけがや死亡事故を防止してください



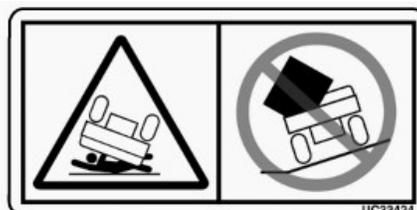
MX102446—UN—28JUN22

転落によるけがや死亡事故を防止してください

- 運転は座席に着席してのみ行ってください。
- 1つの座席には1名のみ座ってください。
- 荷台、カーゴラック、または車両の他の場所に乗車しないでください。

sb31882,1656421642257-40-28JUN22

不適切な積載は転倒を引き起こす可能性があります



MX102447—UN—28JUN22

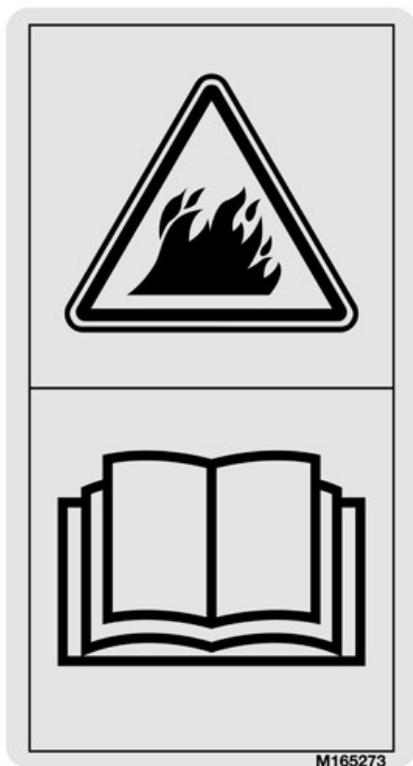
不適切な積載は転倒を引き起こす可能性があります

- 負荷は均等に広げて、固定します。
- 取扱説明書に記載されている総車両重量を超えないようにしてください。
- 負荷と条件に合わせて適切なタイヤ圧を維持してください。
- 取扱説明書の推奨事項に従ってください。

sb31882,1656421828809-40-28JUN22

安全ラベル (説明文なし)

装置の火災防止



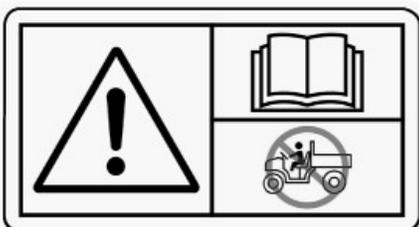
M165273

MXAL47404—UN—12APR13

- 機械全体を清掃、点検してください。
- 詳細については、取扱説明書の「機械 - 清掃」セクションをよくお読みください。

OUMX068.0000031-40-28JUN22

転倒や転落によるけがや死亡事故を防止してください



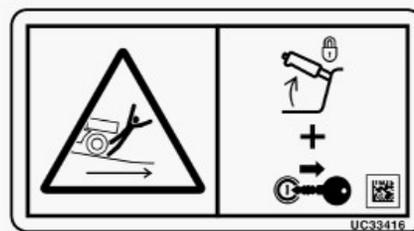
MX102448—UN—28JUN22

転倒や転落によるけがや死亡事故を防止してください

- 使用前に取扱説明書を読み、ビデオを確認してください
- ドライバは 16 歳以上である必要があります。

sb31882,1656422259750-40-28JUN22

運転席から離れる前に :



MX102449—UN—28JUN22

運転席から離れる前に :

- N (ニュートラル) に入れます。
- 駐車ブレーキをかけます。
- エンジン/モーターを停止します。
- キーを抜いてください。

sb31882,1656422663198-40-28JUN22

転倒や転落によるけがや死亡事故を防止してください



MX102454—UN—28JUN22

- 使用前に取扱説明書を読み、ビデオを確認してください
- ドライバは、16 歳以上で有効な免許証を保有する者である必要があります。
- 絶対にアルコールや薬物の影響下で運転しないでください。
- 次の最大荷台荷重を超えないでください :
 - TS、TE で 500 lb (227 kg)
 - TX、TX TURF で 600 lb (272 kg)
 - THD 6x4 で 1200 lb (544 kg)
- 旋回中は、ゆっくり運転し、加速しないでください。
- 荷物を積んだ状態で、凸凹の多い路面や舗装された

安全ラベル (説明文なし)

路面で走行する場合、夜間に走行する場合、または後進で走行する場合は、ゆっくりと運転してください。

- 坂を下る場合はブレーキを使用してください。車両が惰性走行する可能性があります。
- オフロードでのみ使用してください。公道では使用しないでください。

積荷を降ろす時にはケガに気を付けてください

- 積荷を降ろす前に駐車ブレーキをかけてください。
- 平坦な地面上でのみ積荷を降ろしてください。
- 荷台に手を近づけないでください。

sb31882,1656424638543-40-28JUN22

安全な操作

- 作業を開始する前に、取扱説明書や、機械上の手順説明をすべて読んで理解し、安全のためのビデオの説明を見て、これらに従ってください。
- 誤用は、事故、重傷、または死亡事故を引き起こすおそれがあります。
- ユーティリティビークルのタイヤは、オフロード専用に設計されています。舗装された路面では、車両の取り扱いやコントロールに重大な影響を受ける場合があります。舗装された路面で操作する必要がある場合は、ゆっくり走行し、急旋回や急停止はしないでください。
- 凍った湖や池などでは操作しないでください。氷が割れてけがや死亡する恐れがあります。
- 雪面や凍結面で運転する場合は、特に慎重にゆっくり運転してください。
- 道路周辺で作業したり道路を横切るときは速度を下げ、交通に注意してください。見通しの悪い曲がり角、植木の茂み、樹木、その他の視界を遮る物に近づいているときは注意してください。
- オペレータは同乗者がユーティリティビークルでの走行中の正しい安全手順を理解していることを常に確認してください。
- 車道付近で操作する場合は、車両の正しいフラグ、ライト、およびリフレクターを使用して他の運転者に注意を促してください。これらが 152 m (500 ft) 先から明確に確認できるようにしておく必要があります。
- 同乗者は必ず手すりにつかまってください。
- シートベルト装備の機械では、大けがを防止するため、車両を起動する前に必ずシートベルトをしっかり締めるようにしてください。
- 不適切な行動は、事故、重傷、または死亡事故を引き起こすおそれがあります。曲芸的やジャンプなどの操作、または急速に加速しないでください。前輪が上に上がって地面から離れるので危険です。これらの動作は、事故や車両が転倒する原因になります。
- シートの中央に座り、両足は常にフットプラットフォームの範囲内に置きます。フットプラットフォームが汚れたらきれいにし、フットコントロール周辺のごみはすべて除去します。
- 特に排気システムの部品の周囲にあるエンジンルーム内のごみを点検します。
- 操縦は常に両手で行ってください。
- 各コントロールの位置、操作方法、操作対象を理解してください。
- 立ったままの姿勢では絶対にユーティリティビークルを運転しないでください。
- カーゴボックスを上げたままでユーティリティビークルを運転しないでください。
- 車両の操作を始める前にブレーキの効き具合を点検します。必要に応じてブレーキを調整または整備します。
- 適切なブレーキ性能とトラクションを確保するために、牽引車両（ベース車両 + 車両ペイロード）は、少

なくとも牽引荷重（トレーラー + トレーラーペイロード）の 1.5 倍としてください。

- 総重量（GVW）が車両の総重量定格（GVWR）を超えないようにすること。
- 後退にシフトする前に、必ず機械の後ろに障害物や人がいないか点検してください。
- ゆっくりとバックしてください。
- 操作の前に車両を点検します。金具が締まっていることを確認してください。損傷している部品、非常に摩耗している部品、または紛失している部品は修理するか交換してください。ガードとシールドの状態が良好で所定の位置に固定されていることを確認してください。必要な調整はすべて、作業を開始する前に済ませます。
- 走行中は車両から離れないでください。
- 日中または十分な人工照明のもとで操作し、夜間に走行する場合はライトを使用してください。
- アルコールまたは薬物の影響を受けている場合は、車両を操作しないでください。
- 急発進、急停止、急旋回を避けてください。
- 必ず平らな旋回場所を使用してください。
- 操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。整備および操作を安全に行うには十分な注意が必要です。

OUMX068,000094A-40-19APR21

スパークアレスタの使用

カリフォルニア公的資金規約（California Public Resources Code）セクション 4442.5 には次のように記載されています。

いかなる者も、セクション 4442 または 4443 に規定されている内燃機関や「Health and Safety Code（健康と安全に関する規則）」のセクション 13005 に規定されていない内燃機関を他者に販売したり、販売に勧誘、リース、または賃貸する場合は、そのエンジンにセクション 4442 で定義される良好な動作状態に維持されたスパークアレスタを装備するか、セクション 4443 に適合した防火のための構造、装備および保守を行わない限り、そのエンジンを森林、芝、草で覆われた土地で使用または操作することはセクション 4442 または 4443 に違反することを、購入者または受託者に対して販売時またはリースあるいは賃貸契約期間開始時に書面により通知しなければならない。カリフォルニア公的資金規約 4442.5。

他の州または管轄地域にも同様の法律が存在する場合があります。各機械のスパークアレスタは認定取扱店から入手できます。取り付けられたスパークアレスタは、オペレータが正常に作動する状態に維持する必要があります。

OOUO2005,0000213-40-05JUL17

安全な駐車

1. 車両を傾斜地ではなく水平な場所に停止させます。

安全

- 荷台および機械に付属する下げることができる装置は、完全に下げてください。
- 駐車ブレーキを完全にかけ、車両が動いていないことを確認します。
- エンジンを停止します。
- キーを抜いてください。
- 運転席から離れる前に、エンジンおよびすべての可動部が停止するのを待ちます。
- 機械の整備を行う前に、バッテリーのマイナスケーブルの接続を外します。

OUMX068,00005F5-40-01JUL20

子供 / 体型の小さい成人の保護と事故の防止

- 16歳以下の人はこのユーティリティビークルを運転してはいけません。
- 適切な運転免許を所持していない人はこのユーティリティビークルを運転してはいけません。
- 若年の運転者は、身体的に機械の制御ができなかったり、安全運転の心がけが十分でない場合があります。
- 子供はシートに安全に座ったり、手掛りを正しく使用したりすることができない場合があるため、子供を同乗者としてこの車両に搭乗させないでください。すべての同乗者は、背中をシートに当て、両足をフロアにつけて、シートベルトを着用した状態で(装備されている場合)手掛りをつかむことができる必要があります。
- 車両が動いているときは、搭乗者は必ず手掛りを使用してください。
- ユーティリティビークルに装備されているシートベルトは、子供を拘束するには設計されていません。
- 絶対に、搭乗者、特に子供をカーゴボックスエリアに乗せて運ばないでください。また、カートやトラクターに子供を乗せて牽引したりしないでください。
- 子供が同じ場所にじっとしているだろうとは絶対に考えないでください。子供の存在に常に注意してください。
- 後退または旋回する前には、子供がいないかユーティリティビークルの後ろと周りを見てください。
- 前進および後進とも、常に細心の注意を払ってください。特に子供は、運転席にすぐに入ってきます。
- 見通しの悪いコーナー、植木の茂み、生い茂った木、その他の視界を遮る物の近くを走行する場合には、十分注意して下さい。
- 誤用は、事故、重傷、または死亡事故を引き起こすおそれがあります。

OUMX068,0000D6A-40-05JUL17

過度の速度の回避



MXAL43283—UN—19MAR13

- 常に、地形、視界、運転条件、機械の操作経験に合った安全で適切な速度で走行してください。
- 機械を後進で操作する場合は注意してください。低速で運転し、急な旋回を行わないでください。後進する前に、後方をよく確認してください。
- 上り下りを問わず、斜面では絶対に過度の速度で走行しないでください。低速で運転し、急な旋回を行わないでください。小さな斜面で機械を運転することに慣れてから、大きな丘陵地で運転してください。

OUC1023,0000A5B-40-19APR13

振動

John Deere が認可したすべての運転席は欧州の規格 (78/764/EEC) に従って型式の承認を受けたコンポーネントであり、シート (a_{ws}) で実際に測定した際には $\leq 1.25 \text{ m/s}^2$ に相当する平均振動加速度が割り当てられています。

この値は、2002/44/EC 準拠の振動応力の計算には使用しないでください。振動ストレスの評価には John Deere 取扱店がお手伝いいたします。

振動を減らす方法

- 適切な運転スタイル (速度が速すぎないなど)
- オペレータシートを正しく調整する
- タイヤ空気圧を調整する

OUC1023,0000A5C-40-29MAY13

転倒の防止



MXAL43283—UN—19MAR13

ユーティリティビークルが転倒すると、重大な怪我や死亡事故が発生するおそれがあります。以下の点に注意して事故を防止してください。

- 旋回時は速度を十分に下げてください。急旋回すると車両が転倒するおそれがあります。
- 傾斜地や粗い地面では速度を落とし、最大限の注意を払ってください。
- 車両への負荷の超過を避け、負荷を移動させないでください。粗い地形や丘陵地で操作する際は負荷を減らしてください。

安全

- 上り坂や下り坂では急停止や急発進をしないでください。傾斜地で方向変換する際は特に注意してください。
- 穴、岩、その他の地形に隠れている障害物がないか注意してください。
- 急斜面、溝、盛り土や、池などの水が多い場所に近づかないでください。ホイールが崖や溝の縁を越えたり地盤の陥没部にはまると、機械が突然横転する可能性があります。
- 坂の頂上や隆起を越える際は、前輪をまっすぐ維持してください。
- 下り坂では、アクセルペダルから足を離し、ブレーキをかけて減速しながら、制御を維持してください。
- ユーティリティビークルの変更や改造をしないでください。
- 本リストの転倒危険性は、全ての可能性を含んでいないわけではありません。

OUO1023,0000A5D-40-19APR13

同乗者の禁止



MXAL46805—UN—10APR13

- 座席はオペレータと他に成人搭乗者 1 人分が用意されています。
- シートが取り付けられていないカーゴボックスやその他の場所に絶対に人を乗せないでください。
- 同乗者は、異物に当たったり、車両から投げ出されたりしてけがを負い、重大な損傷や死亡に至ることもあります。
- 同乗者は、オペレータの車両制御能力と車両の重心に影響を及ぼします。また、同乗者はオペレータの視界の妨げとなり、車両の安全運転が損なわれます。

OUO1023,0000A5E-40-19APR13

フロントアタッチメントの使用

起伏の多い地形や不均一な地形で操作する場合は、ドローバーヒッチ、ヒッチ取り付けウインチ、ブレードなどのフロントアタッチメントを取り外します。起伏の多い地形や不均一な地形で操作する場合は、フロントアタッチメントが地面に接触して制御不能や転倒事故が発生する可能性があります。

OUMX068,0000634-40-22SEP16

荷物の安全な輸送

- 荷物がカーゴボックスに均等に配置されていることを確認します。

- 積載ガードを超えて積載しないでください。
- カーゴボックスのすべての荷物をしっかりと固定してください。
- 凹凸や傾斜が多い地形で運転するときは、カーゴボックスの荷物を減らします。

OUO1023,0000A5F-40-19APR13

ユーティリティビークルによる負荷の安全な牽引

- この取扱説明書で指定されている、この車両の最大許容牽引荷重を超える負荷を牽引しないでください。（「車両の積載量と重量の決定」セクションを参照してください）。
- 停車距離は、速度と牽引負荷の重量に伴い長くなります。ゆっくりと走行し、停止するまでの時間と距離の余裕を確保してください。
- コントロールが維持できる十分ゆっくりした速度で牽引します。
- 牽引荷重が過大な場合、トラクションが失われたり、傾斜地で制御できなくなったりする可能性があります。傾斜地での運転時は牽引重量を減らしてください。
- 被牽引装置に子供や他の人を絶対に乗せないでください。
- 認可されているヒッチのみを使用してください。牽引用のヒッチを備えた機械でのみ牽引してください。認可されたヒッチポイント以外の場所に被牽引装置を取り付けしないでください。
- 牽引式装置および傾斜地での牽引時の重量制限については、メーカーの推奨事項に従ってください。
- 牽引荷重がある状態で傾斜地を後退できない場合は、牽引荷重に対し傾斜がきつすぎます。牽引荷重を減らすか、運転しないでください。
- 急旋回しないでください。路面条件の悪いところでの方向転換や運転では、さらに注意してください。後退するときは、十分注意してください。
- 下り坂でギヤをニュートラルに入れて惰走しないでください。
- 輸送の前に牽引荷重を固定してください。

OUMX068,000091B-40-25JUN20

オペレータの能力

- 機械の所有者は、オペレータが信頼のおける人物であること、訓練を受けていること、操作の手順書や警告を読んでいること、機械を正しく安全に操作する方法を知っていることを確認しなければなりません。
- 年齢、身体能力、および知的能力は機械関連のけがの要因になることがあります。オペレータは、オペレータステーションやコントロールにアクセスできて、機械を適切かつ安全に操作できる知的能力および身体的能力を有する必要があります。

安全

- 絶対に子供や訓練を受けていない人に機械を操作させないでください。機械や装置に子供を乗せないよう、オペレータ全員に指示して下さい。
- 注意散漫の場合、疲れている場合、および健康を害している場合は、絶対に機械を操作しないでください。機械の適切な操作には、最大限の注意と認識が必要です。

- 坂の頂上や隆起を越える際は、前輪をまっすぐ維持してください。
- タイヤの跡、地面、視界条件に合わせて、速度を落としてください。
- 同乗者は必ず手すりにつかまってください。

MX00654.00000BA-40-05JUL17

DX,ABILITY-40-07DEC18

運転前

1. フットプラットフォームが汚れたらきれいにし、フットコントロール周辺のごみはすべて除去します。シートの中央に座り、両足は常にフットプラットフォームの範囲内に置きます。
2. ユーティリティビークルに摩耗や損傷がないか点検します。
3. 全ての安全装置が良好な状態で、所定の位置に固定されている必要があります：
 - ライト。
 - シールド
 - 安全スタート装置
4. 走行する前に、ユーティリティビークルの周囲を点検し、近くに誰もいないことを確認してください。
5. 使用前には必ず車両の機械の状態を点検し、けがや作動できなくなり立ち往生する可能性を最小限にします。1日かけて歩く距離よりも1時間で運転できる距離の方が長いことを忘れないでください。

タイヤ、ホイール、ホイールの金具のトルクの状態を必ず点検して、適切なタイヤ圧を維持してください。
6. すべての荷物をしっかりと固定してください。

OUO1023.0000A61-40-19APR13

起伏の多い地形での運転



MXAL43284—UN—19MAR13

- 不均一な地形や起伏の多い地形で車両を運転する場合は、必ずヘルメットを着用してください。
- 地面に付けられたタイヤの跡を走行してください。危険な傾斜地や通り抜けられない沼地を避けてください。盛り上がり、穴、溝、柔らかい地面、障害物などには十分注意してください。
- 真っ直ぐ前を見てください。起こることを予測して、反応できるようにしてください。危険領域を警戒してください。

坂の上り下り



MXAL43283—UN—19MAR13

- 坂を下りるとき、ユーティリティビークルは速度アップ(フリーホイール)する場合がありますので、坂を下り際は必ずブレーキを使用してください。エンジンまたはクラッチのブレーキ効率は最小限です。
- 積載物を均等にバランスよく載せて固定してください。ブレーキをかけると積載物が荷崩れして、車両が不安定になります。
- シートの中央に座り、両足はフットプラットフォームの範囲内に置きます。
- 視界の制限を超えた運転は絶対にしないでください。坂の頂上付近では、反対側がよく見えるようになるまで、速度を落としてください。坂を高速では絶対に越えないでください。坂の向こう側には、障害物、落下物、他の車両、または人がいる場合があります。
- 坂の頂上や隆起を越える際は、前輪をまっすぐ維持してください。
- 上り坂や下り坂では急停止や急発進をしないでください。傾斜地で方向変換する際は特に注意してください。
- 坂を上っている途中で車両が停止またはガス欠になった場合は、パーキングブレーキをロックして、車両を傾斜面で維持します。走行方向を維持し、ブレーキをゆっくりと解除します。制御を保ちながら、ゆっくりと坂をまっすぐ後ろに下ります。車両を横向きにならないでください。車両はまっすぐ前または後ろを向いた位置にある方が安定します。
- 下り坂では、アクセルから足を離してブレーキをかけて減速しながら、制御を維持してください。

OUO1023.0000A63-40-19APR13

安全

斜面を横切る運転



MXT008510—UN—10JAN17

- 速度を落として、傾斜と急旋回に注意してください。
- 穴、岩、その他の地形に隠れている障害物がないか注意してください。
- 柔らかい地面上を運転するときは、前輪をわずかに上り坂側に向け、坂を横切る直線上にユーティリティビークルを維持します。
- ユティリティビークルが傾き始めたら、前輪を下り坂側に向け、コントロールを確保してから操作を続けます。

SP66632,0004717-40-05JUL17

水域での運転

- 水域はできる限り運転を避けてください。駆動ベルトが濡れると、滑りが発生し、車両の動力が失われます。
- 深さのわからない水域を渡らないでください。運転のガイドラインとして、152 mm (6 in) を超える水深を深い水域と呼ぶことにします。タイヤが浮く可能性があるため、制御を保つのが難しくなります。
- 両岸が徐々に傾斜した水路の中のコースを選んでください。安全とされている地点を渡ります。
- 水面下の障害物と滑りやすい岩を避けるために、ゆっくりと一定の速度で運転します。
- ユティリティビークルの運転で、水路の床を損傷したり、水路の縁を壊したりする原因になる水域を渡ることは避けてください。
- 絶対に、この車両を動きの速い水の中で運転しないでください。
- 外部ディスクブレーキを装備している車両の停止能力は、水中を走行した後に影響を受ける可能性があります。必要に応じて、ブレーキを数回踏んで乾かします。

OUO1023,0000A65-40-19APR13

ホイール金具の点検

- ホイール金具がきちんと締めつけられていないと重大な事故が発生して大けがをすることがあります。
- 最初の 100 運転時間の間は、ホイール金具の締め具合を頻繁に点検してください。

- ホイール金具が緩んでいるときは、必ず適切な手順に従って規定のトルクで締め付ける必要があります。

OUO1023,0000A66-40-19APR13

適切な衣服の着用



MXAL41935—UN—18FEB13

- 車両を積極的に操作する場合、起伏の多い地形や不均一な地形で操作する場合、または高速で操作する場合は、必ず認定ヘルメットを着用してください。
- ヘルメットは適切にフィットし、車両が使用されている地域の適切な管轄組織によって標準的な道路でのオートバイ使用に承認されている必要があります。
- ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。
- 操作条件によっては、車両の操作中にオペレータと同乗者が適切な安全具を着用する必要があります。作業機を操作する前に、経験済みの状況や発生する可能性がある状況に対して十分に準備してください。
- 現地の安全規制により、保護メガネやヘルメット等の追加安全具の着用が求められる場合があります。
- 必ず厚手の靴を着用してください。裸足やサンダル履きで装置を操作しないでください。

MX00654,00000BD-40-05MAR19

安全メンテナンスの実行



MXAL41933—UN—18FEB13

- 資格を備え、訓練を受けた成人に限り本作業機の整備を行ってください。
- 作業を開始する前に、整備の手順を理解してください。作業場所を清潔で乾いた状態に保ってください。
- 機械が動いている間は、絶対に潤滑、整備、調整を行わないでください。安全装置を所定の位置に取り付け、良好な作動状態に維持してください。
- 手、足、衣類、装飾品、長髪を可動部品から遠ざけて、巻き込まれないようにしてください。
- 修理を行う前に、バッテリーの接続を外すか、スパークプラグワイヤ (ガソリンエンジンの場合) を取り外してください。

安全

- ナットとボルトはすべて締め付けた状態に保ちます。
- 整備作業を行うために持ち上げる必要のある機械要素はしっかりと支持してください。アタッチメントが上昇した状態の機械を整備する前に、整備用ラッチをロックしてください。
- パーキングブレーキをかけていない場合は絶対にエンジンを作動させないでください。
- すべての部品を良好な状態に維持し、正しく取り付けられた状態に保ってください。破損は速やかに修理してください。摩耗または破損している部品は交換してください。磨耗、または破損している安全指示ステッカーはすべて交換してください。
- 火災防止のため、機械 (特にエンジン) からたまっているグリース、オイル、ごみをすべて取り除いてください。
- 機械や安全装置を改造しないでください。認可されていない改造を行うと、機能や安全性が損なわれる恐れがあります。
- 機械の整備中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。安全な整備のためには最大限の注意が必要です。
- 機械の溶接前に、機械のバッテリーのアースケーブル (-) の接続を外すか、機械からアタッチメントを取り外します。

OUO1023.0000A68-40-19APR13

火災防止

- すべてのオペレータにこれらの推奨事項を復習するように伝えてください。質問がある場合は、John Deere 販売店にお問い合わせください。
- 機械およびこの取扱説明書に掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に必ずエンジンを止め、駐車ブレーキをかけ、イグニッションキーを抜いてください。
- 定期メンテナンスに加えて、お使いの John Deere 装置の性能を十分に発揮させ、火災の危険を減らすための最良の方法の 1 つは、機械に堆積したごみを定期的に取り除くことです。
- 操作後、機械を清掃または保管する前に、機械を広い場所で冷ましてください。木、布、薬剤など、可燃物の近くや、給湯器や炉などの裸火や着火源の近くに機械を駐車しないでください。
- 保管前には、集草器のバッグ、容器、およびカーゴボックスを完全に空にして、装置からすべての可燃物を完全に取り外してください。
- ごみは機械のどの部分にも溜まりますが、特に水平面に溜まります。機械の操作の前後に、エンジンルーム、マフラー部分、およびモアデッキの上またはカッピングユニットから草やごみを完全に取り除きます。乾燥した状態での芝刈りやマルチング作業のときは、追加の清掃が必要な場合があります。
- 使用前と保管前の機械の清掃に加えて、エンジン部分を清潔に保つことは、火災予防に最も役立ちます。定期的な点検と清掃を必要とするその他の部分

には、ホイールリムの背後、ワイヤハーネス、ホース / ラインの取り回し、刈り取りアタッチメントなどがあります。これらの部分を清潔に保つには、圧縮空気、リーフブロワ、または水が役に立ちます。

- これらの点検や清掃の頻度は、運転条件、機械構成、運転速度、特に乾燥、高温、風の強い条件といった天候条件など、複数の要因に応じて変わります。このような条件で運転している場合は、これらのエリアを終日にわたって頻繁に点検し清掃してください。
- 注油が多すぎたり、機械に燃料やオイルが漏れたり流出したりすると、刈り屑が集まる場所となる可能性があります。機械を早めに修理し、燃料やオイルを清浄にすることにより、刈り屑が集まる可能性を抑えます。
- ベアリングの故障や過熱は、火災につながる可能性があります。この危険を減らすため、機械のオペレータマニュアルに記載されている、潤滑の間隔と位置に関する指示に常に従ってください。潤滑間隔や潤滑位置について質問がある場合やベアリングの位置している可能性のある個所から何らかの異音が聞こえる場合は、最寄りの取扱店にお問い合わせください。暖まっているときの機械の洗浄もベアリング寿命を短くしてベアリングの早期故障の可能性を高めます。
- 機械に燃料遮断機能がある場合は、機械の保管や輸送時に必ず燃料を遮断してください。
- 燃料ライン、タンク、キャップ、継手に亀裂や漏れがないか頻繁に点検します。必要に応じて交換します。

OUO2005.0000221-40-27MAR19

機械を改造しない

認可されていない改造は、いかなるものであっても機械に対して行わないでください。

改造によって機械が不安定になることがあり、転倒する危険性が高まり、重傷や死亡事故につながります。

OUO1023.0000A6A-40-19APR13

タイヤの安全



MXAL41937—UN—18FEB13

タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります：

- 適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。
- 常に正しいタイヤ圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。絶対に、ホイールやタイヤアセンブリを溶接したり加熱したりしないでください。加熱すると空気

安全

圧が上がり、タイヤが爆発します。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形したりすることがあります。

- タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。
- タイヤに圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないか点検します。

OUO1023.0000A6B-40-19APR13

燃料の安全な取り扱い



MXAL41938—UN—18FEB13

けがや器物破損の防止のため、燃料の取扱いは慎重に行ってください。燃料は非常に引火性が高く、燃料蒸気は爆発性があります。

- タバコ、葉巻、パイプ、その他の発火の原因となるものをすべて消してください。
- 認定された非金属の携帯用燃料容器のみを使用してください。じょうごを使用する場合は、プラスチック製で、金網やフィルタがないことを確認してください。
- エンジン運転中は、絶対に燃料タンクのキャップを取り外したり、燃料を追加したりしないでください。燃料を補給する前にエンジンが冷めるまで待ちます。
- 絶対に屋内で機械に燃料を追加したり、燃料を抜き取ったりしないでください。機械を屋外に出し、適切な換気措置をとってください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。燃料が衣服にこぼれた場合は、すぐに着替えてください。機械の近くに燃料がこぼれた場合は、エンジンを始動しないで、こぼれた場所から機械を遠ざけてください。燃料蒸気が消散するまで、発火の原因を作らないでください。
- 絶対に直火、火花、給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがある場所には、機械や燃料容器を保管しないでください。
- 静電気放電による火災や爆発を防止してください。静電気放電により、アース接続されていない燃料容器内の燃料蒸気に点火する可能性があります。
- 車両内またはトラックやトレーラーのプラスチック

ライナー付き荷台の上では絶対に容器に注入しないでください。燃料を補充する前に、必ず車両から離れた地面の上に容器を置いてください。

- 燃料駆動の装置はトラックやトレーラーから移動させ、地面の上で燃料を補充してください。これが不可能な場合は、燃料ディスペンサノズルからではなく携帯容器でこれらの装置に燃料を補充してください。
- 燃料補充が完了するまで、ノズルを燃料タンクの縁や容器の開口部に常に接触させてください。ノズルを開けたままにする器具は使用しないでください。
- 絶対に燃料タンクに入れすぎないでください。燃料タンクにキャップを戻してしっかり締めます。
- 使用後は燃料容器のキャップをすべて確実に戻してください。
- ガソリンエンジンの場合、メタノール混合ガソリンを使用しないでください。メタノールは健康と環境に有害です。

OUO1023.0000A6C-40-19APR13

農薬の安全な取り扱い

キャブを使用している場合（装備されている場合）、キャブは、蒸気、煙霧、ほこりの吸引に対する保護は与えません。

殺菌剤、除草剤、殺虫剤、害虫駆除剤、殺鼠剤、または肥料など、農業に使われる薬品は、注意深く使わないと、健康と環境へ害となる可能性があります。

農薬の効率的、安全かつ合法的使用のために、必ずラベルに表示されているすべての指示に従ってください。

暴露と事故の可能性を減らすために：

- メーカーが推奨する適切な保護具を着用してください。メーカーの指示が無い場合には、これらの一般的なガイドラインに従ってください。
 - a. 「危険」ラベルの薬剤：最も有毒。一般的に、ゴーグル、マスク、手袋と皮膚を保護するものを使用が必要。
 - b. 「警告」ラベルの薬剤：より少ない毒性。一般的に、ゴーグル、手袋と皮膚を保護するものを使用が必要。
 - c. 「注意」ラベルの薬剤：最も少ない毒性。一般的に、手袋と皮膚を保護するものを使用が必要。
- 噴霧された薬剤やほこりを吸い込まないようにしてください。
- 化学薬品を取り扱うときは常に石鹸、水、タオルを用意しておいてください。化学薬品が皮膚、手または顔に触れた場合、直ちに石鹸と水で洗ってください。化学薬品が目に入った場合、直ちに水で洗い流してください。
- 化学薬品を取り扱った後は、飲食、喫煙、トイレの前に手と顔を洗ってください。
- 化学薬品の使用中に、喫煙または食事をしないでください。

安全

- 化学薬品を取り扱った後は常に、風呂に入るかシャワーを浴び服を着替えてください。服はもう一度着る前に洗ってください。
- 化学薬品の使用中または直後に気分が悪くなったから、すぐに治療を受けてください。
- 薬剤の保管には元の容器を使ってください。化学薬品を、ラベルの無い容器や飲食物用に使った容器に移し替えないでください。
- 化学薬品は人や家畜飼料から離れた、安全な、鍵の掛かった場所に保管してください。子供の手の届かない所に保管してください。
- 容器は常に正しく廃棄してください。空になった容器は3回洗い、穴を開けるか潰してから、正しく廃棄してください。

OUO1023,0000A6D-40-19APR13

廃棄物と薬剤の取り扱い

使用済みのオイル、燃料、クーラント、ブレーキフルード、バッテリーなどの廃棄物は環境や人に有害です。

- 飲料容器を廃液に使用しないでください。誤飲のおそれがあります。
- 廃棄物のリサイクルや処分の方法については、現地のリサイクルセンターまたは認定販売店にお問い合わせください。
- 安全データシート (SDS) は、化学製品に関する具体的な情報を提供します。物理的危険や健康上の危険、安全手順、緊急時の対処方法が記載されています。お使いの機械で使用されている薬剤製品の販売業者はその製品の SDS を提供する責任があります。

OUO2005,0000224-40-11OCT18

電子ディスプレイの正しい使用

電子ディスプレイは圃場での運転でオペレータを支援し、苦痛な作業から解放して快適性を提供するための補助装置です。ディスプレイは幅広い機能を提供し、他のさまざまな機械システムのアプリケーションで使用することが可能であり、携帯型電子デバイスのような他の補助装置とともに使用することができます。

補助装置は、お使いの機械の主要な使用用途において、必ずしも必要とされない装置のことを指します。機械の安全な運転と制御については、必ずオペレータが責任を持つ必要があります。

機械の運転中のけがを防止するため、以下に注意してください。

- 取り付けの手順に従ってディスプレイを配置してください。装置が固定されており、ドライバーの視界を妨げず、機械の運転制御の障害にならないことを確認してください。
- ディスプレイに気を取られないようにしてください。

常に警戒してください。機械と周囲の環境に対して注意を払ってください。

- 機械が動いている間は、ディスプレイの操作に時間がかかるような機能へのアクセスや設定の変更を行わないでください。機械を安全な場所で停止させ、PARK ポジションにしてからこれらの操作を行ってください。
- 周囲の交通状況や緊急車両の音が聞こえないような音量に絶対に設定しないでください。

安全な運転を行うため、ディスプレイの一部の機能を機械の動きが制限されるか PARK ポジションにするまで無効にすることができます。この安全機能を無効にすることは該当する法令に対する違反であり、損傷や重大な死傷事故につながるおそれがあります。

機能が安全に使用できる状況で、かつ指定された手順に従える場合のみ、使用可能なディスプレイの機能のみを使用してください。補助装置を使用する際は、必ず安全運転の規則または現地の法令および交通規制に従ってください。

DX,ELEC.DISPLAY-40-13JAN15

機械の清掃

一般的な清掃のガイドライン

機械は、作業日を通して定期的に点検する必要があります。溜まっているごみを取り除いて機械の適切な機能を確認し、火災の危険を減らしてください。これらの点検や清掃の頻度は、運転条件、機械構成、運転速度、天候条件など、複数の要因によって変わります。点検や清掃は、特に乾燥、高温、風が強い条件では、作業日を通じて複数回行う必要があります。

重要： 損傷を防止してください。取扱説明書に記載されている他の日常メンテナンスに加えて定期的に機械全体の清掃を行うことにより、ダウンタイムと火災の発生リスクを大幅に減少させ、機械の性能を向上させることができます。

適切なメンテナンスに加えて、扱っている素材の状態は火災に寄与する最も重要な要因です。ほこりの塊ができる乾燥した軽いフワフワした素材は、発火する可能性が最も高くなります。ごみは、特に水平面など、さまざまな部分に溜まります。素材が溜まる場所では、風速や方向などの条件が変わる可能性があります。これらの変わる条件に注意し、清掃スケジュールを調整して、適切な機械機能を確認し、火災の危険性を減らしてください。

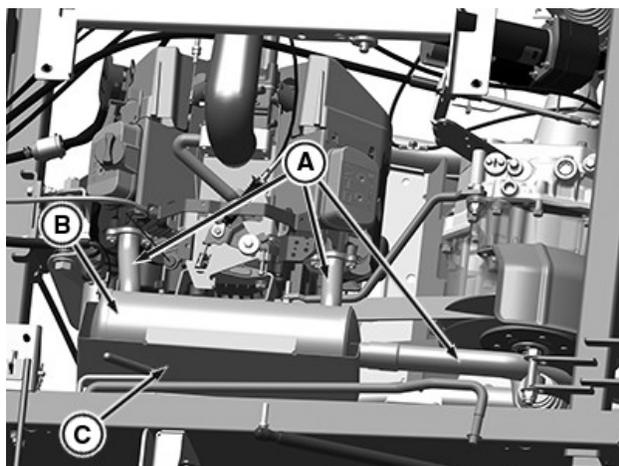
機械および取扱説明書に掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に、必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

以下に示す部分に特に注意を払って、機械全体を点検する必要があります。

MG39705.0000363-40-08APR20

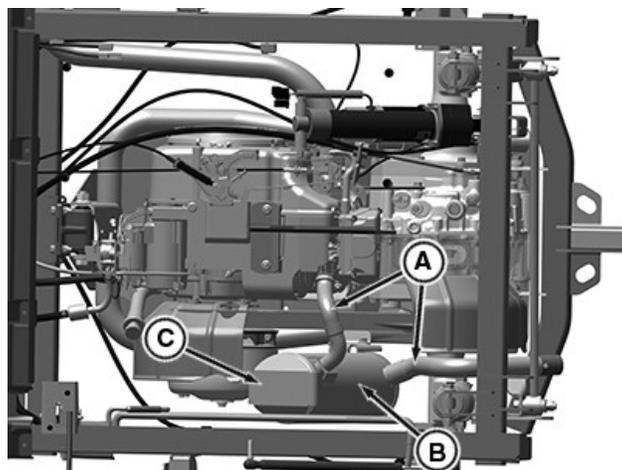
清掃する部分

機械で点検と清掃を必要とする主な箇所は以下の通りです（「安全ラベル」セクション参照）：



2 気筒エンジン。

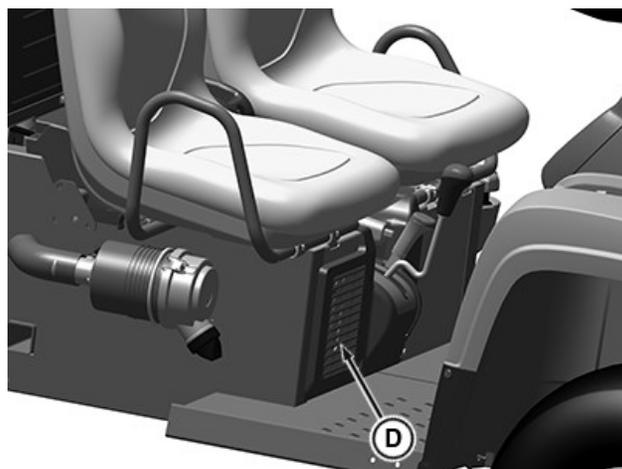
APY30305—UN—12MAR20



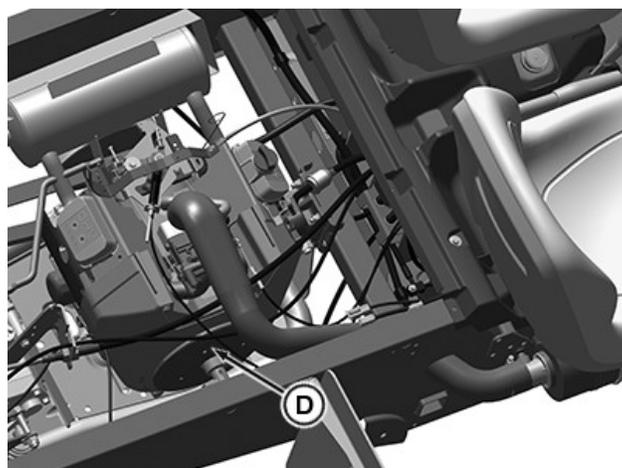
単気筒エンジン。

APY30344—UN—27MAR20

- マフラーのパイプ (A)、マフラー (B)、およびマフラーのシールド (C)。



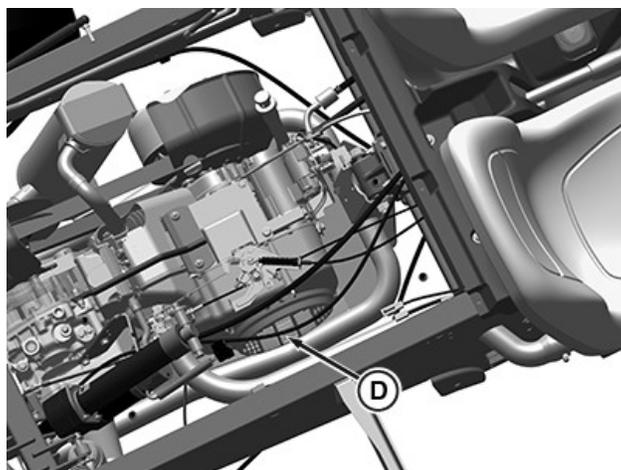
APY30306—UN—12MAR20



2 気筒エンジン。

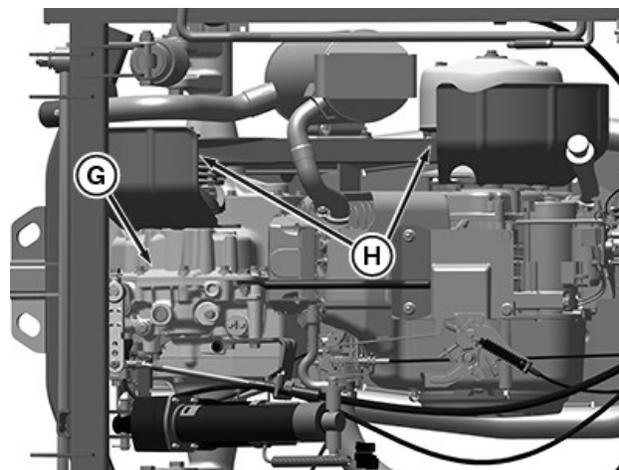
APY30307—UN—12MAR20

機械の清掃



単気筒エンジン。

APY30345—UN—27MAR20

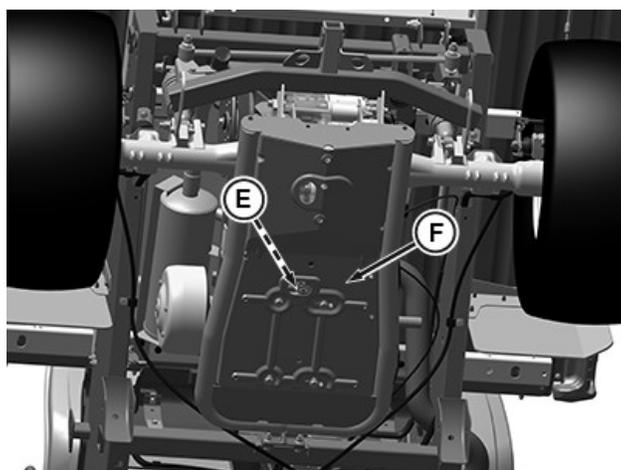


単気筒エンジン。

APY30346—UN—27MAR20

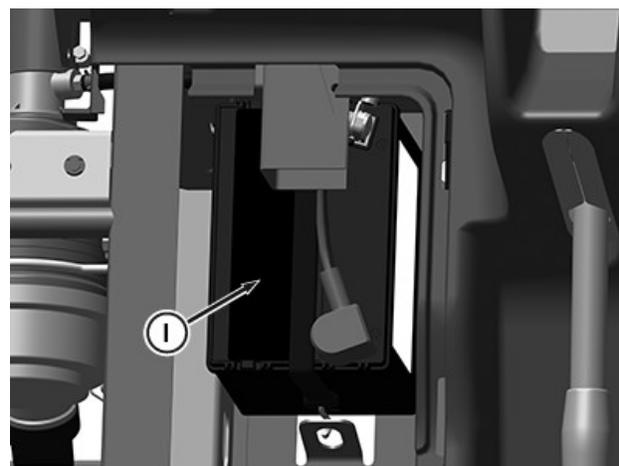
- エンジンインテークスクリーン (D)。

- トランスミッション (G) およびドライブライン (H) とその周囲。



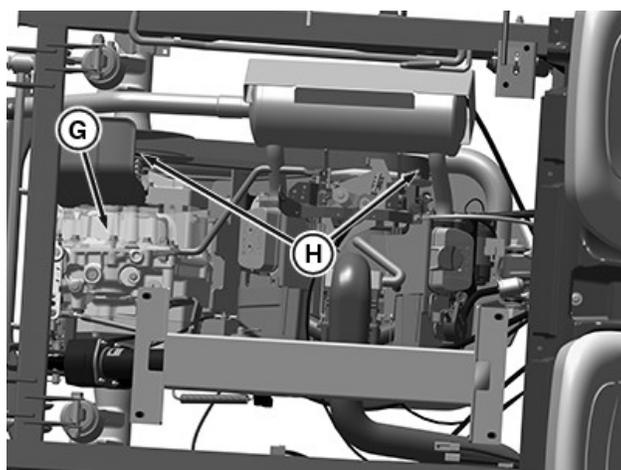
- エンジン (E) とエンジンファン (F) の間。

APY30308—UN—12MAR20



- バッテリー (I) および関連するワイヤハーネス。

APY30310—UN—12MAR20



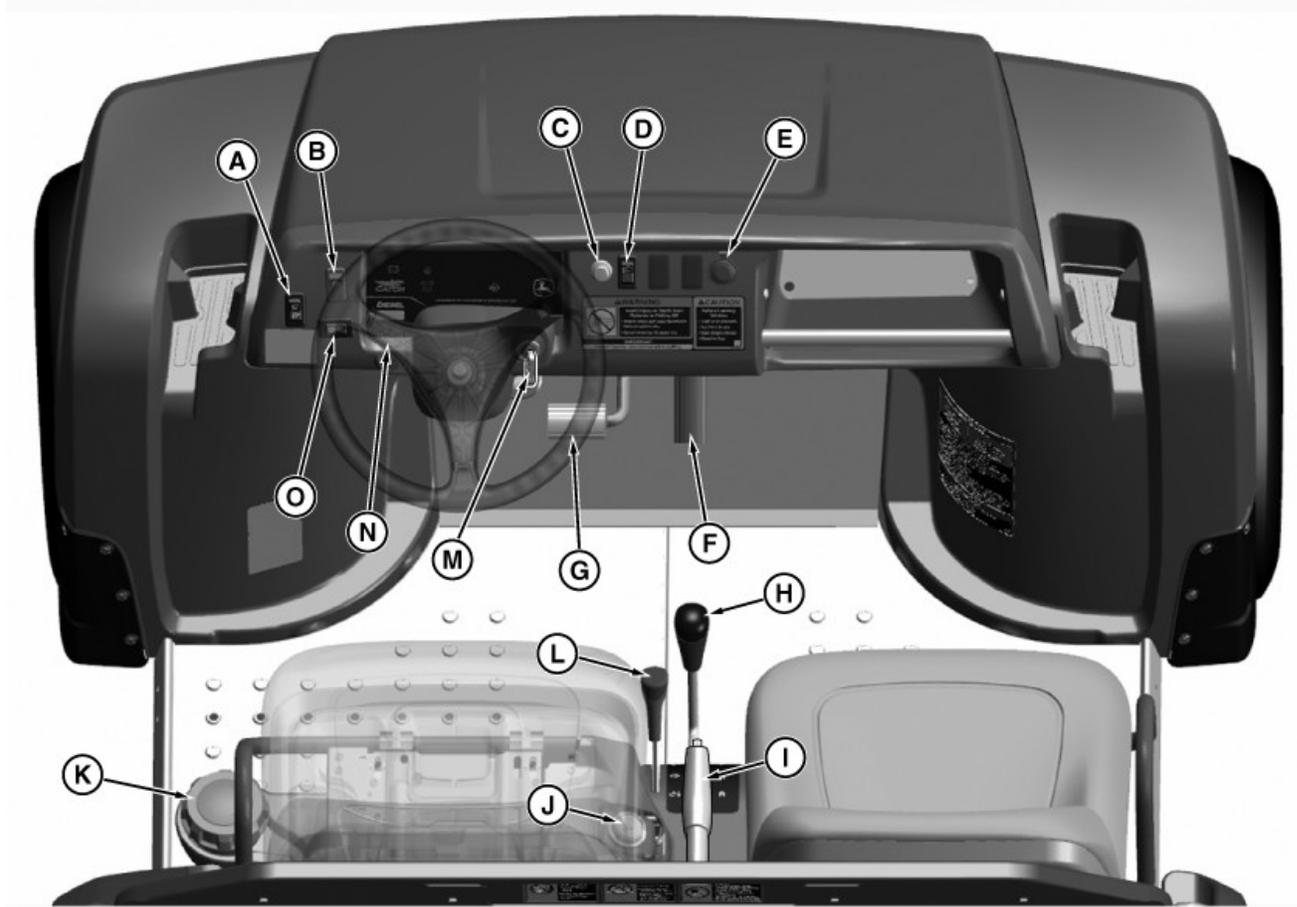
2 気筒エンジン。

APY30309—UN—12MAR20

MG39705,0000333-40-07APR20

コントロールの操作

オペレータステーションのコントロール類



MX102432—UN—28JUN22

A: 荷台パワーリフトスイッチ*
B: ハザードライトスイッチ*
C: ホーンスイッチ*
D: ヘッドライトスイッチ
E: 12 VDC 付属品用コンセント
F: アクセルペダル
G: ブレーキペダル
H: ギアシフトレバー

I: 駐車ブレーキレバー
J: 燃料計
K: 燃料タンクキャップ
L: トラクションアシスト (デフロク) レバー
M: キースイッチ
N: チョークノブ
O: 方向指示灯スイッチ*

*オプション機器

sb31882,1655204377660-40-16JUN22

操作

日常運転チェックリスト

- 安全システムのテスト。
- タイヤ圧を点検します。
- 燃料レベルを点検します。
- エンジンオイルレベルの点検。
- 緩んでいる金具を締め付けます。
- エンジン室、特にトランスアクスルの両側にあるブレーキリンケージの周りのごみを取り除きます。
- 吸気が清浄であることを確認します。
- 漏れがないか機械の下を点検します。
- ブレーキと駐車ブレーキの作動を点検します。

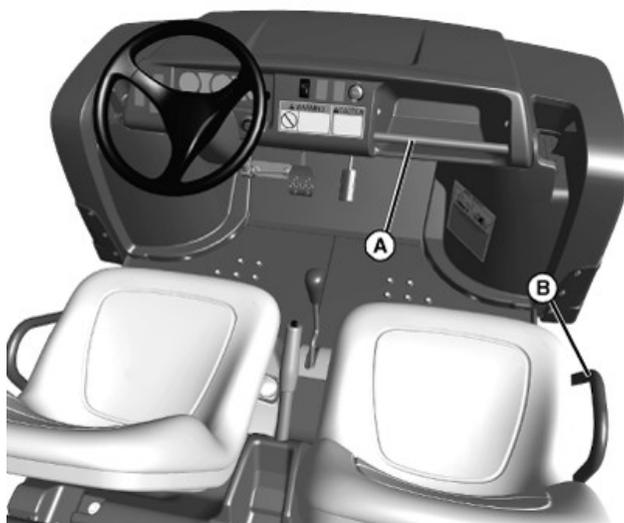
OUO1023.0000A70-40-19APR13

プラスチック面や塗装面の損傷防止

- 最初に水で洗っていない限り、プラスチック部品を拭かないでください。乾いた布を使用すると、傷の原因になります。
- 防虫スプレーは、プラスチックや塗装面を傷める可能性があります。機械の近くで防虫剤を噴霧しないでください。
- 機械に燃料をこぼさないように注意してください。燃料は機械の面を傷める可能性があります。こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 長期にわたって日光にさらされると、ボンネット面が損傷します。

OUO1023.0000A71-40-19APR13

手すりの使用



MXAL47655—UN—16APR13

ダッシュバー (A) とサイドレール (B) の手すりは、搭乗者のバランスのために用意されています。

- 機械に出入りするときは、手すりを使用してください。

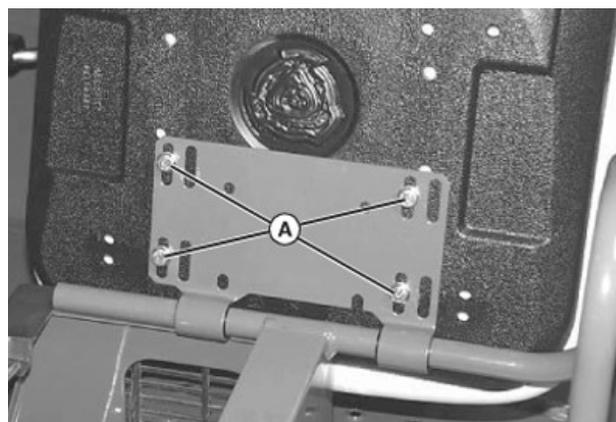
- 同乗者がいる場合、機械が動いている間は搭乗者は常に少なくとも 1 つの手すりを使用する必要があります。

OUO1023.0000A72-40-19APR13

標準シートの調整

1. シートを前に傾けます。

注記：シートを取り外した場合は、シート金具をブラケットの正しいスロットに取り付けます。シートの取り付け時は、必ず車両の中心に最も近いスロットのセットを使用してください。



MXAL47760—UN—12APR13

助手席の図。

2. シートに保持して、キャップスクリュー (A) を緩めます。
3. シートを前後にスライドさせて好みの位置に動かします。
4. シートのキャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

シートのキャップスクリュー：

トルク..... 12.2 N·m (9 lb-ft)

OUO1023.0000A73-40-19APR13

オプションのレバーシステムによる運転席の調整

⚠ 注意：けがを防止してください。機械が動いている間は、絶対にシートを調整しないでください。機械の制御を失うのを防ぐため、シートを調整する前に機械を停止させてください。

1. 機械を停止して、トランスアクスルシフトレバーをニュートラル位置に動かします。
2. 駐車ブレーキをロックします。

操作

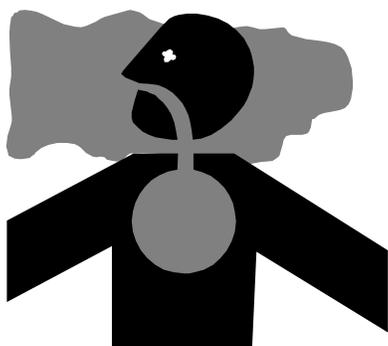


APY30312—UN—12MAR20

3. レバー (A) を持ち上げて、シートを好みの位置まで前後にスライドさせます。
4. レバーを放し、レバーが所定の位置にロックされるまでシートを少しスライドさせます。

MG39705,000031A-40-12MAR20

安全システムのテスト



MXAL41828—UN—18FEB13

注意：けがを防止してください。エンジンの排ガスは一酸化炭素を含んでおり、重篤な病気や死亡事故の原因になります。

- 機械を屋外に移動してからエンジンを運転してください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
- エンジンの排気管に延長管を接続して、排ガスを区域外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業区域に取り込み、排ガスを除去してください。

機械を使用する前に、機械に装備されている安全システムを点検する必要があります。これらの安全システムの点検を実施する前に、機械のオペータマニュアル

をよく読み、機械の運転を完全に習得してください。

機械の通常の操作のための点検については、以下の点検手順に従ってください。

これらの手順中に故障が確認された場合は、機械を運転しないでください。整備については、認定された取扱店にお問い合わせください。

これらのテストは、開放されたエリアで行ってください。人を近づけないでください。

OUO1023,0000A75-40-08APR20

安全始動システムのテスト

1. オペレータシートに座ります。
2. キーを STOP 位置にします。
3. 駐車ブレーキをロックします。
4. ギヤシフトレバーを前進位置に動かします。
5. キーを START 位置まで回します。エンジンは始動しないはずですが、キーをオフに入れます。
6. ギヤシフトレバーを後進位置に動かします。
7. キーを START 位置まで回します。エンジンは始動しないはずですが、キーをオフに入れます。

OUO1023,0000A76-40-19APR13

駐車ブレーキの使用

駐車ブレーキのロック：



MXAL47659—UN—16APR13

1. ブレーキペダルを踏み込んで、機械を所定の位置に保持します。
2. レバー (A) を引き上げ、駐車ブレーキがかかる位置にレバーをロックします。

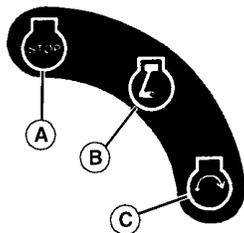
操作

駐車ブレーキのロック解除：

1. ブレーキペダルを踏み込んで、機械を所定の位置に保持します。
2. レバー (A) を引き上げます。
3. ボタン(B)を押し下げます。
4. レバーを完全に下に放します。

OUO1023,0000A77-40-19APR13

キースイッチの使用



MXAL44082—UN—27MAR13

A - STOP 位置 - キーが STOP 位置にある時は、すべての切替時供給電源が OFF になり、エンジンは作動しません。

B - ON 位置 - キーを STOP から ON 位置に回すと、すべての切替時供給電源回路が通電し、機械が使用できるようになります。

C - START 位置 - ニュートラルで機械を始動する場合にのみ使用します。

OUO1023,0000A78-40-19APR13

ヘッドライトの使用

ライトを操作するには、イグニッションスイッチ/キーが作動位置にある必要があります。イグニッションスイッチ/キーが作動位置にあり、エンジンが作動していない場合、ライトを長時間点灯させたままにすると、バッテリーが放電します。

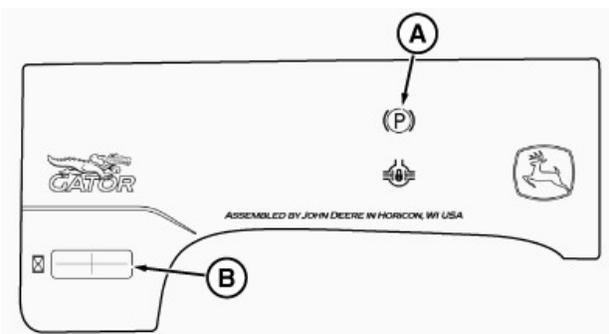
- ライトスイッチの上部を押して、ヘッドライトをオンにします。

注記： ライトを必ずオフにしてからイグニッションスイッチ/キーを STOP 位置に回してください。そうしない場合、ライトがバッテリーを放電させます。

- ライトスイッチの下側を押すと、ヘッドライトがオフになります。

OUO1023,0000A79-40-19APR13

計器盤の使用



MX102430—UN—14JUN22

A - 駐車ブレーキ表示灯 - 駐車ブレーキが作動すると、点灯します。

B - アワーメーター - エンジンの累積運転時間数が表示されます。

運転時間は、エンジン運転中に常に累積され、お使いの機械が推奨整備間隔に達した時期を判断できるようにします。

sb31882,1655205149616-40-14JUN22

付属品用コンセントの使用

注意： けがを防止してください。安全な操作を行うには最大限の注意が必要です。本機の操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。

注記： アクセサリは定格で 10 A か、それ以下である必要があります。

付属品プラグは、キースイッチではオフになりません。付属品プラグに接続された機器は引き続き電力を消費し、バッテリーを放電させます。

- 12 V コンセントカバーを取り外して、コンセントに付属品コードを取り付けます。
- 使用後、カバーをコンセントに取り付けます。

OUO1023,0000A7B-40-08APR20

オプションの方向指示灯スイッチの使用

注記： イグニッションスイッチ/キーが STOP 位置にあるときに方向指示灯が点滅し続け、バッテリーが放電されます。

- 方向指示灯スイッチの左端を押して、左折の信号を送ります。
- 方向指示灯スイッチの右端を押して、右折の信号を送ります。
- スイッチが中心に配置されるまで方向指示灯スウィ

操作

チの反対側の端を押して、方向指示灯を消灯します。

OUO1023,0000A7C-40-19APR13

オプションのハザードライトの使用

注記：イグニッションスイッチ/キーが STOP 位置にあるときにハザードライトが点滅し続け、バッテリーが放電されます。

- ハザードライトスイッチの上側を押すと、ハザードライトがオンになります。
- ハザードライトスイッチの下側を押すと、ハザードライトがオフになります。

OUO1023,0000A7D-40-19APR13

エンジンの始動

⚠ 注意：けがを防止してください。エンジンの排ガスは一酸化炭素を含んでおり、重篤な病気や死亡事故の原因になります。

- 機械を屋外に移動してからエンジンを運転してください。
 - 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
 - エンジンの排気管に延長管を接続して、排ガスを区域外に排出してください。
 - 屋外の新鮮な空気を作業区域に取り込み、排ガスを除去してください。
1. オペレータシートに座ります。この時点ではエンジンを始動しないでください。
 2. アクセルペダルを踏み込んで、ペダルアセンブリが自由に動くことを確認します。ペダルから足を離します。

注記：この機械にはニュートラル始動安全スイッチがあります。ギヤシフトレバーが N (ニュートラル) 位置にない限り、エンジンは始動しません。

3. トランスアクスルシフトレバーが N (ニュートラル) 位置にあることを確認します。
4. 駐車ブレーキがロックされていることを確認します。

⚠ 注意：けがを防止してください。スタータ端子を短絡させてエンジンを始動しないでください。通常の回路をバイパスすると、車両はギヤを入れて始動できます。

絶対に地面に立ったままエンジンを始動しないでください。必ず運転席からエンジンを始動してください。

5. キースイッチを ON 位置に回します。

重要：損傷を防止してください。できるだけ早く、ノブを完全にオフの位置に押し込んでチョークを開きます。暖機時間を超えてチョークをオンにしてエンジンを運転すると、点火プラグが汚損する可能性があります。

注記：チョークはスナップとシールのオプションで設計されており、圧力洗浄や悪天候などの最大限の気象保護に利用できます。通常の使用では、この機能を使用する必要はありません。ノブを完全に押し込み、スナップして密閉します。通常の操作では、ノブを引き出します。

6. エンジンが冷えている場合は、チョークノブをいっぱいまで引き出します。
7. キーを始動位置まで回します。
8. 必要に応じてチョークを押し込んで安定したエンジンアイドルにし、エンジンがスムーズに作動したらノブをいっぱいまで押し込みます。

重要：損傷を防止してください。スタータを 1 回に 20 秒以上作動させると、スタータが損傷するおそれがあります。

- エンジンが始動しない場合は、2 分間待ってから再度試みてください。
9. エンジンが始動したら、キーを ON 位置にして放します。
 - 5 秒以内にエンジンが始動しない場合は、キーを OFF に回して 10 秒待ってから再始動を試みてください。
 - 非常に寒い条件では、エンジンの始動を 3 回だけ試みて、5 分待ってから再度試してください。これにより、スタータが冷めるまでの時間が確保され、スタータの損傷を防止できます。
 10. チョークを押し込みます。

重要：損傷を防止してください。エンジンが暖まるまではフルスロットルまたは負荷をかけてエンジンを運転しないでください。エンジンが損傷するおそれがあります。

11. 半速で 2~3 分運転してエンジンを温めます。

OUO1023,0000A7E-40-09APR20

エンジンの停止

⚠ 注意：けがを防止してください。子供や近くにいる人が、無人の機械を移動または操作しようとする可能性があります。

機械から離れる前に、必ずパーキングブレーキをロックしてキーを抜いてください。

操作

重要： 損傷を防止してください。過酷な運転や長時間の運転後は、エンジンをすぐに停止しないでください。エンジンを約 2 分間ローアイドルで運転し、熱が蓄積されないようにしてください。

1. アクセルペダルを放し、ブレーキペダルを踏んで機械を停止します。
2. トランスアクスルシフトレバーを N (ニュートラル位置) に動かします。
3. 駐車ブレーキをロックします。
4. キースイッチを STOP 位置まで回します。
5. キーを抜いてください。

OUO1023.0000A7F-40-09APR20

非常停止

1. 走行ペダルまたはアクセルペダルから足を離します。
2. ブレーキペダルを踏み込みます。機械が停止するまでブレーキペダルを放さないでください。
3. 機械が停止した後、駐車ブレーキをロックします。
4. イグニッションキースイッチを STOP 位置に回します。

OUO1023.0000A80-40-19APR13

走行コントロールの使用

1. ブレーキを踏み込んで車両を停止します。
2. エンジンをローアイドル回転数にします。

重要： 損傷を防止してください。車両が動いている場合、またはエンジンが低アイドル回転数を超えて運転している場合は、ギヤをシフトしないでください。ブレーキを踏み込んで車両の動きを停止し、シフトレバーをしっかりと確実な動作で操作してください。

エンジンのアイドル回転数が工場出荷時の仕様よりも高く設定されている場合、シフト中にギヤが擦れることがあります。

3. ギヤ位置を選択します：
 - 前進 - シフトレバーを前進ギヤまで押します。
 - ニュートラル - シフトレバーを中央 (ニュートラル) 位置に押します。
 - 後進 - シフトレバーを後方に押してギヤを後進させます。
4. 必要に応じてトラクションアシストを使用します。
5. 車両が移動する方向を見てください。

注意： けがを防止してください。ブレーキ操作や旋回の前、荷物を運ぶとき、障害物の周辺や危険なオフロード条件での運転では減速してください。

6. アクセルペダルをゆっくりと滑らかに踏み込んで、車両の走行を開始します。
7. アクセルペダルを放し、ブレーキペダルを均等にしっかりかけて減速または停止します。

OUO1023.0000A81-40-09APR20

荷台の使用

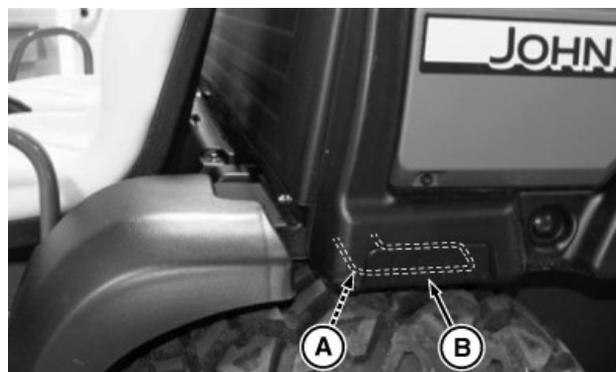
注意： けがを防止してください。座席はオペレータと他に搭乗者 1 人分が用意されています。荷台やテールゲートに人を乗せないでください。搭乗者が座席数以上に乗っている場合、死傷事故が発生する可能性があります。

手動リフトによる上昇

注意： けがを防止してください。機械を平坦な地面に駐車し、駐車ブレーキをロックしてから、荷台を手動で上昇させて上昇位置に固定します。

資材を入れた荷台は重量がある場合があります。カーゴボックスを手動で安全に上げることができるようになるまで、一部またはすべての材料を空にします。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
2. 荷台を手で空にします。



MXT023183—UN—30MAY18

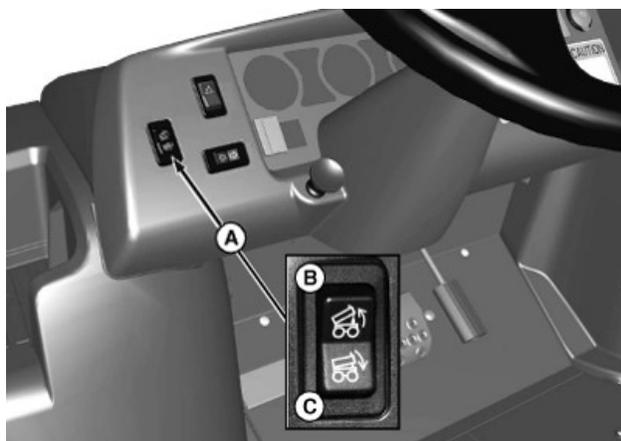
3. ロッド (A) を荷台のハンドル (B) に向けて動かします。リフトシリンダで荷台を上げます。

操作

パワーリフトによる上昇と下降

重要： 損傷を防止してください。荷台が完全に上昇または下降している場合、またはボックスに大きな負荷がかかっている場合は、「カチッ」という音や「ラチェット」音が発生し、アクチュエータクラッチの滑りを示します。不要な摩耗や損傷を防止するために、クラッチの滑りを最小限に抑えてください。パワーリフトアクチュエータをフルストロークを超えて操作したり、荷台の重量能力を超えて操作しないでください。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
2. 荷台のロックが取り付けられている場合は、ロックを解除します。
3. キーを ON 位置に回します。



APY30314—UN—13MAR20

4. 荷台スイッチ (A) は計器板の左側にあります。
5. ロッカースイッチ (B) の上部を押し続けて、荷台を上げます。荷台が必要な荷降ろし高さになったとき、または最大高さに達したときにスイッチを放します。

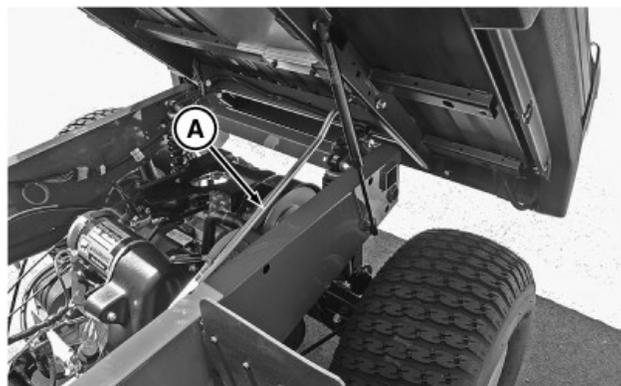
注記： 荷台を完全に下ろした後、パワーリフトアクチュエータクラッチを短く滑らせる (カチッという音またはラチェット音がします) と、荷台の安全を維持できます。荷台を完全に下げると、移動の振動によるがたがた音が減少します。

6. ロッカースイッチ (C) の下部を押し続けて、荷台を下げます。
7. キーを OFF 位置に回します。

上昇位置で荷台をロックする

注意： けがを防止してください。適切に固定されていないと、荷台が落下する可能性があります。上昇させた荷台の下で整備を行う前に、イグニッションからキーを取り外して、支持ロッドをしっかりとロックします。

1. カーゴボックスを上げます。



MX101107—UN—17JUL19

2. 荷台を少し引き下げて、ロッド (A) をボックスの中心に向けてロック位置に押し込みます。
3. 荷台が上昇位置にロックされていることを確認します。
4. 荷台を下げるには、ロッドを持ち上げて、完全に下げた位置にラッチがかかるまで荷台をゆっくりと下に押しします。

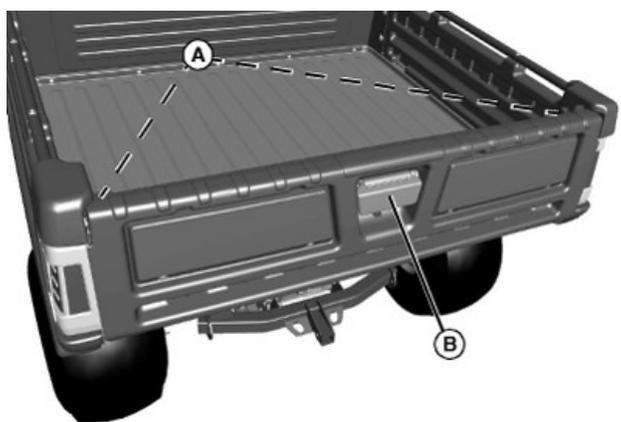
テールゲートの操作

注意： けがを防止してください。絶対に 1 本のストラップを取り付けた状態でテールゲートを操作しないでください (必ず両方を使用してください)。

ストラップに摩耗や損傷がないか点検します。ケーブルがねじれたり、擦り切れたりしている場合は交換します。

重要： 損傷を防止してください。ストラップが取り外されている場合は、荷台を傾けたり、積荷を降ろしたりしないでください。ヒッチとの接触によるテールゲートの損傷が発生する可能性があります。

緩い材料の積み込みと積み下ろしの際は、荷台とテールゲートの間の隙間に材料が詰まらないように、ストラップを取り付けたままにしてください。



MXAL47667—UN—16APR13

1. 下げたテールゲートを支持するには、ストラップ (A) が所定の位置にあることを確認します。

操作

2. テールゲートを 90° 以上下げる場合は、ストラップの接続を外します。

重要： 損傷を防止してください。テールゲートを完全に下ろして、荷台のみを荷降ろしします。絶対にテールゲートを下げたまま運転しないでください。テールゲートがタイヤに接触して損傷する可能性があります。

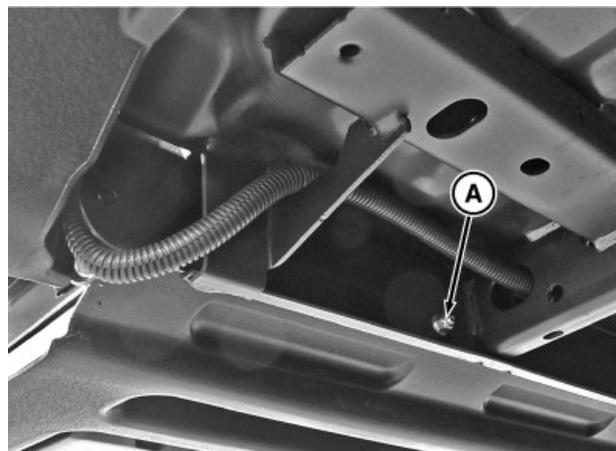
3. テールゲートのロックを解除して下げるには、ハンドル (B) を引き戻します。
4. テールゲートを上げる前に、テールゲートと荷台フロアの間隙に石やごみが詰まっていないか点検します。ごみを除去するには：
 - a. 荷台を上昇位置にロックします。
 - b. テールゲートを少し回してごみを除去し、隙間からブラシで除去します。
 - c. 荷台を下ろします。
5. テールゲートを上げるには、テールゲートをゆっくりと上に押しつけて閉位置にロックします。
6. テールゲートがしっかりとロックされていることを確認します。

テールゲートの取り外し



MX101099—UN—24JUN19

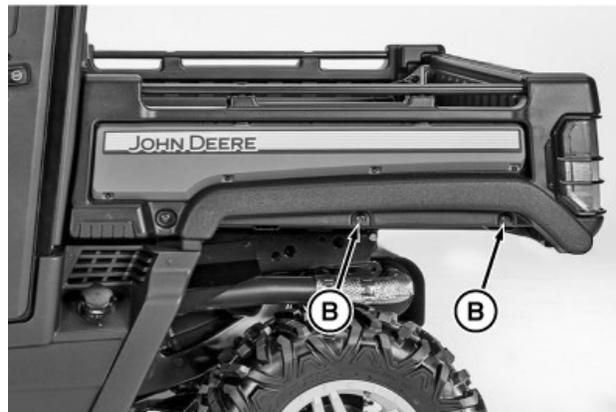
1. テールゲートを開いて、両側のストラップで支えます。



MX101096—UN—24JUN19

テールゲートの下側

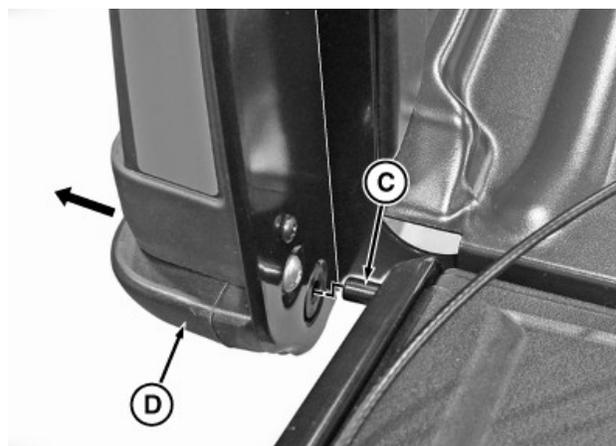
2. ここでナット (A) を緩めますが、取り外さないでください。



MX101097—UN—24JUN19

車両は参照のためにのみ表示しています。

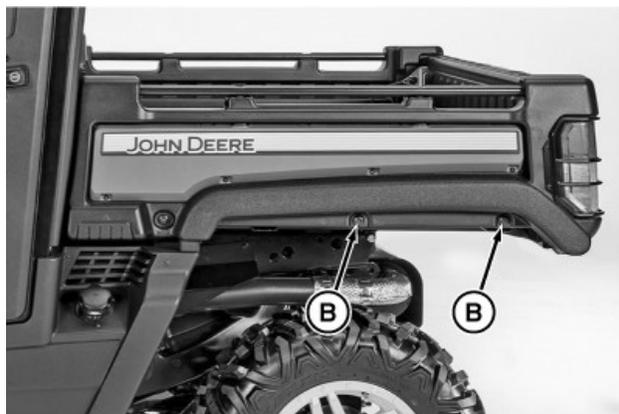
3. サイドパネルの 1 つを固定している 2 本のねじ (B) を取り外します。
4. 助手にテールゲートを支えてもらいます。
5. 両方のテールゲートストラップの接続を外します。



MX101098—UN—24JUN19

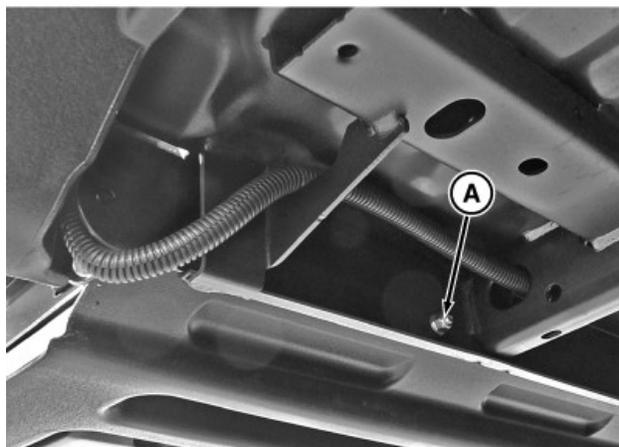
操作

6. サイドパネル (D) を少し外側に押して、テールゲート (C) を解放します。
7. テールゲートを車両から取り外します。



MX101097—UN—24JUN19

8. ねじ 2 本 (B) をサイドパネルに再度取り付けて締め付けます。



MX101096—UN—24JUN19

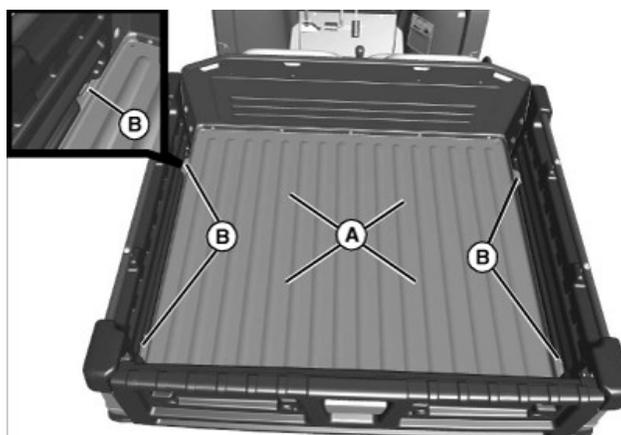
テールゲートの下側

9. ナット (A) を締め付けます。

取り付け：

テールゲートの取り付けは、取り外しと逆の順に行います。

荷台の固定用具の使用



MXAL47668—UN—16APR13

1. 重量が主要積荷エリア (A) の中心に配置されるように積荷を配置します。
2. 安全かつ確実な方法で、固定用具 (B) 積荷を固定します。

MG39705,000032A-40-09APR20

荷台への積載

⚠ 注意： けがを防止してください。カーゴボックスに正しく積載しなかった場合、ユーティリティビークルは不安定になることがあります。緩んできたり動きやすい積み荷や、材料の不均等な積載は避けてください。

- 積載ガードの高さを超えて積載しないでください。
- カーゴボックスのすべての荷物をしっかりと固定してください。
- 最大積載量を超えないでください。



MXAL47435—UN—12APR13

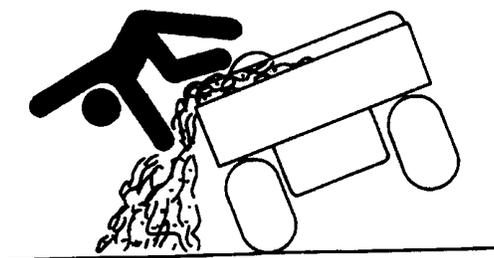
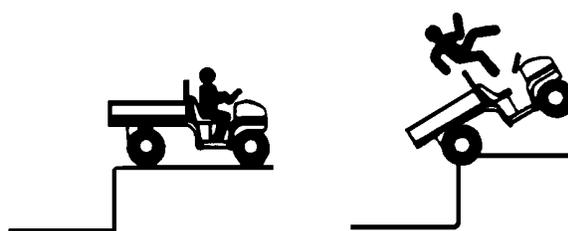
起伏や坂が多い地形で運転する際は、積み荷を減らしてください。車両に荷を積みすぎないでください。積み荷は安全に制御できる範囲に抑えてください。

起伏や坂が多い地形で運転する際は、速度を下げ、最大の注意を払ってください。

車両に物を積載する時には、カーゴボックス内で積み荷をしっかりと固定し、均等に配置してください。動きやすい積み荷は安定性に悪影響を与えます。

操作

積載ガードを超えて積載しないでください。



MXAL47436—UN—12APR13

車両の転倒を防止するため、カーゴボックスの後部や側部に集中的に積載するのは避けてください。積み荷は必ず均等に配置してください。

乾燥した砂と湿った砂では重量に大きな違いがあるため、こうした積み荷の本当の重量を知るには重量計を使用するしかありません。

通常、袋詰め材料やその他の材料には重量が印刷されています。

OUMX068,0000A3F-40-11OCT14

荷台を空にする

⚠ 注意：けがを防止してください。積載した荷台を上げると、重心が変わります。荷台を空にするために上げる際は、車両を溪谷の端や断崖から離して配置してください。

積み込まれた荷台は非常に重くなる可能性があります。積載した荷台を手動で上昇させないでください。荷台を手で持ち上げる前に、荷台から積荷を降ろしてください。

MXAL44093—UN—27MAR13

1. 車両を荷降ろしする場所に後退させます。
2. 車両を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照。）
3. テールゲートを開きます。

重要： 損傷を防止してください。アクチュエータのクラッチが滑った場合は、直ちに荷降ろしを停止してください。荷台を完全に下ろして、荷降ろしの前に手で余分な積荷を取り除きます。

4. 積荷を降ろすために荷台を上げます。
5. 空になったら荷台を下げます。
6. テールゲートを閉めます。荷台を上げた位置にして車両を運転しないでください。

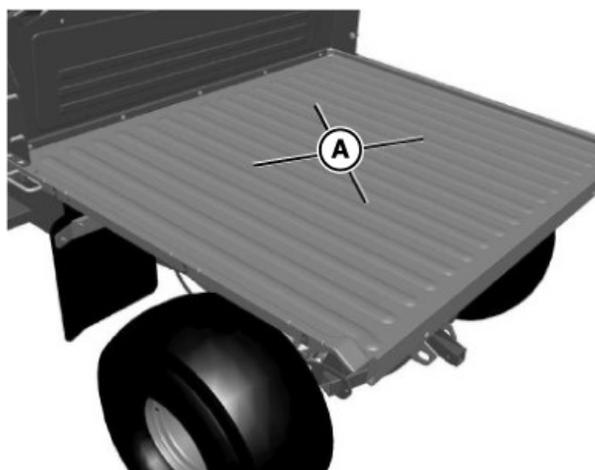
OUCO1023,0000A84-40-14APR20

荷台を平台として使用する

平台モードでの操作

⚠ 注意： けがを防止してください。積荷ガードはオペレータと同乗者を動く荷物から保護します。積荷ガードは取り外さないでください。

1. 荷台を平台に変換します（「その他の整備」セクションの「荷台の平台への変換」参照。）



MX101753—UN—14AUG20

操作

2. 重量が主要積荷エリア (A) の中心に配置されるように積荷を配置します。

SB31882,00000BE-40-14AUG20

トラクションアシスト (デフロック) の使用

トラクションアシストは、必要に応じて後輪のトラクションを向上させるデフロックシステムです。トラクションアシストを作動させると、両方の後輪が等しい速度で一緒に回転します。

注意： けがを防止してください。トラクションアシストを作動させた状態で高速で運転すると、ステアリングのコントロールが失われる可能性があります。車両を 16 km/h (10 mph) を超える速度で運転する際は、トラクションアシストを作動させないでください。

トラクションアシストを作動させた状態で旋回すると、機械の旋回半径が大きくなります。車両を 16 km/h (10 mph) を超える速度で運転する際は、トラクションアシストを作動させないでください。

トラクションアシストの起動：

重要： 損傷を防止してください。トラクションアシスト機能を不適切に使用すると、トランスアクスルが損傷する可能性があります。次の点に注意してください。

- トラクションアシストを ON または OFF にする前に、減速し、駆動輪が同じ回転数で回転するようにしてください。
- 乾燥したアスファルトまたはコンクリート面を走行時は、トラクションアシストを OFF にしてください。
- 対地駆動力を改善するために必要な場合のみ、トラクションアシストを使用してください。

1. エンジンを停止するか、エンジン回転数を 1/3 スロットル以下まで下げます。
2. トラクションアシストレバーをロック位置まで前方に押しします。
 - レバーが前進に入っている限り、トラクションアシストは ON のままになります。

トラクションアシストの解除

1. レバーをロック解除位置まで後方に引きます。
2. 車両を一定速度でまっすぐ前方に運転します。
3. エンジン回転数を 1/3 スロットル以下まで下げます。

OOU1023,0000A85-40-09APR20

牽引荷重

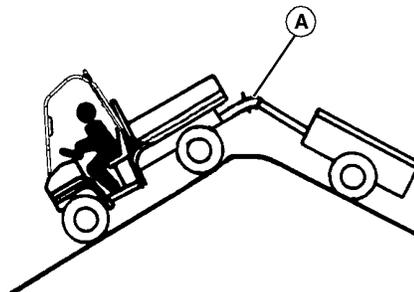
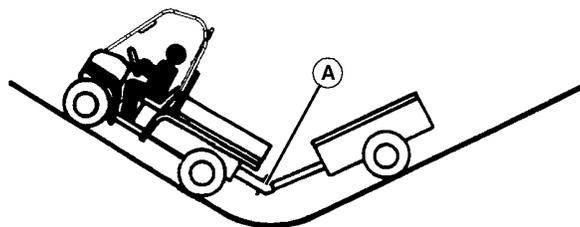
注意： けがを防止してください。牽引荷重が過大な場合、トラクションが失われたり、傾斜地で制御できなくなったりする可能性があります。停車距離は、速度と牽引負荷の重量に伴い長くなります。

この取扱説明書で指定されている、この車両の最大許容牽引荷重を超える負荷を牽引しないでください。

輸送の前に牽引荷重を固定してください。

- 十分なブレーキ能力とトラクションを維持するため、牽引する荷物の重量 (トレーラー + 積み荷) は車両の有効積載量 (オペレータ + 同乗者 + カーゴボックス荷重) を絶対に超えないでください。
- 悪路、起伏路、急峻路を運転する際に、貨物荷重を半分に減らす場合は、牽引荷重もそれに応じて減らしてください。
- 仕様に記載された牽引能力を超える荷重を牽引しないでください。
- 仕様に記載されたトレーラーのタンク重量を超えないでください。(トレーラのタンク荷重は、全トレーラ重量の約 10% とすること。)
- コントロールが維持できる十分ゆっくりした速度で牽引します。

重要： 損傷を防止してください。極端な角度の地形で操作する場合は、ボール型ヒッチ (A) を使用してください。



MXAL44186—UN—10APR13

- ユーティリティビークルに認められたヒッチおよびヒッチポイントを必ず使用してください。ヒッチおよびヒッチポイントを改造しないでください。

操作

容量ラベル



MXT007935—UN—18JUL13
ラベルは参照のためにのみ表示しています。機械のラベルで容量を確認します。

お使いの機械には、ヒッチ領域の近くにヒッチ容量ラベルが取り付けられています。ラベルは、垂直方向と水平方向の耐荷重を示します。

垂直耐荷重は、安全な操作のために適用できる最大の下向き力です。水平耐荷重は、安全な操作のために超えてはならない牽引されるものの総重量です。

OUMX068,000091A-40-10SEP14

正しいタイヤと空気圧の使用

「仕様」にあるタイヤの説明とタイヤ空気圧を参照してください。

タイヤ

注意：けがを防止してください。重大なけがや死亡事故を防止するため、以下の推奨事項を守ってください。これを怠った場合、安定性が失われオペレータが制御できなくなる恐れがあります。

John Deere 認定のオリジナル機器またはオプション機器の使用をお勧めします。機械の最高の性能と走行特質を確保するため、タイヤのサイズ、種類、配置を混合して使用しないでください。ガイドラインに従ってタイヤを装着しない場合、機械の性能が低下し、トラクションが低下し、取り扱いが難しくなる可能性があります。

空気圧

注意：けがを防止してください。不適切な整備を行うと、タイヤとリム部品がバーストして分離する可能性があります。

- 適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。
- 推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。

- ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接、加熱しないでください。熱により空気圧が高くなり、タイヤが破裂することがあります。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形したりすることがあります。
- 空気を入れているときは、タイヤの前またはタイヤのそばに立たないでください。タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。

重要： 損傷を防止してください。空気圧が高すぎると、タイヤが損傷して乗り心地を低下させる可能性があります。空気が足りないと、起伏の多い地形での運転時にホイールを損傷させる場合があります。

正確な低圧ゲージは John Deere 販売店から入手できます。

OOU1023,0000A87-40-09APR20

タイヤチェーンの使用

重要： 損傷を防止してください。タイヤチェーンの緩みにより、機械が損傷する可能性があります。チェーンの締め具合を定期的に点検し、必要に応じて調整します。

チェーンは、John Deere 販売店から後輪 2 本分のみ入手できます。

OOU1023,0000A88-40-09APR20

T シリーズ機械の輸送

機械の牽引

重要： 損傷を防止してください。絶対に 32 km/h (20 mph) を超える速度で車両を牽引しないでください。32 km/h (20 mph) を超える速度で車両を牽引すると、トランスミッションが損傷します。

車両を運搬する際は、故障を防ぐため密閉式トレーラーで輸送してください。開放式トレーラーを使用しなければならない場合は、ヘビーデューティトレーラーを使用するか、フルサイズのトラックを使用してください。輸送時は注意して、控えめな速度で走行してください。

フロントガラスなどのオプション付属品は、車両からの突然の落下などを防ぐため、事前に取り外してください。

前輪を台車に載せるタイプの自動車輸送台車は絶対に使用しないでください

- イグニッションキースイッチが STOP 位置にあることを確認します。
- 駐車ブレーキを解除し、牽引のためにトランスアク

操作

スリフトレバーをニュートラル (N) 位置に入れます。

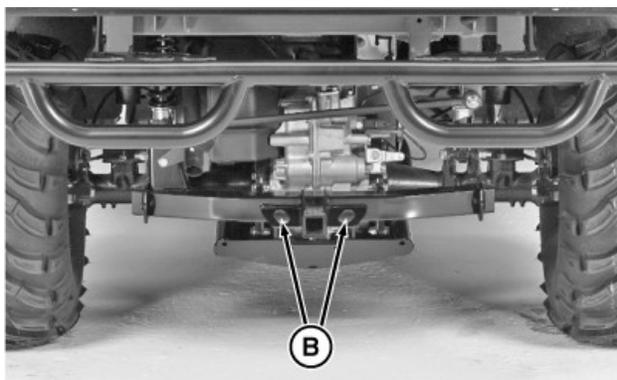
機械の結束位置



前部結束位置

MXAL47439—UN—12APR13

- 機械の前部で、ストラップまたはチェーンを図のようにアームの上とフレームの下に取り回します。



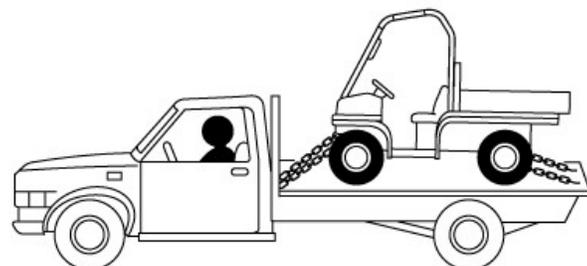
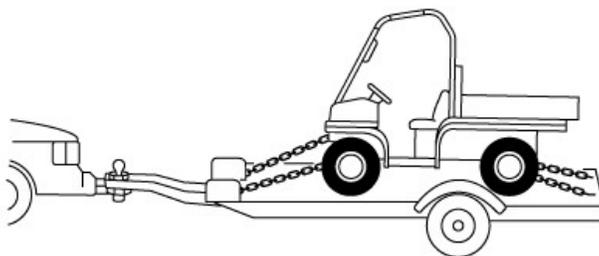
後部結束位置

MX101112—UN—24JUL19

- ヘビーデューティストラップ、チェーン、またはケーブルを使用して、機械後部の結束点 (B) を通して機械の後部をトレーラーに固定します。ストラップは、機械から下方と外側に向かって取り付けする必要があります。

機械の運搬

注記：スペースの制限は、トラックメーカーによって異なる場合があります。短いベッドトラックには、機械に合わせるために必要な長さの要件はありません。



MX100739—UN—14MAY19

1. 機械をトレーラーまたはトラックの上まで運転します。
2. トランスアクスルスリフトレバーを前進ギヤまたは後進ギヤに入れたままにします。
3. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
4. ストラップ、チェーン、またはケーブルを使用して機械をトレーラーまたはトラックに固定します。
5. 地域、州、地方、または連邦の法律で要求されているすべての必要なライトと標識をトレーラーまたはトラックに装備します。
6. オプションのアタッチメントが装備されている場合は、取り外すか固定します。

MG39705.000034E-40-10APR20

オプションのアタッチメントとキット

EN15695-1 (作物保護薬剤と液体肥料の散布に関する規格) に基づくキャビンの分類

EN 15695-1 に基づくキャブの分類は、有害物質に対するキャブの有効性に関する情報を提供します。

カテゴリ 1~4 で分類され、キャビン内のラベルに記載されます。



ラベルは運転席のシートベルトの裏側のキャブに取り付けられています
APY30313—UN—12MAR20

ラベル (A) が紛失または破損している場合は交換してください。John Deere 販売店にお問い合わせください。

A - カテゴリ 1: キャブは健康に有害な物質に対する一切の保護を提供しません。

B - カテゴリ 2: キャブは埃などの固体の空気中の微粒子に対する保護能力を有し、噴霧剤や気体に対する保護能力は有していません。

C - カテゴリ 3: キャブは埃や噴霧剤 (スプレーなど液体の空中浮遊物質) に対する保護能力を有し、気体に対する保護能力は有していません。

D - カテゴリ 4: キャブは埃、噴霧剤および気体に対する保護能力を有しています。

! 注意: けがを防止してください。殺虫剤の使用など有害物質を含む環境で作業する前に、キャブが十分な保護を提供するかどうか確認してください。キャビンに必要なカテゴリが記載されているスプレー液メーカーの製品データシートを参照してください。

カテゴリ 3 と 4 のキャブの場合は、有害物質を含む環境で作業する前に、取り付けられたフィルタが EN 15695-2:2009 規格に従って検査されているか、また使用する薬剤に対して適切かどうか (メーカー情報を参照) 確認してください。

キャビンエアフィルタは、指定どおりに整備する必要があります。(取扱説明書の「整備その他」および「整備間隔」のセクション参照。)

作物保護薬剤の製品データシートと製品識別情報を参照してください。ここには危険を回避するための重要な方法が記載されています。

最適な保護を提供するには、次の要件を満たす必要があります。

1. すべてのシール (ドア、ウィンドウ、ルーフ) の状態が良好であること。
2. ドア、ウィンドウ、ルーフが閉まっていること。
3. キャブ内のケーブルのグロメットが適切に密閉されていること。
4. ファンがオンになっていること。
5. キャビンエアフィルタの状態が良好であること。

MG39705,000031B-40-12MAR20

トレーラーの使用

安全な操作については、すべてのトレーラーメーカーの指示に従ってください。

オプション装置の取り付けと負荷の安全な牽引については、この取扱説明書のすべての指示に従ってください。

SP66632,0004740-40-19APR13

整備間隔

機械の整備

重要： 損傷を防止してください。極端な条件での運転により、点検間隔の短縮が必要になる場合があります。

- 極端な熱、ほこり、またはその他の過酷な条件で運転しているときは、エンジン部品の汚損や詰まりが発生することがあります。
- 機械を低速または低エンジン回転数で継続的に、または短期間頻繁に運転した場合、エンジンオイルが劣化する可能性があります。

次のタイムテーブルを参照して機械の定期メンテナンスを行ってください。

車両を安全に駐車します。「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。

OUO1023.0000A8D-40-09APR20

慣らし運転

最初の 8 時間後：

- ホイールボルトを点検し、正しいトルク値に締めます。
- エンジンオイルとフィルタを交換します。
- ブレーキフルードレベルを点検します。

OUO1023.0000A8E-40-19APR13

50 時間ごと、または 1 年ごと (いずれか早い時期)

- ニップル (フロントスピンドル) にグリースを塗ります。
- 荷台のテールゲートストライカーにグリースを塗ります。
- ブレーキフルードレベルを点検します。
- 「仕様」にあるタイヤの説明とタイヤ空気圧を参照してください。
- 駐車ブレーキが正しく作動しているか点検します。(必要な調整については、John Deere 販売店にお問い合わせください。)
- タイヤとホイール： タイヤ圧を点検します。

SR99263.0000115-40-05JUN19

100 時間ごと、1 年ごと (いずれか早い時期)

- エンジンオイルとフィルタを交換します。
- トランスアクスルオイルレベルを点検します。

JG81906.000094F-40-17APR13

200 時間ごと

- エンジンバルブクリアランスを調整します (John Deere 販売店にお問い合わせください)。

OUO1023.0000A91-40-19APR13

200 時間ごと、1 年ごと (いずれか早い時期)

- スパークプラグを交換します。
- エアクリーナエレメントを交換します。
- エアクリーナダストアンローダーバルブを点検します。
- 燃料フィルタを交換します。
- スパークアレスタを点検します。
- 駆動ベルトの状態を点検します。
- 駆動クラッチの摩耗ボタンを点検します。
- 必要に応じて、バッテリー固定ストラップを点検して交換します。
- バッテリーを点検し、必要に応じて清掃します。
- ホイールボルトを点検し、正しいトルク値に締めます。
- 金具を点検して締め付けます。
- ブレーキパッドの摩耗を点検します。
- 荷台のテールゲートストラップを点検します。ねじれたり、擦り切れたりしている場合は交換します。

OUO1023.0000A92-40-19APR13

800 時間または 24 か月ごと

- トランスアクスルオイルを交換します。
- 駆動ベルトを交換します。

JG81906.0000952-40-17APR13

1000 時間ごとまたは 24 か月ごと (いずれか早い時期)

- ブレーキフルードをフラッシングして補充します。(この整備については John Deere™ 販売店にお問い合わせください)。

OUO1023.0000A94-40-19APR13

必要に応じて

- 荷台のラッチを調整します。

MG39705.00001A7-40-05JUN19

潤滑関連の整備

グリース

重要： 損傷を防止してください。部品の故障や早期摩耗を回避するために、推奨される John Deere グリースを使用してください。

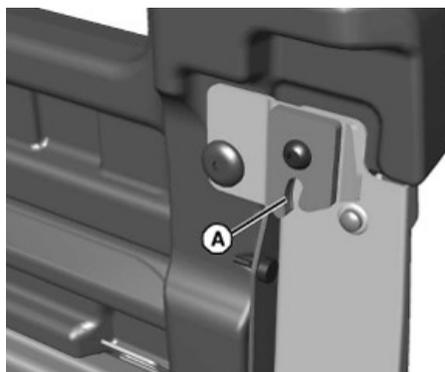
整備の際には以下のグリースが推奨されています：

- John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease
- Grease-Gard™ Premium Plus

すべての種類のグリースに互換性があるわけではありません。John Deere はグリースを混合することはお勧めしません。推奨されているグリース以外の製品を整備で使用する場合は、使用の前に、残っているグリースをシステムからパージしてください。これができない場合は、古いグリースがシステムからすべてパージされるまではグリースの注入頻度を 2 倍にしてください。

OUMX068,0000642-40-20APR21

荷台テールゲートストライカーの潤滑



MXAL47599—UN—16MAY13

1. テールゲートを開きます。
2. 荷台の両側のストライカー (A) の内面に推奨グリースを塗布します。

OOU1023,0000A97-40-19APR13

フロントスピンドルの潤滑



MXAL47598—UN—16MAY13

各ヘッドピンブッシングのグリースニップル 1 個 (A) に 1~2 回グリースを塗布します。

OOU1023,0000A96-40-19APR13

エンジンの整備

排出ガスの整備情報

資格を備えた修理工場または所有者の選任したスタッフは、元の交換部品または同等品を使用して、排出ガス制御装置とシステムのメンテナンス、交換、修理を行うことができます。ただし、John Deere によって支払われる保証、リコール、その他のすべての整備は、認定 John Deere サービスセンターで行う必要があります。

保証期間内において、所有者が John Deere 認定取扱店を利用できず、故障が所有者の誤使用または必要なメンテナンスの不履行によって発生していない危険な緊急条件の場合のみ、John Deere は John Deere 認定ネットワークの外部の整備事業者で発生した合理的な整備費用を払い戻します。このセクションの緊急状況が 30 日後に存在する場合、John Deere 認定ネットワークは修理の実施または交換用部品の調達を行うことはできません。

排出ガス制御システム認定ラベル

注記： 権限のない作業員による排出ガス制御 / 構成部品の改造には、厳しい罰金や違約金が科せられる場合があります。排出ガス制御 / 構成部品は、EPA または CARB 認定サービスセンターのみが調整できます。排出ガス制御 / 構成部品に関しては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

エミッションラベルは、ラベルの貼られたエンジンが米国 EPA (Environmental Protection Agency) または CARB (California Air Resources Board) で認定されていることを示します。

排出ガス保証は、John Deere によって販売され、EPA または CARB によって認定され、米国とカナダにおいてオフロード移動機器で使用されるエンジンにのみ適用されます。

高度調整 (ガソリンまたはプロパン転換エンジンのみ)

エンジンにキャブレターが装備されている場合、キャブレターはエンジンメーカーによって較正されているため、調整を行うことはできません。

エンジンを高度 610 m (2,000 ft) 未満で運転する場合、高地用キャブレタージェットキットは不要です。エンジンを高度 610 m (2,000 ft) 以上で運転する場合、適切なエンジン性能と排出ガス制御を確保するために高地用キャブレタージェットキットが必要になる場合があります。所定の高度に対して正しくないキャブレター構成でエンジンを運転すると、エンジンの排出ガスが増加し、燃費と性能が低下することがあります。

お使いの特定の製品のジェットキット要件については、資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

TC00531_000000EC-40-28MAR16

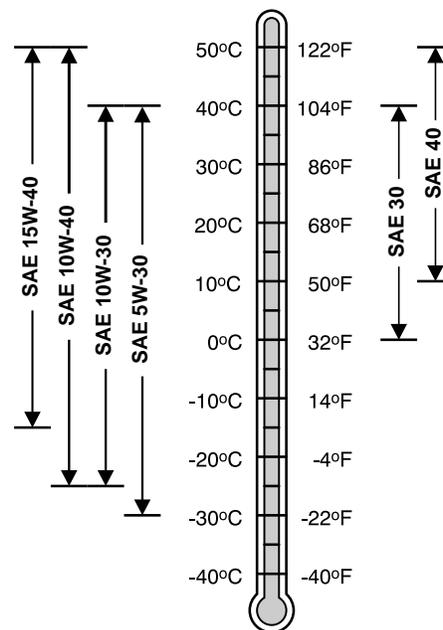
排ガスの回避

注意： けがを防止してください。エンジンの排ガスは一酸化炭素を含んでおり、重篤な病気や死亡事故の原因になります。

- 機械を屋外に移動してからエンジンを運転してください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
- エンジンの排気管に延長管を接続して、排ガスを区域外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業区域に取り込み、排ガスを除去してください。

OUO1023,0000A98-40-08APR20

ガソリンエンジンオイル



気温範囲とオイル粘度

TS1734—UN—04SEP13

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に応じたオイル粘度を使用してください。

SAE 30 や SAE 40 などの単粘度オイルを使用すると、空冷式エンジンのオイル消費を低減できます。

John Deere Turf-Gard™ を推奨します。

以下のオイルも推奨されます。

- John Deere Plus-4™
- John Deere Plus-50™ II

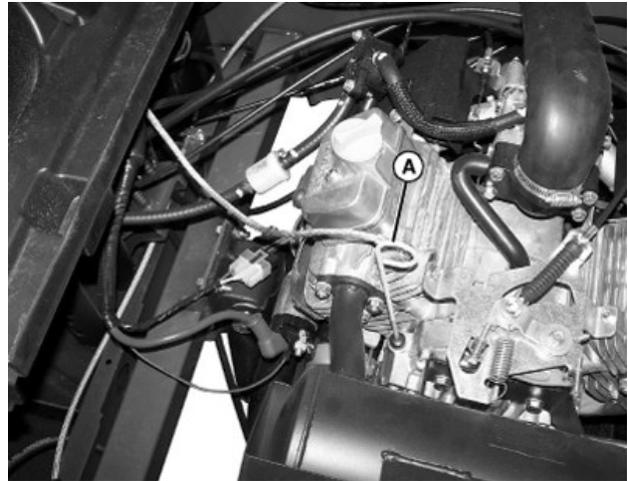
Turf-Gard は Deere & Company の商標です。
Plus-4 は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

エンジンの整備

以下のいずれかに適合する他のオイルも使用できます：

- ILSAC GF-5
- API サービス分類 SN
- API サービス分類 SM
- API サービス分類 SL
- API サービス分類 SJ
- ACEA オイルシーケンス A5
- ACEA オイルシーケンス A3
- ACEA オイルシーケンス A1
- ACEA オイルシーケンス C4
- ACEA オイルシーケンス C3
- ACEA オイルシーケンス C2
- ACEA オイルシーケンス C1

DX,ENOIL2-40-20JUL15



MXAL47601—UN—16MAY13

2気筒エンジン。

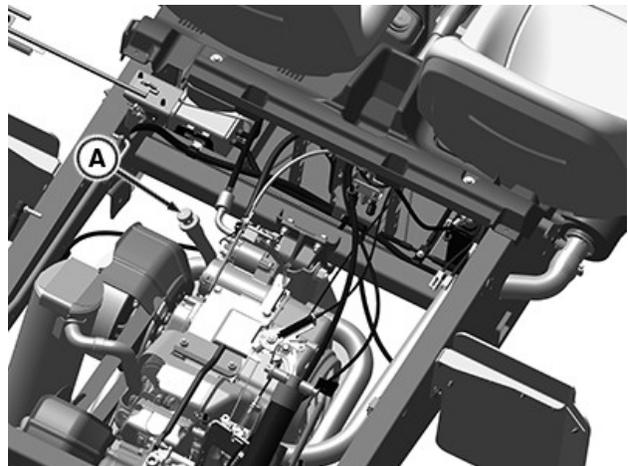
エンジンオイルレベルの点検

重要： 損傷を防止してください。定期的なオイルレベルの点検を怠ると、オイルレベルが使用範囲外になった場合に重大なエンジンの問題が発生することがあります。

- 運転の前にオイルレベルを点検してください。
- エンジン冷間時、運転されていないときにオイルレベルを点検してください。
- オイルレベルはディップスティックのマーク間に保ってください。
- オイルを追加する前に、エンジンを停止してください。

1. 車両を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照）。
2. 荷台を上げて固定します。

重要： 損傷を防止してください。オイルレベルの点検時は、泥や異物がエンジン内に入る可能性があります。検油棒を緩めたり、取り外したりする前に検油棒の周囲を清掃してください。



APY30342—UN—27MAR20

単気筒エンジン。

3. 検油棒 (A) を取り外し、拭き取って清掃します。
4. 検油棒を取り付けます。
5. 検油棒を取り外します。
6. オイルレベルの点検：
 - オイルレベルは検油棒の上部と下部のマークの間にある必要があります。
 - オイルレベルが検油棒の下部のマークの下にある場合は、検油棒の上部のマークを超えない程度にオイルを補充します。
 - オイルレベルが上部のマークよりも上にある場合は、適切なレベルまで抜き取ります。この状態の原因を特定し、修正してください。
7. 検油棒を取り付けます。
8. 荷台を下ろします。

MG39705.0000353-40-09APR20

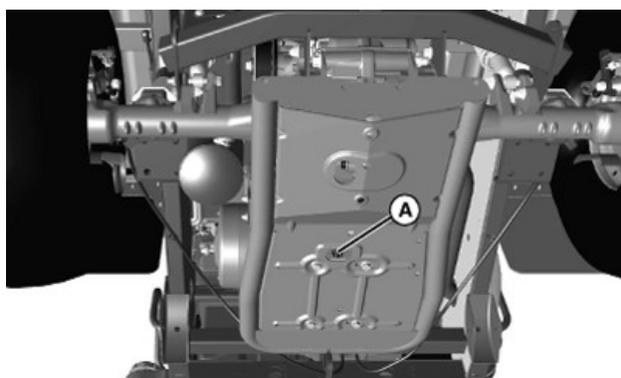
エンジンの整備

エンジンオイルとフィルタの交換

重要： 損傷を防止してください。次のような極端な条件で車両を使用している場合は、オイルをより頻繁に交換してください。

- 極端に埃の多い条件。
- 遅い速度または低速での頻繁な運転。
- 頻繁な短距離運転。

1. エンジンを運転し、オイルを暖めます。
2. 車両を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照。）
3. 荷台を上げて固定します。
4. ドレンプラグの周囲のごみを清掃します。
5. エンジンドレンプラグの下にドレンパンを置きます。



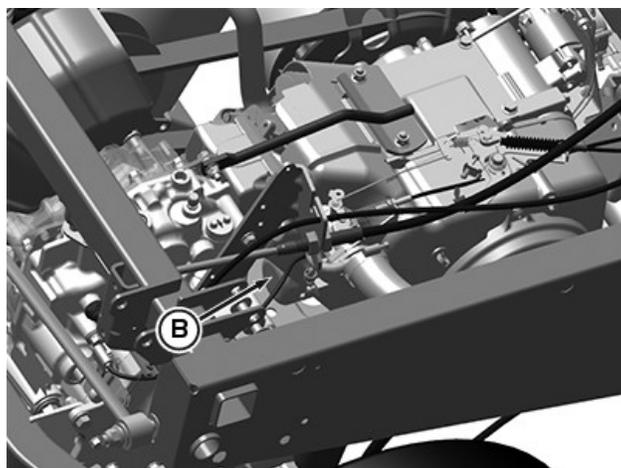
MXAL47602—UN—16MAY13

6. エンジン後部のドレンプラグ (A) を取り外して、オイルをオイルドレンパンに抜きます。オイルが完全に抜けるまで放置します。



MXAL47603—UN—16MAY13

2 気筒エンジン。



APY30356—UN—10APR20

単気筒エンジン。

7. エンジン後部のオイルフィルタ (B) を取り外して廃棄します。エンジンのフィルタベースを拭き取ります。
8. 新品のオイルフィルタのガスケットに清浄なエンジンオイルを軽く塗布します。
9. ゴムガスケットがフィルタベースに接触するまで、新品のフィルタを取り付けます。フィルタをさらに半回転締め付けます。
10. ドレンプラグを取り付け、規定のトルクで締め付けます。

仕様

エンジンオイルドレンプラグ：

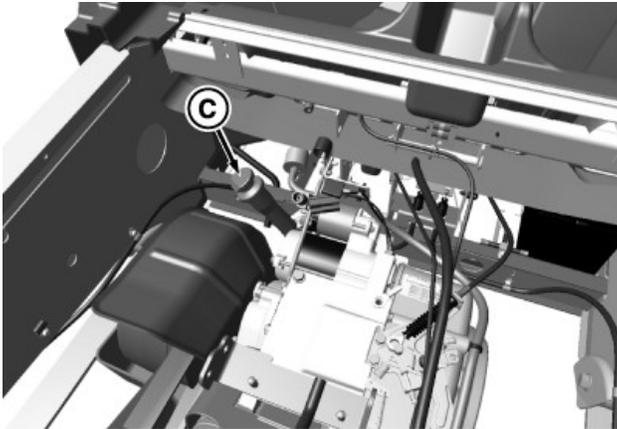
トルク..... 6.9 N·m (61 lb-in)



MXAL47604—UN—16MAY13

2 気筒エンジン。

エンジンの整備



単気筒エンジン。

MXT007828—UN—06JUL13

11. 検油棒 (C) をフィルターチューブから取り外して、エンジンオイルを追加します。

重要： 損傷を防止してください。クランクケースにオイルを入れ過ぎないようにして下さい。表示されているオイル容量は、エンジンとクランクケースが完全に乾燥した状態での値です。抜き取り後、エンジンにオイルがいくらか残ります。

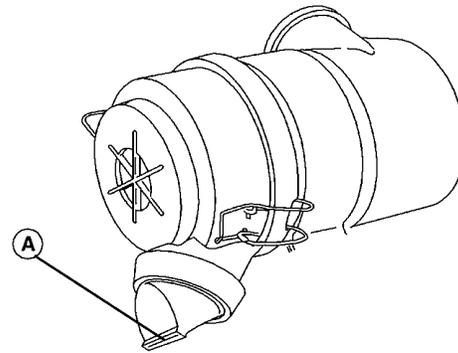
12. オイルを検油棒の上部マークを超えない程度に追加します。入れすぎないでください。
13. 検油棒を取り付けます。
14. エンジンを始動してアイドルで運転し、漏れがないか確認します。エンジンを停止します。運転する前に漏れを修理します。
15. オイルレベルを点検し、必要に応じてオイルを追加してください。
16. 荷台を下ろします。

MG39705.0000354-40-09APR20

ダストアンローダーバルブの清掃

重要： 損傷を防止してください。エアクリーナエレメントとゴム製のダストアンローディングバルブを取り付けていない状態で、エンジンを運転しないでください。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンルームにアクセスします。



MXAL44550—UN—28MAR13

4. ダストアンローディングバルブ (A) を絞って清掃します。取り外して、損傷がある場合は交換します。

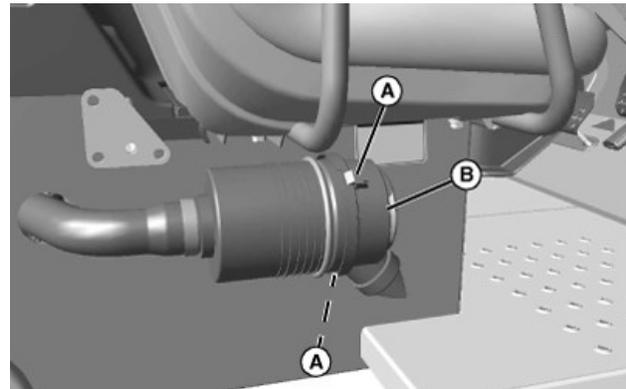
OOU1023.0000A9C-40-09APR20

エアクリーナエレメントの整備

重要： 損傷を防止してください。エアクリーナ容器が開放されていると、エンジンに泥や屑が入る可能性があります。定期的な整備に必要な限り、キャニスターを開けないでください。これによって吸気システムの汚染が最小限に抑えられます。

埃の多い条件で操作している場合は、より頻繁にフィルタエレメントを点検してください。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)
2. エンジンを冷まします。



MXAL47606—UN—16MAY13

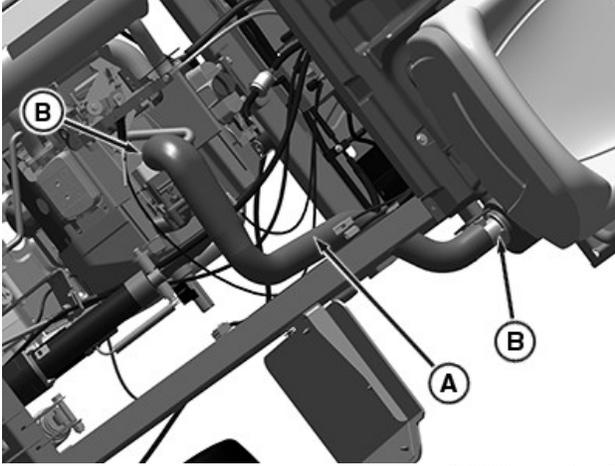
3. ラッチ (A) を解除し、エアクリーナ容器カバー (B) を取り外します。
4. フィルタエレメントを取り外して破棄します。新しいフィルタエレメントに交換します。
5. ゴム製ダストアンローダーバルブを下に向けて、エアクリーナ容器カバーを取り付けます。正しく取り付けのために、キャニスターカバーに成形された方向に従ってください。
6. キャニスターカバーのラッチを掛けます。

OOU1023.0000A9D-40-09APR20

エンジンの整備

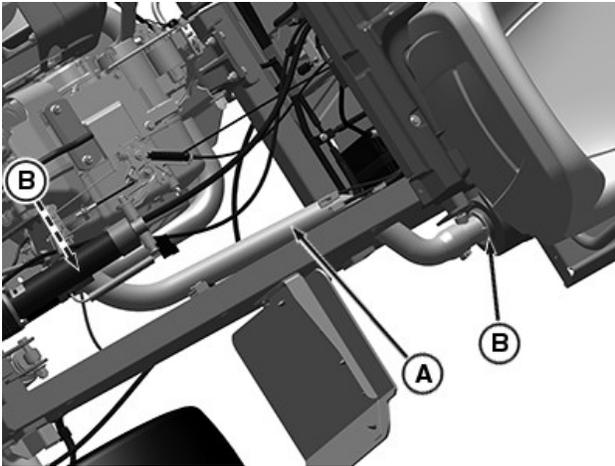
吸気ホースとクランプの点検

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
2. 荷台を上げて固定します。



2 気筒エンジン。

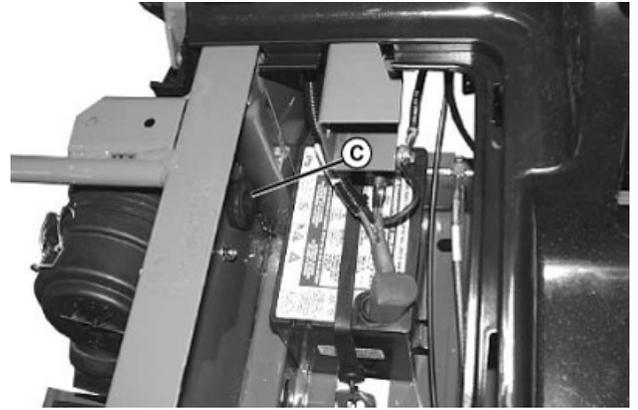
APY30339—UN—27MAR20



単気筒エンジン。

APY30338—UN—27MAR20

3. 吸気ホース (A) に損傷や亀裂がないか点検します。必要に応じて交換します。
4. 必要に応じて、吸気ホースクランプ (B) を点検して締め付けます。
5. 助手席を上げ、サービスアクセスパネルを取り外します。



MXAL47608—UN—16MAY13

6. 吸気絞り弁 (C) に障害物がなく、所定の位置に固定されていることを確認します。
7. 荷台を下げ、サービスアクセスパネルを取り付け、助手席を下げます。

MG39705.0000355-40-08APR20

スパークプラグの点検

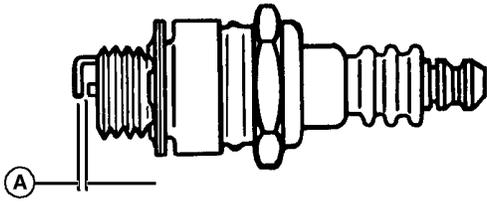
⚠ 注意： けがを防止してください。高温の面に触れると、やけどを負う可能性があります。エンジンを運転している場合、エンジン、部品、フルードは高温になります。エンジンや部品の近くで整備や作業を行う前に、エンジンを放置して冷ましてください。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
2. 荷台を上げて固定します。
3. スパークプラグワイヤの接続を外します。
4. スパークプラグソケットを使ってスパークプラグを取り外します。
5. スパークプラグについて以下を点検します：
 - 磁器部分の亀裂。
 - 電極のへこみや破損。
 - その他の摩耗や破損
6. ワイヤブラシでスパークプラグを丁寧に清掃します。

注記：カナダでは、スパークプラグを抵抗器付きスパークプラグのみと交換します。

7. 必要に応じてスパークプラグを交換します。

エンジンの整備



MXAL47609—UN—16MAY13

8. スパークプラグの隙間 (A) を点検し、調整します。隙間は仕様記載の範囲内にある必要があります。

仕様

スパークプラグ：隙間..... 0.80 mm (0.031 in)

9. スパークプラグを取り付けて締め付けます。規定のトルクで締め付けます。

仕様

スパークプラグ：トルク..... 25 N·m (18 lb-ft)

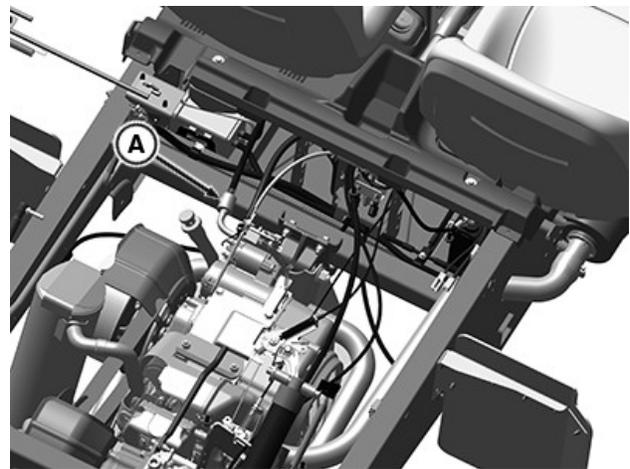
10. スパークプラグワイヤを取り付けます。
11. 荷台を下ろします。

OUO1023.0000A9F-40-08APR20



APY30311—UN—12MAR20

2気筒エンジン。



APY30343—UN—27MAR20

単気筒エンジン。

燃料フィルタの交換

⚠ 注意： けがを防止してください。燃料蒸気は爆発性および可燃性があります：

- 燃料を取り扱い中は喫煙しないでください。
 - 火炎や火花から燃料を離してください。
 - 整備前にエンジンを停止してください。
 - 整備を行う前にエンジンを冷ましてください。
 - 十分に換気された場所で作業してください。
 - こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
1. 車両を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照）。
 2. 荷台を上げて固定します。

3. 燃料フィルタ (A) の位置を確認します。
4. 燃料フィルタエレメントにごみがないか点検します。エレメントに汚れや沈殿物が見える場合は交換します。
5. ホースクランプ (B) をスライドさせて燃料フィルタから離します。
6. ドレンパンか布をホースの下に置いて、ホースに残っている燃料を受けられるようにします。
7. フィルタからホースの接続を外します。

注記： 燃料フィルタは矢印が燃料の流れる方向、つまりエンジンの方を指すように取り付けてください。

8. 新品のフィルタを取り付けます。
9. ホースを新品のフィルタに接続します。
10. クランプを取り付けます。
11. 荷台を下ろします。

MG39705.0000356-40-08APR20

エンジンの整備

エンジンルームの清掃

⚠ 注意： けがを防止してください。高温の面に触れると、やけどを負う可能性があります。エンジンを運転している場合、エンジン、部品、フルードは高温になります。エンジンや部品の近くで整備や作業を行う前に、エンジンを放置して冷ましてください。

1. 車両を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照。）
2. 荷台を上げて固定します。

重要： 損傷を防止してください。高温のエンジンやトランスアクスルに水を噴霧しないでください。鋳造アルミニウム部品が損傷する可能性があります。エンジンの温度が下がってから整備を行ってください。

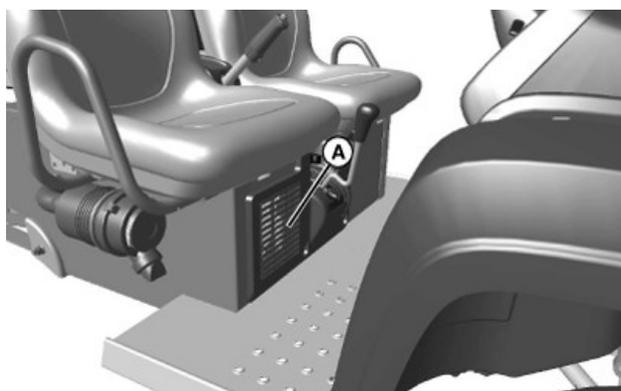
3. エンジンルーム内のごみを取り除きます。
4. コントロールケーブルとリンケージの周囲の障害物を点検して取り除きます。

OUO1023.0000AA2-40-14APR20

フレームスクリーンの清掃

1. 車両を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照。）

重要： 損傷を防止してください。吸気スクリーンが詰まっていると、過熱でエンジンが損傷することがあります。吸気スクリーンおよび冷却フィンを含むエンジンの他の外面を常に清潔に保ち、吸気が適切に行われるようにします。



MXAL47611—UN—16MAY13

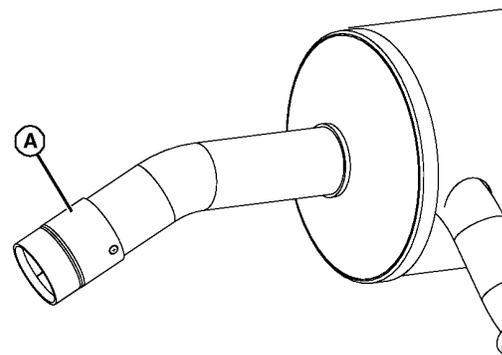
2. 泥、草、ごみがないかスクリーン (A) を点検します。
3. スクリーンを洗淨するか、ブラシや布で清掃してください。

OUO1023.0000AA3-40-09APR20

スパークアレスタの点検

⚠ 注意： けがを防止してください。高温の面に触れると、やけどを負う可能性があります。エンジンを運転している場合、エンジン、部品、フルードは高温になります。エンジンや部品の近くで整備や作業を行う前に、エンジンを放置して冷ましてください。

1. 車両を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照。）
2. エンジンが完全に冷めるまで放置します。
3. 荷台を上げて固定します。



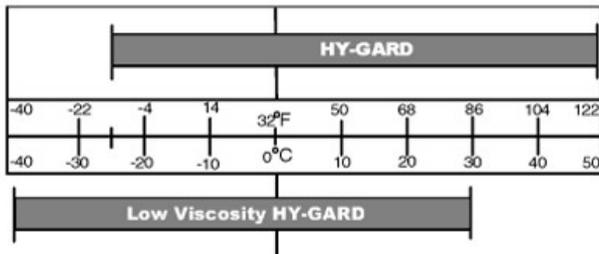
MXAL47612—UN—16MAY13

4. スパークアレスタ (A) をマフラー排気管に固定しているねじを取り外します。ねじを保管します。
5. スパークアレスタを取り外します。
6. アレスタ内のデフレクタスクリーンが詰まっていないか、または損傷していないことを確認します：
 - 詰まっている場合は、キャブレター/チョーククリーナーで噴霧し、低圧の圧縮空気で吹き付けて乾燥させます。
 - 損傷がある場合は、スパークアレスタを交換します。
7. 元のハードウェアでスパークアレスタを取り付けます。

OUO1023.0000AA4-40-27SEP14

トランスミッションの整備

トランスアクスルオイル



MXAL47715—UN—16APR13

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に応じたオイル粘度を使用してください。

John Deere Hy-Gard™ トランスミッションオイルおよび作動油は、ほとんどの通常動作温度に推奨されます。

注記： -13°C (0°F) 未満の温度では、John Deere 低粘度 Hy-Gard™ を使用できます。

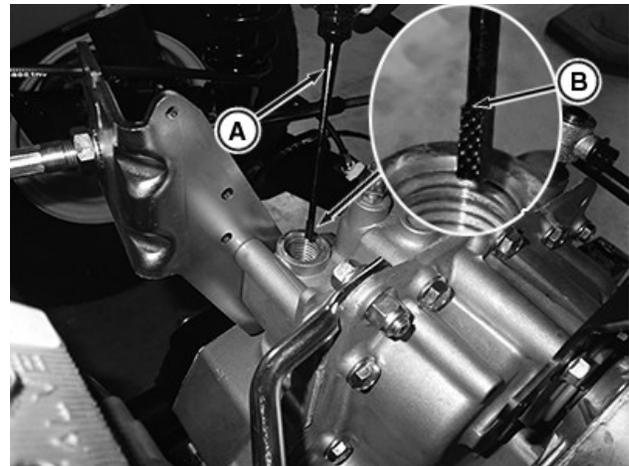
John Deere 標準 JDM J20C または JDM J20D に適合する場合は、他のオイルも使用できます。

OUO1023,0000AA5-40-06JUN19



MXAL47614—UN—16MAY13

- トランスアクスルハウジング上部にある検油棒 (A) を取り外します。検油棒をきれいに拭き取ります。
- トランスアクスルケースのねじ山に検油棒をセットして取り外し、オイルレベルを点検します。正しいオイルレベルは、検油棒の下端から上がったゾーンのレベル (B) までです



APY08181—UN—11MAR19

- 必要に応じて、オイルを検油棒注入穴から追加します。
- 検油棒を取り付けて締め付けます。
- 荷台を下ろします。

SU68010,00001DB-40-05JUN19

トランスアクスルオイルレベルの点検

重要： 損傷を防止してください。高温状態では作動油が膨張するため、正しいオイルレベルは表示されません。以下のときにオイルレベルを点検してください。

- オイルが冷えている時。
- エンジンが運転されていない状態。

- 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
- 荷台を上げて固定します。

重要： 損傷を防止してください。オイルに泥やごみがあると、トランスアクスルが損傷する可能性があります。検油棒を取り外す前に、開口部の周囲を清掃してください。

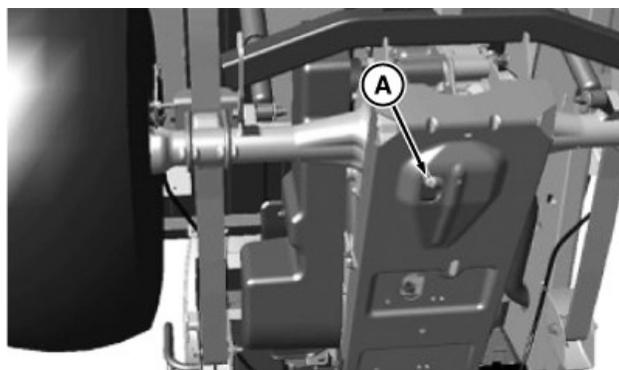
トランスアクスルオイルの交換

- 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
- 荷台を上げて固定します。

重要： 損傷を防止してください。オイルの中に泥やごみがあると、トランスアクスルの損傷が起きます。プラグや検油棒を取り外す前に、開口部の周囲を清掃してください。

トランスミッションの整備

ドレンプラグを取り外す前に、検油棒が取り付けられていることを確認してください。プラグを取り外した後に検油棒をゆっくりと取り外して、ドレンパンに排出されるオイル流量を制御します。



MX101108—UN—18JUL19

3. トランスアクスルドレンプラグ (A) の下にドレンパンを置きます。
4. プラグとドレンオイルを取り外します。
5. ドレンプラグの座金を点検します。欠落している場合、または状態が悪い場合は交換します。
6. ドレンプラグを取り付け、規定のトルクで締め付けます。

仕様

トランスアクスルのドレンプラグ

グ: トルク..... 30-35 N·m (22-26 lb·ft)

7. トランスアクスルハウジング上部の検油棒を取り外します。検油棒をきれいに拭き取ります。
8. オイルを次のように追加してください: まず、約 6.5 L (6.9 qt) 追加します。
9. トランスアクスルケースのねじ山に検油棒をセットして取り外し、オイルレベルを点検します。
10. 2分待ってからオイルレベルを点検します。必要に応じて、オイルを追加します。
11. 検油棒を取り付けて締め付けます。
12. 荷台を下ろします。

OUO1023.0000AA7-40-09APR20

駆動ベルトの交換

⚠ 注意: けがを防止してください。指、ゆったりした衣類、長い髪が回転部品に巻き込まれることがあります。オペレータステーションから離れて機械の調整や整備を行う前に、エンジンおよび可動部が停止するのを待ってください。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
2. 荷台を上げて固定します。



MXAL47616—UN—16MAY13

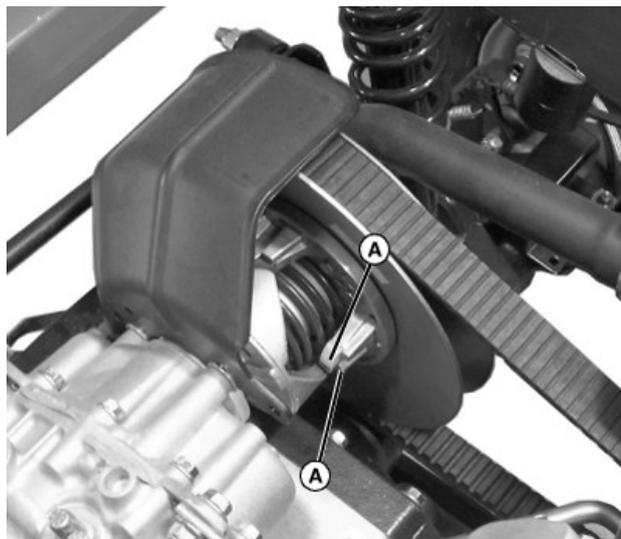
TX モデルの図。

3. ベルトを駆動クラッチのプーリー (A) に取り回します。駆動プーリーを回転させると、ベルトの取り外しが容易になります。
4. ベルトを駆動プーリー (B) の上に取り回して取り外します。
5. 駆動プーリーの上に取り回してから駆動クラッチプーリーの上に取り回して、新しいベルトを取り付けます。
6. 荷台を下ろします。

MG39705.000034D-40-08APR20

二次駆動クラッチボタンの点検

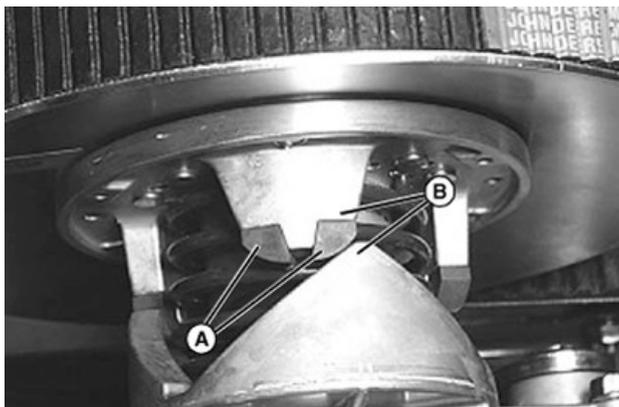
1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
2. 荷台を上げて固定します。



MXAL47617—UN—16MAY13

トランスミッションの整備

3. クラッチボタン (A) が紛失または摩耗していないか点検します。



MXAL47618—UN—16MAY13

良好なクラッチボタン

- クラッチボタン (A) に過度の摩耗がないようにしてください。
 - 金属と金属 (B) が接触する前にボタンを交換します。
 - 交換が必要な場合は、正規販売店にお問い合わせください。
4. 荷台を下ろします。

OUO1023.0000AA9-40-19APR13

ステアリングとブレーキの整備

ブレーキフルード

すべてのドラムとディスクブレーキには、以下のヘビーデューティブレーキ液を推奨します。

- ブレーキフルード - スーパーデューティ DOT4
- 以下に準じている場合は、他のブレーキ液を使用できません。
- 自動車の安全基準 No. 116に準拠。
- 最低ウェット沸点 155°C (311°F)。
- ペーパーロック防止のための最低ドライ沸点 230°C (446°F)。

OUO1023.0000AAA-40-19APR13

ブレーキ液レベルの点検

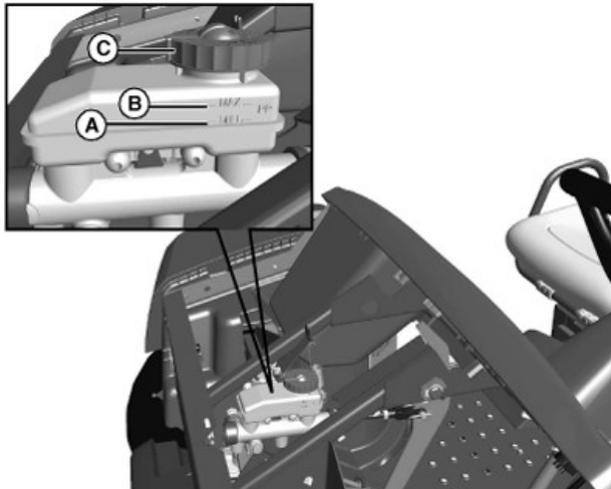
重要： 損傷を防止してください。ブレーキフルードに汚染物が入らないようにしてください。取り外す前にフィルターキャップの周りを十分に清掃します。ブレーキ液リザーバーキャップは、絶対に必要な場合以外は開けないでください。

リザーバーの注入は慎重に行ってください。液体が塗装面にこぼれると損傷の原因になります。

密閉された容器に入っているブレーキ液のみを使用してください。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
2. フードを取り外します。

注記： 漏れを防止するため、リザーバーに過度に充填しないでください。



MXAL47723—UN—16APR13

3. ブレーキフルードリザーバーを目視点検します。ブレーキフルードのレベルは MIN (A) と MAX (B) の間である必要があります。液体の量が少ない場合：
 - リザーバーキャップ (C) の周りをていねいに清掃します。

- リザーバーキャップを取り外し、MAX マークまでフルードを追加します。

4. リザーバーキャップを取り付けます。
5. フードを取り付けます。

SU68010.00001D7-40-05JUN19

ブレーキパッドの点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。

⚠ 注意： けがを防止してください。不安定なリフト装置やサポートから機械が落下したり、滑り落ちたりするおそれがあります。

- 持ち上げる荷重に適した安全なリフト装置を使用してください。
- 機械をジャッキスタンドやその他の安定したサポートの上に降ろし、整備前にホイールをブロックしてください。

重要： 損傷を防止してください。機械を上げたり、支えたりするときは、トランスミッションやエンジンの下ではなく、フレームの下にジャッキスタンドを配置してください。

2. 機械を安全リフト装置で上昇させ、ジャッキスタンドやその他の安定したサポートの上に降ろしてください。機械が動かないように、地面に接しているホイールをブロックします。

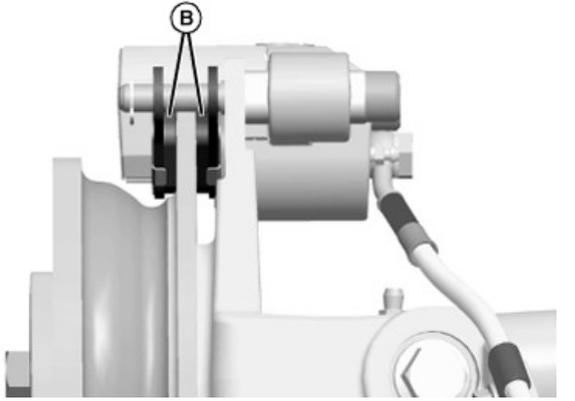


MXAL47724—UN—16APR13

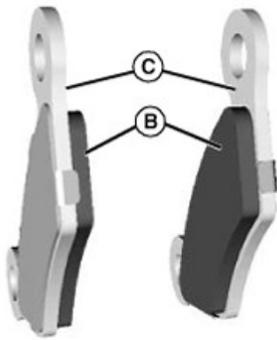
ホイールを取り外す際に、取り外すべきキャップがホイールにある場合とない場合があります。

3. ホイールボルト (A) を取り外します。
4. ホイールアセンブリを取り外します。

ステアリングとブレーキの整備

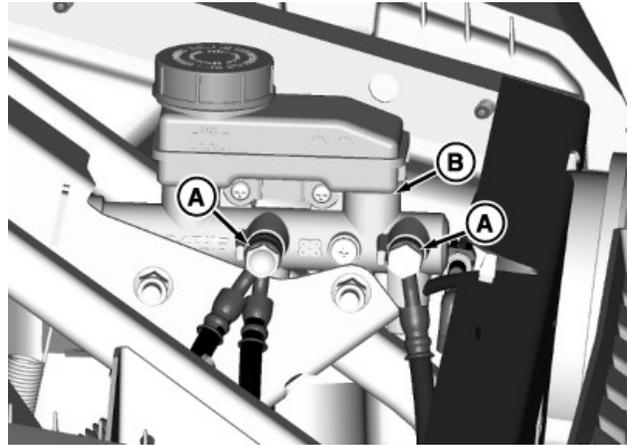


MXAL47725—UN—16APR13



MXAL47726—UN—16APR13

2. 塗料を塗った面を排出されたブレーキフルードから保護し、余分なブレーキフルード部分を拭きます。
3. フードを取り外します。



MXT012472—UN—27SEP14

4. リザーバー (B) のブレーキライン継手 (A) に漏れがないか点検します。
5. 必要に応じて、ブレーキライン継手のバンジョーボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

バンジョーボルト：トルク..... 27 N·m (20 lb-ft)

6. ホイールを回転させて、ブレーキキャリパーにアクセスします。

注記：各キャリパーには2本のブリーダーねじがあります。ブレーキのエア抜きが必要な場合は、上部ねじ (F) のみを使用してブレーキキャリパーのエア抜きを行います。

5. ブレーキパッド摩擦材 (B) に摩耗や損傷がないか点検します。各パッドの摩擦材の厚さを次のように点検します：裏当て板の内側端 (C) とパッドの摩擦面の間を測定します。仕様に満たない場合、またはブレーキパッドの摩擦材が損傷している場合は、交換サービスについて John Deere 販売店にお問い合わせください。

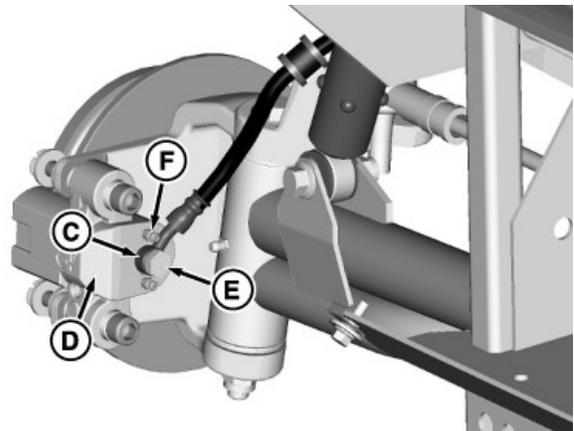
仕様

ブレーキパッドの摩擦材 (最小)：厚さ..... 1 mm (3/64 in)

6. ホイールアセンブリをバブルステムで外側に取り付けます。
7. しっかりと固定されるまで、ホイールボルトを対角線状に均一に締め付けます。
8. 残りのホイール3つに同じ手順を繰り返します。
9. 機械を地面まで完全に降ろします。
10. ホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ホイールボルト：トルク..... 88 N·m (65 lb-ft)



MXT012473—UN—27SEP14

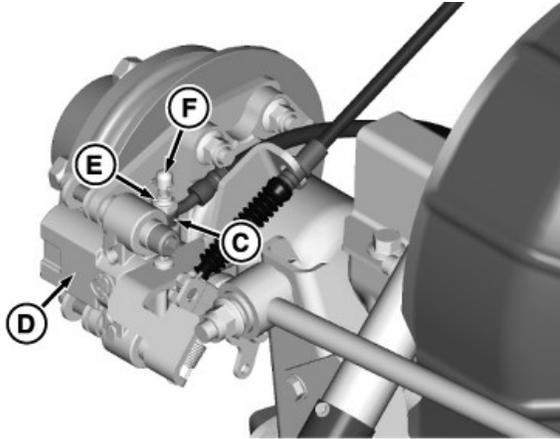
図：前部。

OUO1023,0000AAC-40-09APR20

ブレーキラインの点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)

ステアリングとブレーキの整備



MXT012474—UN—27SEP14

図：後部。

7. 各ブレーキキャリパー (D) のブレーキライン継手 (C) に漏れがないか点検します。必要に応じて、ブレーキライン継手のバンジョーボルト (E) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

バンジョーボルト：トルク..... 27 N·m (20 lb-ft)

8. フードを取り付けます。
9. 車両を始動し、ブレーキペダルを踏みます。それでも漏れが見られる場合は、John Deere 販売店に整備を依頼してください。

SU68010,00001D8-40-04MAR19

駐車ブレーキの調整

駐車ブレーキシステムの適切な調整については、John Deere 販売店にお問い合わせください。

JG81906,0000742-40-01APR13

電気の整備

電気

警告：けがを防止してください。バッテリーの電極、端子、および関連アクセサリには、癌の原因になったり、生殖機能に有害なことがカリフォルニア州により確認されている鉛や鉛化合物が含まれています。取り扱い後は手を洗ってください。

MP47322,00F466E-40-03MAY20

バッテリーの安全な整備



MXAL44610—UN—28MAR13

⚠ 注意：けがを防止してください。バッテリーは可燃性と爆発性のあるガスを発生します。バッテリーは爆発する可能性があるため、次の点に注意してください。

- バッテリーの近くで喫煙したり、直火を使用しないでください。
- ゴーグルと手袋を着用してください。
- バッテリー電極間に金属を直接接触させないでください。
- 接続を外すときは、最初にマイナスケーブルを取り外してください。
- 接続する時は、マイナスケーブルを最後に取り付けてください。

OUO1023,000AAE-40-08APR20

バッテリーの点検 (密閉型バッテリー)

注記：バッテリーの開封、液体の追加、整備は行わないでください。このようなことを行うと、保証が無効になります。

- バッテリーと端子は清潔な状態に保ってください。
- バッテリーのボルトはしっかりと締まった状態に維持してください。
- 小さい通気口は開いた状態に維持してください。

注記：このバッテリーは完全に充電されて出荷されています。バッテリーに記載されている整備期限日まで機械を使用しない場合は、バッテリーに充電してください。

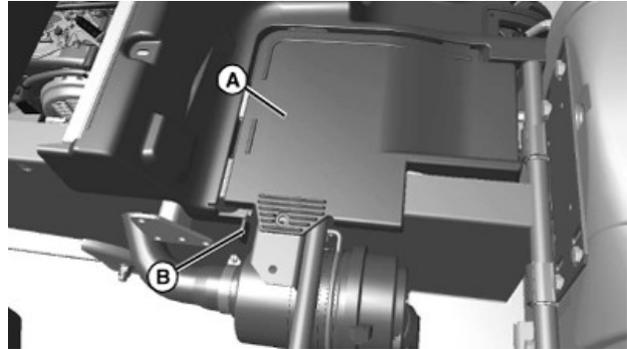
- 必要に応じて、6~10 A で 1 時間充電してください。

OUO1023,000AAF-40-14APR20

バッテリーの取り外しと取り付け

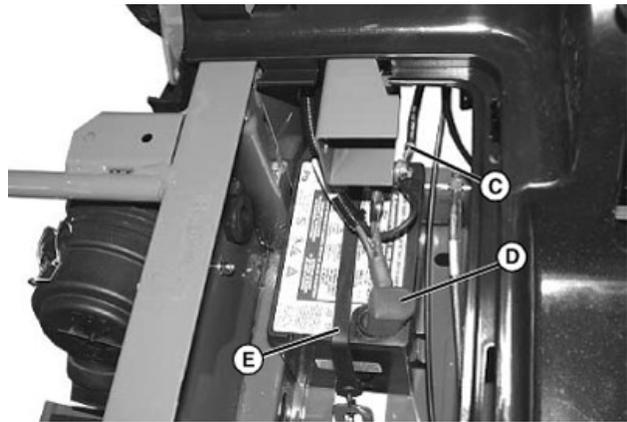
取り外し

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。



MXAL47624—UN—16MAY13

2. 助手席の下にある整備用アクセスパネル (A) の位置を確認します。ラッチ (B) を引き戻してパネルを取り外します。



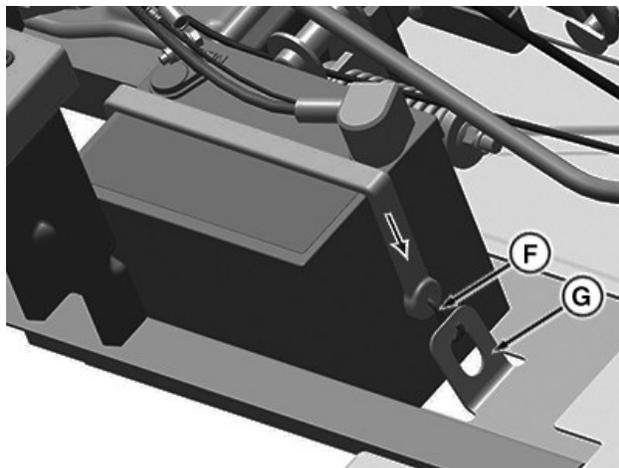
MXAL47625—UN—16MAY13

3. 最初にバッテリーから黒のマイナス (-) ケーブル (C) の接続を外します。
4. ゴム製の保護カバーを後ろにスライドさせて、すべての赤のプラス (+) ケーブル (D) の接続を外します。
5. ゴム製の固定ストラップ (E) の接続を外します。
6. バッテリーを車両から持ち上げます。

取り付け

1. マイナス (-) 端子を車両の後部に向けた状態で、バッテリーを車両に取り付けます。

電気の整備



APY08175—UN—27FEB19

2. バッテリー固定ストラップを取り付け、ゴムストラップフック (F) を保持して、ベースアイ (G) にロックします。
3. まず、すべての赤のプラス (+) ケーブルをプラス (+) 極に接続します。接続部を締め付けます。
4. すべての黒のマイナス (-) ケーブルをマイナス (-) 極に取り付けます。接続部を締め付けます。
5. スプレー潤滑剤を極に吹き付けて、腐食を防止します。
6. 保護カバーをバッテリーのプラスケーブルの下にスライドさせて、プラス (+) 極の上に固定します。
7. バッテリーカバーと留め具を取り付け、助手席を下げます。

SU68010,00001DD-40-05JUN19

バッテリーと端子の清掃

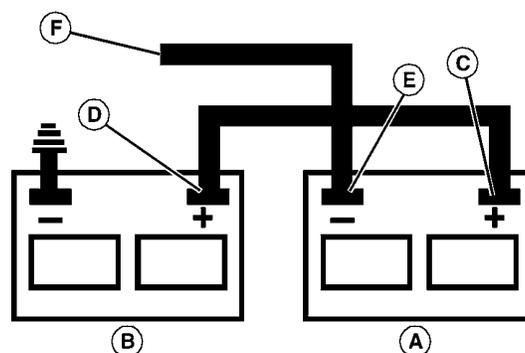
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)
2. バッテリーの接続を外して取り外します。
3. 水 1 gal に重曹大さじ 4 を混ぜた溶液でバッテリーを洗浄します。重曹溶剤がセル内に入らないように注意してください。
4. バッテリーを淡水で洗い、乾燥させます。
5. ワイヤブラシで端子とバッテリーケーブル端部を光沢が出るまで清掃します。
6. バッテリーを取り付けます。
7. 座金とナットを使用し、プラスケーブルから先にケーブルをバッテリー端子に取り付けます。
8. スプレー潤滑剤を端子に吹き付けて腐食を防止します。

OUO1023,0000AB1-40-19APR13

ブースターバッテリーの使用

⚠ 注意： けがを防止してください。バッテリーは可燃性と爆発性のあるガスを発生します。バッテリーは爆発する可能性があるため、次の点に注意してください。

- バッテリーの近くで喫煙したり、直火を使用しないでください。
- ゴーグルと手袋を着用してください。
- 凍りついたバッテリーをジャンプスタートしたり、充電したりしないでください。バッテリーを 16°C (60°F) に暖めてください。
- 放電したバッテリーのマイナス (-) 端子にマイナス (-) ブースターケーブルを接続しないでください。放電したバッテリーから離れた良好なアース位置に接続してください。



MXAL44612—UN—28MAR13

A : ブースターバッテリー
B : 放電したバッテリー

1. プラス (+) ブースターケーブルをブースターバッテリー (A) のプラス (+) 端子 (C) に接続します。
2. プラス (+) ブースターケーブルの反対側の端部を、放電したバッテリー (B) のプラス (+) 電極 (D) に接続します。
3. マイナス (-) ブースターケーブルをブースターバッテリーのマイナス (-) 電極 (E) に接続します。

重要： 損傷を防止してください。ブースターバッテリーからの電荷により機械の部品が損傷する場合があります。マイナスブースターケーブルを機械のフレームに取り付けしないでください。エンジンブロックのみに取り付けてください。

ベルトやファンブレードなど、エンジンルームの可動部品から離してマイナスのブースターケーブルを取り付けます。

4. マイナス (-) ブースターケーブルの反対側の端部 (F) を、放電した機械のバッテリーから離れたエンジンブロックの金属部分に接続します。
5. 動かなくなった機械のエンジンを始動し、機械を数分間運転します。
6. ブースターケーブルを接続したときと逆の順に、次

電気の整備

のように外します。最初にマイナスケーブル、次にプラスケーブル。

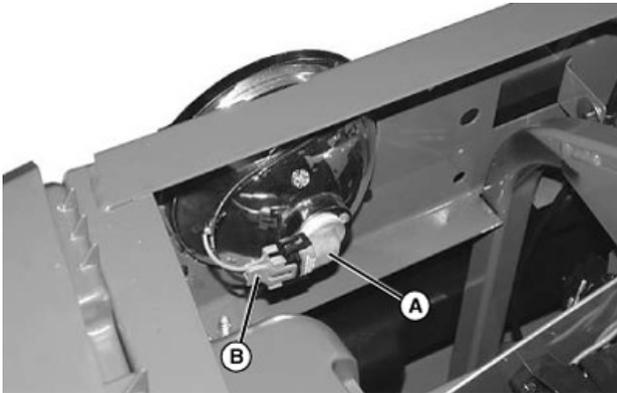
OUO1023.0000AB2-40-09APR20

ヘッドライトバルブの交換

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)
2. フードを取り外して、フロントフレームのヘッドライトハウジングの位置を確認します。

⚠ 注意： けがを防止してください。ハロゲンライトバルブには圧力のかかったガスが入っています。ガラスを傷つけたり落としたりすると、電球が粉々になることがあります。交換時は目の保護具を着用し、バルブを慎重に扱ってください。

重要： 損傷を防止してください。新しいバルブのガラス部分に素手で触れないでください。オイルや汚れに触れると、バルブの寿命が短くなります。バルブは、ベースで、または清潔な布や手袋で取り扱います。



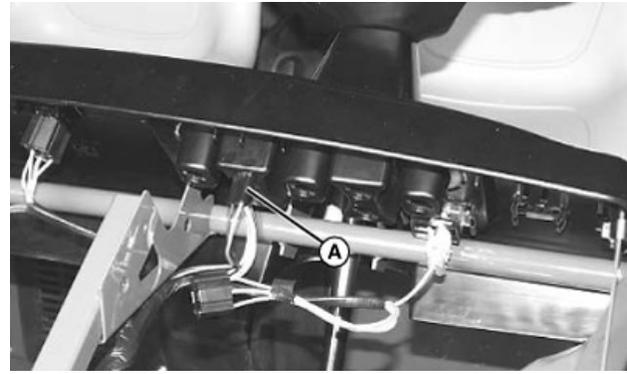
MXAL47733—UN—16APR13

3. 電球ソケット (A) を反時計回りに 1/8 回転させ、ハウジングからソケットを取り外します。
4. ソケットから配線コネクタ (B) の接続を外します。バルブ/ソケットアセンブリを廃棄します。
5. 配線コネクタを新しいバルブ/ソケットアセンブリに接続します。アセンブリをハウジングに取り付け、1/8 回転させて所定の位置にロックします。
6. ヘッドランプの機能をテストします。
7. フードを取り付けます。

OUO1023.0000AB3-40-09APR20

計器板のバルブの交換

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)
2. フードを取り外します。



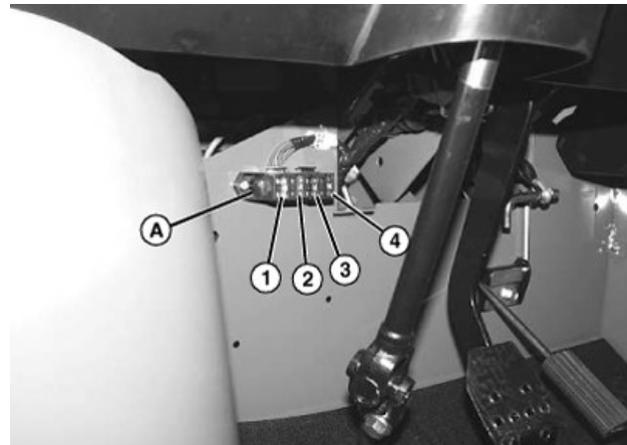
MXAL47734—UN—16APR13

3. 計器板の下に手を伸ばし、適切なバルブソケット (A) をプラスチックハウジングから取り外します。
 - バルブソケットを 1/8 回転させます。
 - ソケットを真っ直ぐ外側に引きます。
4. ソケットからバルブを取り外します。バルブを廃棄します。
5. 新品のバルブをソケットに取り付けます。
6. バルブソケットをプラスチックハウジングに整列させて挿入します。ソケットを 1/8 回転させて所定の位置にロックします。
7. フードを取り付けます。

OUO1023.0000AB4-40-19APR13

ヒューズの点検と交換

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)



MXAL47629—UN—16MAY13

2. ヒューズの識別：

位置	回路	ヒューズのサイズ
1	充電回路	20 A
2	フロントおよびリアアタッチメント回路	40 A
3	イグニッションスイッチ ON 回路	15 A

電気の整備

位置	回路	ヒューズのサイズ
4	付属品電源プラグ	10 A

- ヒューズブロック (A) (フットペダルリンケージの横) からヒューズを引き抜きます。
- ヒューズのフィラメントが切れていないか目視点検します。

重要： 損傷を防止してください。不適切な交換ヒューズを使用した場合、電気システムが損傷する可能性があります。不良ヒューズは同じ電流定格のヒューズと交換してください。

- 正しいアンペア定格の新しいヒューズをヒューズブロックの正しい位置に押し込みます。

OUO1023,0000AB5-40-09APR20

大容量オルタネータの推奨事項

注記： 大容量オルタネータキットの購入については、正規販売店にお問い合わせください。

お使いの車両の充電システムに高い負荷をかける付属品が装備されている場合、大容量オルタネータキットを使用して車両の充電システムを補完することができます。

OUO1023,0000AB6-40-19APR13

その他の整備

燃料と安定剤の正しい使用法

重要： 損傷を防止してください。古くなっていたり、汚れていたり、不適切な燃料を使用したりすると、エンジンおよび燃料システムを損傷するおそれがあります。古くなっていたり、汚れていたり、不適切な燃料に起因する修理は、保証の対象にはなりません。

オクタン価 87 以上の標準等級の無鉛燃料を使用します。最大 10% のエタノール、または最大 15% の MTBE 改質燃料が含まれる燃料混合物を使用できます。メタノールが含まれる燃料または添加剤は、エンジンを損傷させる可能性があるため使用しないでください。

約 30 日以内に使いきれぬ量で購入した新しい清浄な燃料を常に使用してください。燃料安定剤は燃料を購入するたびに燃料に必ず追加してください。燃料容器を満たす前に安定剤を追加し、十分に混入されるようにします。このような慣行により、エンジン性能の問題を防止し、燃料を空にすることなく 1 年中機械内に保管できるようにします。

結露を防止するため、燃料はプラスチックの容器に保存してください。燃料の汚染や蒸発を防ぐため、燃料の容器のキャップはきつく締めてください。燃料の貯蔵寿命を延ばすには、セルフシーリングガスカンを使用してください。

燃料は季節性能が最適になるように混合されています。始動しにくい、ペーパーロックなどのエンジン性能の問題を防止するため、季節にあった燃料を使用してください。温暖気候ではその季節中に購入した燃料を使用し、寒冷気候ではその季節中に購入した燃料を使用してください。

ある季節に限って使用されたり、季節中も使用頻度が低いエンジンを備えた機械の場合、燃料が機械内で劣化する可能性があります。劣化した燃料からはワニスが生じ、キャブレターやEFI部品が詰まってエンジン性能に影響を与える可能性があります。

燃料保管容器はしっかりカバーを掛け、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。適切に密閉されていなかったり、太陽光や熱にさらされたりした場合、燃料が分解して劣化する可能性があります。

さまざまな作動条件や環境条件により燃料タンク内に結露が起きる場合があります。時間が経過すると、機械の作動に影響することがあります。その日の作業を終了するときに燃料を給油してください。

OUO1023.0000AB7-40-09APR20

燃料タンクへの注入

⚠ 注意： けがを防止してください。燃料蒸気は爆発性および可燃性があります：

- 燃料タンクに充填する前にエンジンを OFF にしてください。

- 燃料を補給する前にエンジンが冷めるまで待ちます。
- 燃料を取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花から燃料を離してください。
- 屋外または十分に換気されたエリアで燃料タンクに充填してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 認定済みの清潔な非金属製容器を使用して、静電気を防止してください。

重要： 損傷を防止してください。燃料内のごみや水分はエンジンの損傷の原因になります。

- 燃料タンクの開口部の汚れやごみを除去してください。
- 清浄で新鮮な安定している燃料を使用してください。
- 燃料タンクでの水分凝縮を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクを充填してください。
- じょうごを使用する場合は、プラスチック製で、金網やフィルタがないことを確認してください。

寒冷気候での結露や凍結を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクを充填してください。

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照。）
2. エンジンを冷まします。
3. 燃料タンクキャップの周囲からごみを除去します。
4. 燃料タンクキャップをゆっくりと取り外して、タンクに溜まっている圧力を逃がします。
5. 燃料タンクにはフィルターネックの底部まで補充してください。入れすぎないでください。
6. 燃料タンクキャップを取り付けます。
 - ガスモデル：カチッと音がするまでキャップを回します。

OUO1023.0000AB8-40-09APR20

その他の整備

吊り上げマシン

⚠ 注意： けがを防止してください。不安定なリフト装置やサポートから機械が落下したり、滑り落ちたりするおそれがあります。

- 持ち上げる荷重に適した安全なリフト装置を使用してください。
- 機械をジャッキスタンドやその他の安定したサポートの上に降ろし、整備前にホイールをブロックしてください。

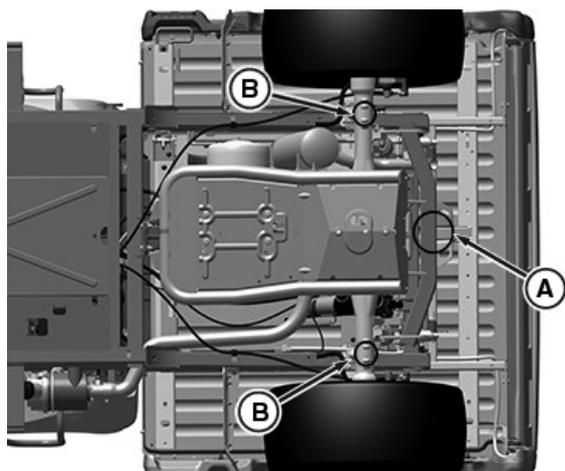
重要： 損傷を防止してください。滑りを防止するため、ボルトヘッドまたはエンボス加工された部分をジャッキカップの内側に必ず入れて下さい。

注記： 機械をリフトする前に、すべてのアタッチメントを取り外します。

後部を上げる

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照）。
2. 機械の後部のみを吊り上げる場合は、前輪は地面につけたままブロックで固定し、機械が動くのを防ぎます。

注記： 図に示す 3 つの点 (A) または点 (B) のいずれかを使用して、機械の後部を上げることができます。整備する前に、必ずジャッキの上昇点の近くでジャッキスタンドを使用して機械を支えてください。



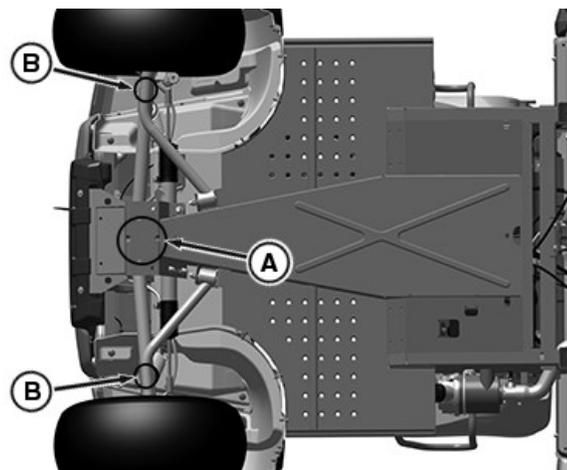
APY30340—UN—27MAR20

3. 機械のフレームポイント (A) の後部または位置 (B) を安全に持ち上げます。
4. 機械の後部全体を上げる場合は、ジャッキスタンドまたは他の安定したサポートを 2 つのフレーム位置 (B) の下に配置します。
5. 機械を下げるために、機械の後部を上げて、ジャッキスタンドまたはサポートを取り外します。機械を降ろします。

前部を上げる

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照）。
2. 機械の前部のみを吊り上げる場合は、後輪は地面につけたままブロックで固定し、機械が動くのを防ぎます。

注記： 図に示す 3 つの点 (A) または点 (B) のいずれかを使用して、機械の前部を上げることができます。整備する前に、必ずジャッキの上昇点の近くでジャッキスタンドを使用して機械を支えてください。



APY30341—UN—27MAR20

3. 機械のフレームポイント (A) または位置 (B) で機械前部を安全に持ち上げます。
4. 機械の前部全体を上げる場合は、ジャッキスタンドまたは他の安定したサポートを 2 つの機械フレーム位置 (B) の下に配置します。
5. 機械を下げるために、機械の前部を上げて、ジャッキスタンドまたはサポートを取り外します。機械を降ろします。

MG39705.0000357-40-09APR20

ホイールの取り外しと取り付け

取り外し

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照）。

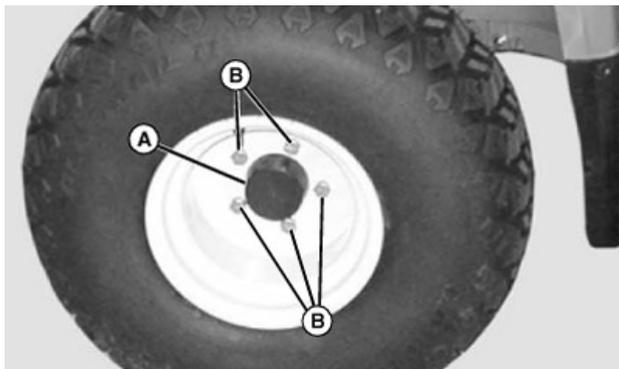
⚠ 注意： けがを防止してください。不安定なリフト装置やサポートから機械が落下したり、滑り落ちたりするおそれがあります。

- 持ち上げる荷重に適した安全なリフト装置を使用してください。
- 機械をジャッキスタンドやその他の安定したサポートの上に降ろし、整備前にホイールをブロックしてください。

その他の整備

重要： 損傷を防止してください。機械を上げたり、支えたりするときは、トランスミッションやエンジンの下ではなく、フレームの下にジャッキスタンドを配置してください。

2. 機械を安全リフト装置で上昇させ、ジャッキスタンドやその他の安定したサポートの上に降ろしてください。機械が動かないように、地面に接しているホイールをブロックします。



MXAL47742—UN—16APR13

ホイールを取り外すときに取り外す必要があるキャップ A) がホイールにある場合とない場合があります。

3. ホイールボルト (B) を取り外します。
4. ホイールアセンブリを取り外します。
5. ホイールリムの背面を柔らかい木づちで軽くたたいて、ホイールアセンブリを取り外します。

⚠ 注意： けがを防止してください。不適切な整備を行うと、タイヤとリム部品がバーストして分離する可能性があります。

- 適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。

6. ホイールアセンブリを正規整備販売店に修理に出します。

取り付け

1. ホイールアセンブリをバブルシステムで外側に取り付けます。
2. しっかりと固定されるまで、ホイールボルトを対角線状に均一に締め付けます。
3. 機械を地面まで完全に降ろします。
4. ホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ホイールボルト：トルク..... 88 N·m (65 lb-ft)

OUO1023,0000ABA-40-09APR20

フードの取り外しと取り付け

⚠ 注意： けがを防止してください。可動部品によるけがを防止してください。機械の調整や整備を行う前に、エンジンを停止してキーを抜いてください。

フードの取り外し

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)



MXAL47743—UN—16APR13

2. 車両の前に立って、矢印マーク (A) の近くのフードをつかみます。しっかりと引き出します。

重要： 損傷を防止してください。フード (B) を取り外す場合は、フードをフードの上側ではなく直立位置に設定します。

3. フード (B) を前方に引き、ダッシュパネル (C) の下からフードを取り外します。

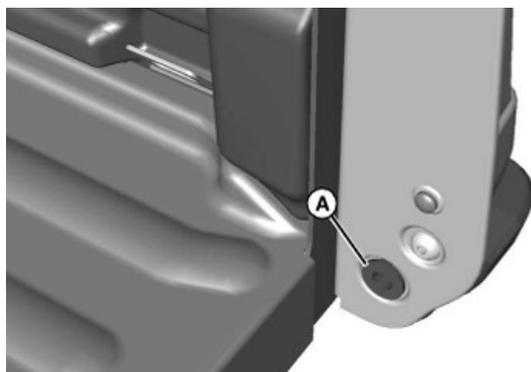
フードの取り付け

1. フード (B) をダッシュパネル (C) の下に取り付けます。
2. フードを下に旋回させ、矢印 (A) の近くを押して、フードタブのゴム製リテーナをフロントフェンダーの成形リテーナに固定します。

OUO1023,0000ABB-40-14APR20

その他の整備

荷台テールゲートブッシングの交換



MXAL47744—UN—16APR13

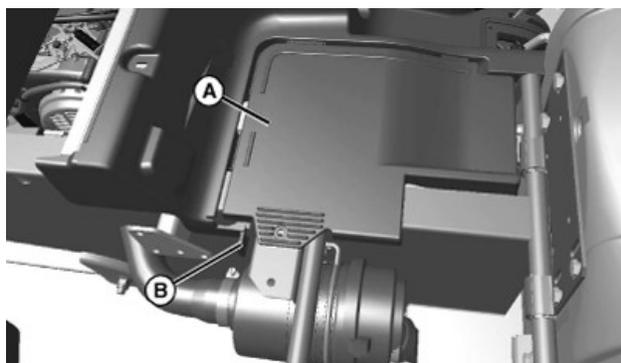
1. 荷台のテールゲートを取り外します (「操作」の「テールゲートの取り外し」参照)。
2. スナップフィットブッシング (A) を荷台の両側から取り外します。
3. ブッシングを交換し、テールゲートを再度取り付けます。

OUO1023.0000ABC-40-19APR13

サービスアクセスパネルの開閉

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)

重要： 損傷を防止してください。車両を適切に操作するには、必ずパネル (A) を取り付けて操作してください。



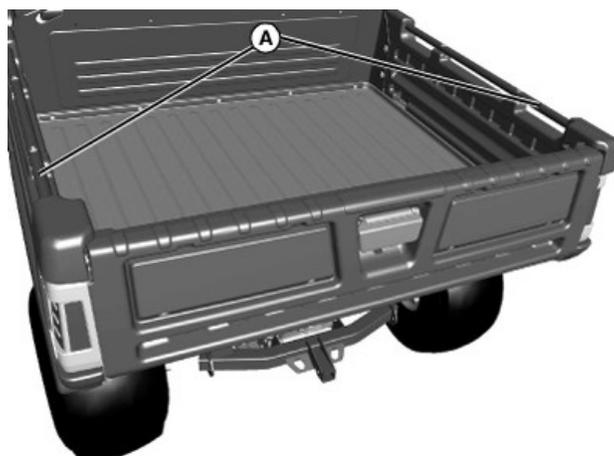
MXAL47635—UN—16MAY13

2. 助手席の下にあるサービスアクセスパネル (A) の位置を確認します。ラッチ (B) を引き戻してパネルを取り外します。

OUO1023.0000ABD-40-09APR20

荷台の清掃と修理

付属品チューブの修理



MXAL47748—UN—16APR13

3M® Scotch-Brite® を使用して、チューブ (A) のビニール面の切り傷や擦り傷などの傷を研磨して滑らかにします。

荷台フロア

オプションのスプレーインライナー付きの荷台には、回復効果のある製品を利用できます。John Deere 販売店にお問い合わせください。

OUO1023.0000ABE-40-19APR13

車両の表面の清掃

重要： 損傷を防止してください。機械の表面を不適切に手入れすると、その面が傷む可能性があります。

- プラスチック面が乾燥しているときはその面を拭かないでください。乾燥した面を拭くと、軽微な傷が発生します。
- 清潔で柔らかい布 (マイクロファイバータオル、自動車用ウォッシュミット) を使用してください。
- 研磨コンパウンドなどの研磨材をプラスチック面に使用しないでください。

1. 清潔な水でボンネットおよび機械全体を洗い、表面を傷つける可能性がある泥やほこりを除去します。
2. 表面を清潔な水と自動車用中性洗剤で洗浄します。
3. 清潔な柔らかい布で十分に乾かし、水の染みを防止します。
4. 液体ワックスで表面にワックスをかけます。「研磨剤を含まない」製品を使用してください。

重要： 損傷を防止してください。ワックスを除去するために電動パフを使用しないでください。

3M は 3M Co. の商標です
Scotch-Brite は 3M Co. の商標です。

その他の整備

5. バフで塗布したワックスは、清潔で軟らかい布を使用して手で拭き取ります。

MG39705,000036D-40-09APR20

3. 自動車用つや出しコンパウンドを使用して表面を滑らかにします。電動バフは使用しないでください。

4. 表面にワックスをかけます。

MG39705,000036F-40-09APR20

プラスチックフードと本体パネルの表面の清掃

重要： 損傷を防止してください。機械のプラスチック面を不適切に手入れすると、その面が傷む可能性があります。

- プラスチック面が乾燥しているときはその面を拭かないでください。乾燥した面を拭くと、軽微な傷が発生します。
- 清潔で柔らかい布 (マイクロファイバータオル、自動車用ウォッシュミット) を使用してください。
- 研磨コンパウンドなどの研磨材をプラスチック面に使用しないでください。

1. 清潔な水で洗い流して、汚れや埃を取り除きます。
2. 水痕が残らないように十分乾かします。
3. PLEDGE® をフードと表面に噴霧し、30～60 秒間放置します。
4. 光沢を出すために、清潔なマイクロファイバーの布で拭き取ります。

MG39705,000036E-40-09APR20

金属面の清掃と補修

清掃：

車両の塗装された金属面の手入れについては、自動車の慣行に従ってください。高品質の自動車用ワックスを定期的を使用して、車両の塗装面を工場出荷時と同じ外観に維持してください。

軽微な傷 (表面の傷) の修理：

1. 修理する面を十分清掃します。

重要： 損傷を防止してください。塗装面に研磨コンパウンドを使用しないでください。

2. 自動車用のつや出しコンパウンドを使用して表面の傷を除去します。
3. 表面全体にワックスをかけます。

深い傷 (索地やプライマーが見える傷) の修理：

1. 消毒用アルコールまたはミネラルスピリットを使用して修理する部分を清掃します。
2. 認定取扱店から入手できる工場出荷時の色と同じ色のタッチアップペイントを使用して傷に塗ります。タッチアップペイントに掲載されている指示に従って使用し、乾燥させます。

トラブルシューティング

トラブルシューティング表の使用

この表に掲載されていない問題が発生している場合は、整備について認定取扱店にお問い合わせください。

掲載されているすべての原因を確認し、引き続き問題

が発生している場合は、認定販売店にお問い合わせください。

OUO1023.0000AC1-40-19APR13

エンジン

症状	点検
エンジンが始動しない	バッテリー電圧の低下。 バッテリー接続の緩みまたは腐食。 ヒューズ切れ。 スパークプラグワイヤが緩んでいるか、外れている。 スパークプラグまたはコイルの故障。 燃料がないまたは不適切。 燃料フィルタの目詰まり。 スターターソレノイドの故障。 配線の開回路。 駐車ブレーキがロックされていない(エンジンをニュートラルで運転しようとした際)。
エンジンが始動しにくい。	エンジンが冷えている。 燃料フィルタの目詰まり。 エンジンオイル粘度が高すぎる。 スパークプラグの汚れ。 スパークプラグまたはワイヤの故障。 電気接続の緩みや腐食。 燃料が古いか、不適切。 チョークを使用していない、または調整が正しくない。
負荷がかかるとエンジンが失火する。	燃料が古いか、汚れている。 燃料フィルタの目詰まり。 コイルまたは配線の故障。 スパークプラグの故障。
エンジンのペーパーロック。	燃料またはメタノールの品質が低い。 非常に暑い気象条件と非常に高い負荷条件。 燃料タンクの通気口が詰まっている。 燃料フィルタの汚れ。
エンジンの運転が不均一。	電気接続の緩み。 チョークやスロットルケーブルの固着。 燃料ラインまたは燃料フィルタの詰まり。 燃料が古いか、汚れている。 燃料が不適切。 エアクリーナエレメントの詰まり。 スパークプラグの汚れ。
エンジンがオーバーヒートする	エアクリーナエレメントがないか、詰まっている。 キャブレター吸気管が詰まっている。 エンジンオイルレベルが低い。 低回転数でのエンジン運転が長すぎる。
エンジンの出力低下。	エンジンのオーバーヒート。 エンジンオイルが多すぎる。 スパークプラグの故障。 燃料供給が制限されている。 燃料フィルタの詰まり。 燃料ラインの挟み込みやねじれ。 燃料が不適切。 エアクリーナエレメントの詰まり。
エンジンのノッキング	エンジン回転数が低い。 燃料が古いか、オクタン価が低い。 エンジンに過負荷がかかっている。

OUO1023.0000AC2-40-19APR13

トラブルシューティング

電気

症状	点検
スタータが作動しない	車両がニュートラル位置にあるか、ニュートラルスイッチの機能を確認してください。 接続の緩みまたは腐食。 ヒューズ切れ。 バッテリー出力が低い。 バッテリーの硫酸化または消耗。 スタータの故障。
スタータのクランキングが遅い	バッテリー出力が低い。 バッテリーの硫酸化または消耗。 エンジンオイルの粘度が高すぎる。 接続の緩みまたは腐食。
電気システム全体が作動しない。	ヒューズ切れ。 ヒューズブルリンク切れ。 接続の緩みまたは腐食。 バッテリーの硫酸化または消耗。
バッテリー上がり	スタータソレノイドの短絡 キースイッチが「OFF」に回っていない。 付属品コンセントに接続されている部品は、エンジンを停止した状態でオンのままになります。 エンジンを停止した状態で、方向指示灯やハザードライトをオンのままにしてください。 バッテリーの硫酸化または消耗。 エンジン回転数が低いか、アイドリング過剰。 バッテリーのケーブルと端子が汚れている。 バッテリーのセルが放電している。 ヒューズ切れ。 充電システムの故障。 充電システム出力よりも電流の消費が高い。(標準の充電システムに複数のアタッチメントを追加し、同時に頻繁に使用する場合。特にエンジン回転数が低い場合)
計器板を点検するときに正しい表示灯が点灯しない。	ライトバルブが切れている。 配線の故障。 スイッチまたはセンサーの故障。
バッテリーに充電できない	バッテリーのセルの故障。 接続の緩みまたは腐食。 バッテリーの硫酸化または消耗。 エンジン回転数が低いか、アイドリング過剰。 充電システムの故障。

OUO1023,0000AC3-40-19APR13

ブレーキ

症状	点検
ブレーキが正しく作動しない	ブレーキ液のレベルが低い：液レベルを点検します。 ブレーキシステムのエア抜き：システムのエア抜きが適切に行われていない。(John Deere 販売店にお問い合わせください。) 摩耗したブレーキパッドを交換します。(John Deere 販売店にお問い合わせください。)
駐車ブレーキが正しく作動していない	駐車ブレーキが正しく調整されていない (John Deere 販売店にお問い合わせください。)

OUO1023,0000AC4-40-19APR13

トラブルシューティング

カーゴボックス

症状	点検
テールゲートに正しくラッチがかからない	ブッシングの摩耗/損傷 - ブッシングを点検します。 ストライカーが接続していない - ストライカーを点検して潤滑します。
パワーリフトが作動しない	電源が入らない - すべての電源接続を点検します。 アクチュエータモーターがオーバーヒートしている - アクチュエータを冷ましてください。
操作時のパワーリフトアクチュエータのラチェット音/カチッという音/ギーギーという音	荷台内の重量が多すぎる - 重量を取り除くか荷台の後方に移動させます。

OUO1023.0000AC5-40-19APR13

保管

安全な保管

⚠ 注意：けがを防止してください。燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- 保管場所までまたは保管場所からの機械の移動に必要な時間のみエンジンを運転してください。
- タンクに燃料が残っている車両を、燃料蒸発ガスが直火や火花に達する可能性がある建物内に保管しないでください。
- 密閉された場所に機械を保管する前にエンジンを冷ましてください。

OUO1023,0000AC6-40-08APR20

保管のための機械の準備

1. 摩耗または損傷している部品を修理します。必要に応じて、部品を交換します。緩んでいる金具を締め付けます。
2. 錆防止のため傷や欠けのある金属面を修理します。
3. 機械から草やごみを取り除きます。
4. 機械を低圧水で洗浄し、金属面とプラスチック面にワックスをかけます。
5. 機械を 5 分間運転し、ベルトやプーリーを乾燥させます。
6. 回転ポイントや摩耗ポイントにエンジンオイルを軽く塗布して錆を防止します。
7. グリースポイントを潤滑します。
8. タイヤ圧を点検します。

OUO1023,0000AC7-40-19APR13

保管のための燃料とエンジンの準備

燃料：

「安定化燃料」を使用していた場合は、安定化燃料をタンクにいっぱいまで注入します。

注記：燃料タンクを満タンにすることにより、燃料タンク内の空気の量が減り、燃料の劣化が少なくなります。

安定化燃料を使用していない場合：

1. 十分に換気された区域に機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照。）

注記：シーズン中は機械を最後に使用する時期を予測して、燃料タンクに燃料がほとんど残らないようにしてください。

2. エンジンをかけて、燃料がなくなるまで運転します。
3. キースイッチ付きの機械の場合は、キーを OFF 位置にします。

重要：損傷を防止してください。劣化した燃料からはワニス生成され、キャブレターやインジェクターの部品が詰まってエンジン性能に影響を与える可能性があります。

- 新しい燃料をタンクに充填する前に、燃料コンディショナーまたは安定剤を追加してください。

4. 燃料と燃料安定化剤を別の容器に混ぜます。混合の手順については、安定剤の手順に従ってください。
5. 安定化燃料を燃料タンクに充填します。
6. エンジンを数分間運転し、ガソリンエンジンのキャブレターまたはディーゼルエンジンのフューエルインジェクター全体に混合燃料を循環させます。

エンジン：

車両を 60 日間以上使用しない場合は、エンジン保管手順に従ってください。

1. エンジンが暖かいときにエンジンオイルとフィルタを交換します。
2. 必要に応じて、エアフィルタを交換します。
3. エンジン吸気スクリーンからごみを除去します。
4. ガソリンエンジンの場合：
 - スパークプラグを取り外します。シリンダに 30 mL (1 oz) の新品のエンジンオイルを入れます。
 - スパークプラグを取り付けます。ただし、スパークプラグワイヤを接続しないでください。
 - エンジン 5~6 回クランキングしてオイルを行き渡らせます。

5. エンジンとエンジンルームを清掃します。
6. バッテリーを取り外します。
7. バッテリーとバッテリー端子を清掃します。電解液レベルを点検します（バッテリーがメンテナンスフリータイプではない場合）。
8. 燃料遮断弁を閉じます（機械に装備されている場合）。
9. 涼しく、乾燥した、バッテリーの凍結しない場所にバッテリーを保管します。

注記：保管しているバッテリーは、90 日ごとに再充電してください。

10. バッテリーを充電します。

重要：損傷を防止してください。長期にわたって日光にさらされると、ボンネット面が損傷します。機械は屋内に保管してください。屋外に保管する場合は、カバーを使用してください。

保管

11. 乾燥した、保護された場所に車両を保管します。
車両を屋外に保管する場合は、車両に防水カバーをかけます。

OUO1023,0000AC8-40-09APR20

保管からの機械の復帰

1. タイヤ圧を点検します。
2. エンジンオイルレベルの点検。
3. バッテリー電解液レベルを点検します (バッテリーがメンテナンスフリータイプではない場合)。必要に応じて、バッテリーを充電します。
4. バッテリーを取り付けます。
5. ガソリンエンジンの場合：スパークの隙間を点検します。プラグを取り付け、規定のトルクで締め付けます。
6. すべてのグリースポイントを潤滑します。
7. 燃料シャットオフバルブを開きます (機械に装備されている場合)。
8. すべてのシールド、ガード、またはデフレクタが所定の位置に取り付けられていることを確認します。

OUO1023,0000AC9-40-19APR13

仕様

エンジン

2 気筒エンジンモデル

メーカー	Kawasaki
モデル	FH601
定格出力に関する情報	http://www.kawasaki-criticalpower.com
種類	ガソリン
シリンダ	2
ストローク/サイクル	4
ボア	75 mm (2.953 in)
ストローク	76 mm (2.992 in)
排気量	675 cm ³ (41.2 in ³)
電機子のすきま	0.2~0.4 mm (0.008~0.016 in)
インテーク / エグゾーストバルブクリアランス (冷)	0.075~0.125 mm (0.003~0.005 in)
オイルフィルタ	使い捨てフィルタ
エアクリーナ	交換可能、ペーパーエレメント
冷却	空気

単気筒エンジンモデル

メーカー	Kawasaki
モデル	FJ400
定格出力に関する情報	http://www.kawasaki-criticalpower.com
種類	ガソリン
シリンダ	1
ストローク/サイクル	4
ボア	82 mm (3.228 in)
ストローク	76 mm (2.992 in)
排気量	400 cm ³ (24.4 in ³)
電機子のすきま	0.3 mm (0.012 in)
インテーク / エグゾーストバルブクリアランス (冷)	0.127 ± 0.025 mm (0.005 ± 0.001 in)
オイルフィルタ	使い捨てフィルタ
エアクリーナ	交換可能、ペーパーエレメント
冷却	空気

MG39705.0000349-40-10APR20

ドライブトレインと走行速度

種類	ギヤ駆動トランスアクスル付き無段変速機 (CVT)
ギヤレンジ	前進、ニュートラル、後退
トラクションアシスト	機械作動式デフロック
走行速度 (前進)	0~32 km/h (0~20 mph)
走行速度 (後進)	0~31.2 km/h (0~19.4 mph)

OUMX068.0000BDF-40-28MAY15

電気システム

種類	12 V
バッテリーサイズ	-18°C (0°F) での冷間クランキングアンペア数 340 A
オルタネータ	16.6 A、3700 rpm (調整済み)
ヘッドライト	(2 個) 37.5 W ハロゲン
スパークプラグギャップ	0.80 mm (0.031 in)

仕様

スパークプラグのトルク..... 25 N•m (18 lb.-ft)

OUO1023,0000ACC-40-19APR13

燃料システム

燃料フィルタ..... 交換エレメント
燃料..... ガソリン

OUO1023,0000ACD-40-19APR13

ステアリングとブレーキ

ステアリング..... ラックアンドピニオン
ブレーキ..... 油圧ディスク

OUMX068,0000A16-40-27SEP14

仕様

タイヤ

すべてのタイヤは許容荷重を運ぶことができます。

注記：すべてのタイヤの荷重条件は、総重量定格 (GVWR) を超えないようにしてください。

ターフ	
フロント	22x9.5-10
リア	24x12-10
すべての地形	
フロント	22x9.5-10
リア	24x10.50-10
極端な地形	
フロント	22x9.5-10
リア	24x12-10
空気圧	
フロント	55 kPa (8 psi)
リア	69 kPa (10 psi)
フロントおよびリア (ランフラット)	28 ~ 34 kPa (4 ~ 5 psi)

OUO1023.0000AD0-40-17JUL19

容量

燃料タンク	18.9 L (5 gal)
クランクケース (フィルタ付き) (2 気筒エンジンモデル用)	1.7 L (1.8 qt)
クランクケース (フィルタ付き) (単気筒エンジンモデル用)	1.3 L (1.37 qt)
トランスアクスル (概略。「トランスアクスルオイルの交換」参照)	6.5 L (6.9 qt)
荷台の容積容量	0.46 立法メートル (16.4 立方フィート)

MG39705.000034B-40-08APR20

寸法

幅 (全体)	1.52 m (60.0 in)
長さ (バンパー付き)	2.75 m (108.1 in)
高さ (全体)	1.11 m (43.6 in)
地上高 (トランスアクスルの下)	14.5 cm (5.7 in)
地上高 (フットプラットフォームの下)	27 cm (10.6 in)

OUMX068.00005DD-40-06JUL13

重量

重量 (燃料/液体を含む) (単気筒エンジンモデル)	498 kg (1098 lb)
重量 (燃料/液体を含む) (2 気筒エンジンモデル)	507 kg (1117 lb)
定格車両総重量 (GVWR)	987 kg (2176 lb)
荷台の容量	272 kg (600 lb)
荷台の容積容量	0.46 立法メートル (16.4 立方フィート)
牽引能力	454 kg (1000 lb)
最大フロントアクスル荷重	325 kg (716 lb)
最大リアアクスル荷重	662 kg (1460 lb)

仕様

MG39705,000034A-40-08APR20

推奨のフルードおよび潤滑剤

エンジンオイル Turf-Gard™ または Plus-4™
グリース John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease
..... Grease-Gard™ Premium Plus
トランスミッションオイル John Deere HY-GARD™ (JDM J20 C)
ブレーキフルード Super-Duty DOT4
(仕様および設計は予告なしに変更される場合があります。)

OUMX068,0000A18-40-27SEP14

騒音測定値

オーストラリア規格 AS 2012.2-1990 に準拠してテスト済み
オペレータ位置での測定されたノイズレベル ≤ 88.7 dB(A)

SB31882,0000077-40-11JUN19

保証

製品保証

John Deere は新品の John Deere 製品について標準的な保証を提供しています。製品保証規約の写し、または米国およびカナダで購入された製品の保証条件の詳細については、最寄りの John Deere 取扱店に問い合わせるか、以下に示すリソースをご利用ください。

米国

Web サイト :

http://www.deere.com/en_US/services_and_support/warranty/warranty.page

フリーダイヤル : 1-800-537-8233

取扱店検索 :

<http://dealerlocator.deere.com/servlet/country=US>

カナダ

Web サイト (英語) :

http://www.deere.ca/en_CA/services_and_support/service_plans_warranties/service_plans_warranties.page

Web サイト (フランス語) :

http://fr.deere.ca/en_CA/services_and_support/service_plans_warranties/service_plans_warranties.page

フリーダイヤル : 1-800-537-8233

取扱店検索 :

<http://dealerlocator.deere.com/servlet/country=CA>

排出ガス関連の保証はこの取扱説明書に掲載されており、法または規則により要求される場合に適用可能です。

米国またはカナダ以外で購入された製品については、最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

MP47322.00F4690-40-01JUN22

カリフォルニア州および米国 EPA 排出ガス制御システム保証ステートメント (オフロードガソリンエンジン)

保証の下での権利と義務

カリフォルニア大気資源委員会、John Deere、および合衆国環境保護庁では、お使いの 2023 年または 2024 年製モデルのスパーク点火式オフロードエンジン装置の排出ガス制御システムに対する保証について情報を提供しています。カリフォルニア州では、小型または大型 (1 リッター未満) のスパーク点火式オフロードエンジンを使用する新しい装置については、州の厳しいスモッグ防止基準に適合して設計、製造および装備する必要があります。John Deere は、お使いのスパーク点火式オフロードエンジン装置の排出ガス制御システムが以下に記載する期間、燃料蒸発ガスシステムに故

障をきたす装置の誤用、怠慢、不適切なメンテナンスがないことを保証しなければなりません。

排気ガス制御システムには、キャブレターまたは燃料噴射システム、イグニッションシステム、触媒コンバーター、燃料タンク、バルブ、フィルタ、クランプ、コネクタ、燃料ライン (液体燃料と燃料蒸気) および他の関連部品が含まれます。また、ホース、ベルト、センサ、その他の排気ガス関連アセンブリが含まれることもあります。

保証条件が存在する場合、John Deere は診断、部品、工数を含め、お使いのスパーク点火式オフロードエンジン装置を無償で修理します。

メーカーによる保証範囲

この排出ガス制御システムは、モデル S100、S110、S120、S130、S140、S150、S160、S170、S180、S220、X330、Z315E、Z325E、Z515E、Z545R、Z735E、Z735M、1220 について 2 年間保証され、この取扱説明書で参照される他のすべてのモデルについては、3 年間保証されています。お客様の装置の排気ガス関連部品のいずれかに欠陥がある場合、当該部品は John Deere で修理または交換されます。

所有者の保証に関する責任

- スパーク点火式オフロードエンジン装置の所有者であるお客様は、取扱説明書に記載されている必要なメンテナンスを行う責任があります。John Deere は、お使いのスパーク点火式オフロードエンジン装置のメンテナンスに関するすべてのレシートを保管しておくことをお勧めしますが、レシートがないこと、またはすべての予定メンテナンスを実施しなかったことだけを理由に保証の適用を拒否することはありません。
- ただし、お客様のスパーク点火式オフロードエンジン装置または部品が誤用、怠慢、不適切なメンテナンス、許可されていない改造のために故障した場合、John Deere が保証の適用を拒否する場合があります。スパーク点火式オフロードエンジン装置の所有者であるお客様は承知しておく必要があります。
- 所有者は、お使いのスパーク点火式オフロードエンジン装置に問題が発生した後、ただちに John Deere Turf and Utility 配送センターまたはサービスセンターにそのエンジン装置を提示する責任があります。保証修理は、30 日を超えない妥当な期間内に完了するものとします。排出ガス保証範囲、排出ガス保証クレームの申請方法、排出ガス関連の承認された修理の予定を立てる方法についての質問は、John Deere Turf and Utility 販売店に連絡、John Deere Customer Contact Center (1-800-537-8233) に電話、または <https://www.deere.com/en/our-company/contact-us/> からメールでお問い合わせください。

一般的な排出ガス関連の保証範囲

保証期間は、装置が最終購入者のもとに納入された日から開始されます。John Deere は最終購入者およびそ

保証

の後の各購入者に対し、スパーク点火式オフロードエンジン装置について以下を保証します：

- カリフォルニア州大気資源局が採用するすべての規制に適合するよう設計、製造、および搭載されたもの。
- 最終購入者への販売時点で 40 CFR パート 1054 および 1060 の該当する米国環境庁規則に適合するように設計、製造、および搭載されたもの。および
- ここで規定している排出ガス制御システム保証期間中にエンジンが該当する規則に適合できなくなる材料および製造上の欠陥がないこと。
- 所有者が John Deere 認定サービスセンターから 100 mile 以上離れている場合、John Deere は認定サービスセンターまでおよび認定サービスセンターからの輸送費用を支払うか、整備技術者を所有者に出向かせて保証修理を行うか、地域の非認定サービスセンターで行われた修理の費用を支払います。これらの規定は、アラスカ、ハワイ、アリゾナ、コロラド、アイダホ、モンタナ、ネブラスカ、ネバダ、ニューメキシコ、オレゴン、テキサス、ユタ、およびワイオミングの各州には適用されません。

排気ガス保証の解釈

- 保証対象部品のうち、取扱説明書のメンテナンス手順に従って交換が予定されていないものについては、本規定で保証されます。当該部品が保証対象期間中に故障した場合は、John Deere が修理または交換します。本保証に基づいて修理または交換された部品は、保証の残余期間にわたって保証されます。
- 取扱説明書のメンテナンス手順で定期的な点検のみ予定されている保証対象部品はここで規定するとおりに保証されます。取扱説明書に「必要に応じて修理または交換」という意味の文章が掲載されている場合でも、保証対象期間は短縮されません。本保証に基づいて修理または交換された部品は、保証の残余期間にわたって保証されます。
- 取扱説明書に記載されている必要なメンテナンスとして交換計画が明記されている保証対象の部品については、その部品の最初の交換予定時点まで保証します。初回交換予定日より前に当該部品が故障した場合は、John Deere が修理または交換を行います。本保証に基づいて修理または交換された部品は、当該部品の初回交換予定日までの残余期間にわたって保証されます。
- 保証対象部品の修理または交換は、所有者による費用負担なしにすべての正規 John Deere Turf and Utility 販売店で無償で実施されます。
- 保証対象部品の欠陥を判定する診断作業を John Deere または正規 John Deere 修理業者が実施した場合、その工賃は所有者に請求されません。
- John Deere は、排出ガス関連の保証対象部品の故障により直接生じたその他のエンジン関連部品の損傷の修理も行います。
- カリフォルニア大気資源委員会により免除されていない追加部品または改造部品を使用することはできません。免除対象ではない追加部品または改造部品

を使用すると、保証が拒否される原因となります。John Deere は、免除対象ではない追加部品または改造部品の使用を原因とする保証対象部品の故障については保証する責任を負いません。

排気ガス保証部品一覧

この保証の対象には、以下に示す部品 (排出ガス制御システム部品) から購入したエンジンや装置に搭載されていた部品までを含みますが、これらに限定されません。

燃料計量システム：

- キャブレターおよび内部部品 (または燃料噴射装置)
- 空燃比フィードバックおよび制御システム
- 冷間始動強化システム

エバポレータシステム：

- 燃料タンク、燃料キャップおよびテザー
- 燃料ホース、ライン、継手、クランプ
- 燃料ポンプ、燃料シャットオフバルブ
- 燃料蒸気ホース、継手
- カーボンキャニスター
- 燃料蒸発コントロールのロールオーバー / 傾斜バルブ
- パージおよびベントライン

空気導入システム：

- エアクリーナ
- 吸気マニホールド

イグニッションシステム：

- スパークプラグ
- 磁気式または電子式イグニッションシステム
- スパーク加速 / 遅延システム
- ガスケット

排気システム：

- 排気マニホールド
- 触媒マフラー

上記のシステムに使用されるその他の品目

- バルブとスイッチ：バキューム、温度、位置、チェック、時間応答
- 電子制御
- ホース、ベルト、コネクタおよびアセンブリ

有限責任

a) この排出ガス制御システム保証下で John Deere が負う責任は、材料または製造工程における欠陥の修理に限定されます。特に明記していない限り、本保証はノンロード装置またはエンジンの使用不能による不便または損失、John Deere Turf and Utility 取扱店まで

保証

たは取扱店からの装置またはエンジンの輸送を対象としていません。John Deere は、他の目的のためのノンロード装置またはエンジンの販売または使用、または使用不能に関連して発生するその他の費用、損失、損傷、または懲罰について、直接的、間接的、付随的に関係なく責任を負いません(上記の「範囲」に記載されている場合を除く)。

b) John Deere は、この文書に特に規定されている場合を除き、装置またはエンジンに関して明示的な排出ガス制御システム保証を行いません。法律による排気ガス規制システムの黙示的な保証は、商品性または特定の目的への適合性の保証を含め、本書に明記されている排気ガス規制システム保証条件に明確に限定されません。

c) 取扱店は、この連邦、カリフォルニア州、および John Deere 排出ガス制御システム保証を変更することはできません。

MK71445.0000416-40-17MAY22

タイヤ保証

John Deere の保証は、John Deere パーツシステムを通じて入手可能なタイヤに適用されます。John Deere 部品システムから入手できないタイヤの場合、米国外ではメーカーの保証が機械に適用されない場合があります(詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

MX00654.0000314-40-21AUG14

工場取り付けバッテリーのバッテリー限定保証

注記：北米のみに適用。機械全体の保証については、John Deere 保証書の写しを参照してください。写しについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

保証整備を受けるには

購入者は、John Deere バッテリーの販売を許可されている John Deere 販売店に保証サービスを要求し、販売店に上部のカバープレートコードを提示する必要があります。

無料交換期間

材料または製造工程の欠陥により、無料交換期間内に整備不能(たんなる放電ではなく)となった新品のバッテリーは無料で交換します。サービス不能となったバッテリーが John Deere の工場または取扱店により取り付けられた場合、交換バッテリーを John Deere 取扱店が取り付け付けた場合は、取り付け費用も保証の対象となります。

比例調整(文字コード識別付きバッテリーのみ)

材料または製造工程の欠陥により、比例保証期間内に整備不能(たんなる放電ではなく)となった新品のバッテリーは、整備の未使用月に対する比例クレジット未満

の、バッテリーの現行表示価格を支払うことにより交換します。適用可能な調整期間は、バッテリーの上部に表示されている保証コードおよび下の表により決定されます。バッテリー保証期間終了後は、取り付け費用は保証の対象とはなりません。

この保証は、下記の条件には適用されません。

- A. 容器、カバー、または端子の破損
- B. 合理的で必要なメンテナンスの欠如または不適切なメンテナンスにより発生した価値の低下または損傷
- C. 保証整備に関連する輸送、郵送、または整備の電話の料金
- D. たんなる放電のバッテリー。

黙示保証の制限と購入者の救済

法により許される範囲において、John Deere とその関連会社は、この保証の対象に含まれる製品の品質、性能、または欠陥がないことについて一切保証、提示、または約束を行いません。商品性の暗黙保証および特定の目的への適合性は、適用される範囲で、ここに規定する適用可能な調整期間に制限されるものとします。John Deere バッテリーの保証の不履行または遂行に関連する、購入者の唯一の救済策はここに記載されておりです。いかなる場合でも、取扱店、John Deere、または John Deere 関連会社は偶発的または間接的損害に責任を負いません。(注記：一部の州では、黙示保証の持続期間の制限、または偶発的または間接的損害の保証の除外または制限が許可されていません。このような場合、制限や除外はお客様に適用されない場合があります)。この保証は固有の法的権利を与えるものであり、お客様は州によって異なる複数の権利を有する場合があります。

取扱店の保証なし

販売している取扱店は独自の保証を行いません。また、John Deere に代わって提示または約束を行ったり、方法はどうかあれこの保証の条件または制限を変更したりする権限を有しません。

保証期間表

注記：バッテリーに保証コードのラベルがない場合、保証コード「6」に該当します。

保証コード	無料交換期間	比例保証期間
A	90 日	40 か月
B	90 日	36 か月
C	90 日	24 か月
D	12 か月	48 か月
E	90 日	12 か月
F	90 日	60 か月
G	12 か月	60 か月
H	12 か月	60 か月
6	6 か月	0 か月
12	12 か月	0 か月

保証

保証コード	無料交換期間	比例保証期間
18	18 か月	0 か月

OUMX068.0000504-40-10MAY17

John Deere 品質に関する声明

John Deere 品質

John Deere の装置は単に購入するものではなく、品質への投資対象です。この品質は装置を越えて John Deere 取扱店の部品や整備サポートに及びます。このサポートはお客様の満足を維持するうえで必須です。

そのため John Deere は、お客様の質問や問題が発生した場合に対応するプロセスを開始しました。プロセスを進めるうえで以下の 3 つの手順がお客様の役に立ちます。

手順 1

取扱説明書の参照

- A. 取扱説明書には、お客様の装置の安全で正しい操作に関する多数のイラストおよび詳細情報が記載されています。
- B. トラブルシューティング手順や仕様情報が記載されています。
- C. 部品カタログ、整備、技術マニュアルの注文情報が記載されています。
- D. 取扱説明書で質問の回答が見つからない場合は、手順 2 に進んでください。

手順 2

取扱店への問い合わせ

- A. John Deere 取扱店は、質問に答え、問題を解決し、お客様の部品や整備のニーズを満たす責任、権限、能力があります。
- B. まず、取扱店の熟練した部品や整備の担当者と質問や問題を話し合ってください。
- C. 部品や整備の担当者がお客様の問題を解決できない場合は、販売店の管理者またはオーナーにお問い合わせください。
- D. 取扱店で質問や問題が解決しない場合は、手順 3 に進んでください。

手順 3

John Deere への問い合わせ

- A. 最寄りの John Deere 取扱店は懸案事項に対応する最も効率的なソースですが、取扱説明書を参照し、取扱店に問い合わせても問題を解決できない場合に、John Deere にお問い合わせください。
- B. 適切で効果的な整備を実施するため、電話をかける前に次の情報を用意してください。
 - 応対した取扱店の名前。
 - お使いの装置のモデル番号。
 - 機械の運転時間 (該当する場合)。
 - このマニュアルの表紙の内側に記録したシリアル番号。
 - アタッチメントの問題の場合は、アタッチメントの識別番号。
- C. 次に、1-800-537-8233 (米国およびカナダ) までお電

話ください。当社のアドバイザーが取扱店と共同で懸案事項を調査します。米国およびカナダ以外の国にお住まいの場合は、以下の Web サイトにアクセスしてご連絡ください：

<https://www.deere.com/en/global-country-selector/>

お住まいの国を選択し、ページの下部にある [Contact Us] のリンクをクリックしてください。

SP66632.00043A7-40-17MAY22

索引

あ		トラブルシューティング表.....61
アクセスパネル、開閉.....59		トランスアクスル、点検、オイル.....46
		トランスアクスルオイル.....46
え		は
エレメント、エアクリーナの整備.....42		ハザードライト、使用.....27
エンジン		バッテリー、ブースターの使用.....53
オイル.....39		バッテリー、安全な整備.....52
エンジン、トラブルシューティング.....61		バッテリー、取り外しと取り付け.....52
エンジン、始動.....27		バッテリー、点検.....52
エンジン、停止.....27		バッテリーと端子、清掃.....53
エンジンルーム、清掃.....45		バルブ、ヘッドライトの交換.....54
		バルブ、計器板、交換.....54
お		ひ
オイル		ヒューズ、交換.....54
エンジン		
ガソリン.....39		ふ
オイル、エンジンの点検.....40		フィルタ、エンジンの交換.....41
オイル、トランスアクスル、交換.....46		フード、取り外しと取り付け.....58
オルタネータ、大容量、推奨事項.....55		ブッシング、テールゲート、交換.....59
		プラスチック面や塗装面、損傷防止.....24
き		ブレーキ
キースイッチ、使用.....26		ブレーキライン、点検.....50
キャブの分類.....36		ブレーキ、トラブルシューティング.....62
		ブレーキパッド、点検.....49
く		ブレーキフルード、点検.....49
クラッチボタン、点検、二次駆動.....47		フレームスクリーンと吸気ルーバー、清掃.....45
グリース.....38		
		へ
こ		ヘッドライト、使用.....26
コントロール、オペレータ.....23		ベルト、交換、駆動.....47
		ほ
し		ホイールアセンブリ、取り外しと取り付け.....57
シート、レバーシステムによる調整.....24		
		ら
す		ラベル、安全説明文あり.....6
スパークアレスタ、使用.....13		ラベル、安全説明文なし.....9
スパークアレスタ、点検.....45		
スパークプラグ、点検.....43		漢字
スピンドル、潤滑、フロント.....38		安全
		オペレータの能力.....15
た		安全、タイヤ.....18
タイヤ、空気圧.....34		安全システム、テスト.....25
ダストアンローダーバルブ、清掃.....42		安全な整備.....17
		安全な駐車.....13
ち		安全な保管.....64
チェーン、タイヤ.....34		安全ラベル、説明文あり.....6
		安全ラベル、説明文なし.....9
て		安定剤、正しい燃料の使用.....56
テールゲート、潤滑.....38		運転チェックリスト、毎日.....24
		液、ブレーキ.....49
と		荷台、トラブルシューティング.....63
トラクションアシスト、使用.....33		

索引

荷台、空にする	32
荷台、使用.....	28
荷台、積載.....	31
荷台平台、使用	32
吸気ホースとクランプ、点検	43
金属面、補修と清掃.....	60
計器板、使用.....	26
交換部品	2
仕様	
エンジン	67
ドライブトレイン	67
重量	69
走行速度.....	67
容量	69
始動システム、安全のテスト	25
車両の表面、清掃.....	59
手すり、使用.....	24
整備情報、排出ガス.....	39
整備日の記録.....	77
清掃	60
走行コントロール、使用.....	28
駐車ブレーキ、使用.....	25
駐車ブレーキ、調整.....	51
調整、高度.....	39
吊り上げマシン	57
電気、トラブルシューティング.....	62
電子ディスプレイ、正しい使用.....	20
燃料タンク、注入.....	56
燃料の安全.....	19
燃料の保管.....	64
燃料フィルタ、交換.....	44
非常停止	28
標準シート、調整.....	24
付属品用コンセント、使用	26
負荷、牽引.....	33
保管、機械の準備.....	64
保証、製品.....	71
方向指示灯スイッチ、使用	26
輸送	34

